

令和 8 年度

市民アンケート実施結果

報 告 書

令和 8 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	3
II	回収状況	4
III	調査の総括	5
IV	設問別集計結果	19
1	市の政策について	20
2	運動の実施状況について	30
3	中心市街地について	32
4	公共交通について	34
5	コモッセの利用状況について	37
6	芸術鑑賞について	38
7	カーボンニュートラルについて	40
8	鹿角高校について	42
9	市の情報発信方法について	46
10	若者の居場所・学び・挑戦の拠点づくりについて	49
11	医療に対する意識について	55
12	まちの満足度について	58
13	自由意見	65
資料	令和8年度市民アンケート回答票	79

I 実施概要

1 実施目的

政策評価の一環として、第7次鹿角市総合計画の成果指標に係るデータを把握するとともに、各施策に対するニーズ（需要）を調査・把握し、今後の政策推進に活用するほか、広聴の一環として市民の意見を市政に反映することを目的とします。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	性別、年代、居住地区	－
2 市の政策について	第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略における取組方針ごとの満足度と重要度の把握	政策企画課
3 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
4 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	政策企画課
5 公共交通について	バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道の利用頻度と外出目的及び日常生活で公共交通に不便を感じている人の割合	観光交通課
6 コモッセの利用状況について	コモッセの利用状況の把握	生涯学習課
7 芸術鑑賞について	芸術鑑賞した割合の把握	生涯学習課
8 カーボンニュートラルについて	「2030ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度及びかつのパワーの認知度・関心	商工振興課
9 鹿角高校について	「鹿角高校に対する印象・認識」「鹿角高校生を身近に感じているか」「卒業生へ期待する地域社会との関わり方」「身に着けてほしい力」の把握	教育総務課
10 市の情報発信方法について	実際利用している情報取得ツールの確認及び SNS による情報発信ターゲットの把握	デジタル戦略・広報室
11 若者の居場所・学び・挑戦の拠点づくりについて	「取組を進めることへの市民の受容度」「実証で重視すべき内容」「候補施設・運営条件の評価軸」「地域で支える関わり方」「継続・発展の判断基準」を把握	政策企画課
12 医療に対する意識について	自分が受診すべき診療科目などについての相談窓口を知っている割合及び相談窓口を知らなかった理由の把握	地域医療推進室
13 まちの満足度について	まちに活力や魅力、快適な環境があると思う方の割合の把握	政策企画課
14 自由意見	市に対する提言、改善要望など	－

3 実施期間

令和8年5月28日（木）～6月12日（金）

4 実施対象

令和8年5月28日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢18歳から74歳までの市民900人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、令和5年度から令和7年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 郵便（受取人払い）による回収及びインターネット回答による受付

II 回収状況

1 回収率

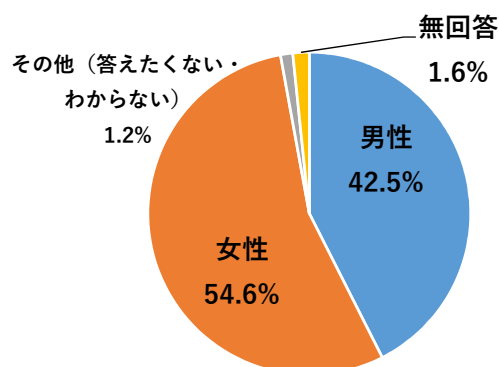
54.3%（489 人／900 人） ※令和 7 年度の回収率 48.6%（437 人／900 人）

2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比¹は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率²は、その区分の対象者数のうち何%³が回答を寄せたかを表しています。

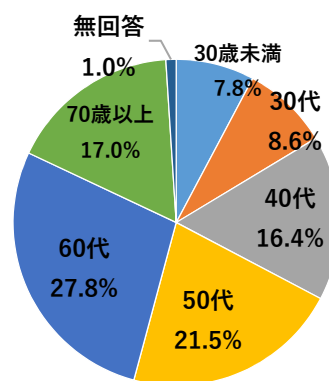
(1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男 性	468	52.0%	208	42.5%	44.4%
女 性	432	48.0%	267	54.6%	61.8%
その他	-	-	6	1.2%	-
無回答	-	-	8	1.6%	-
計	900	100%	489	99.9%	54.3%



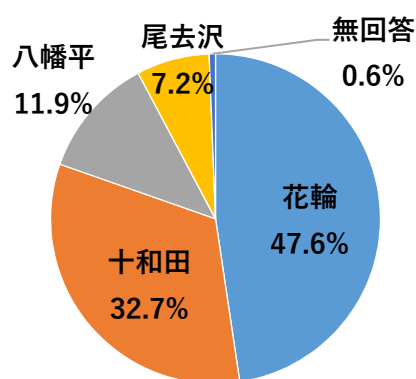
(2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30 歳未満	97	10.8%	38	7.8%	39.2%
30 代	98	10.9%	42	8.6%	42.9%
40 代	162	18.0%	80	16.4%	49.4%
50 代	189	21.0%	105	21.5%	55.6%
60 代	222	24.7%	136	27.8%	61.3%
70 歳以上	132	14.7%	83	17.0%	62.9%
無回答	-	-	5	1.0%	-
計	900	100.1%	489	100.1%	54.3%



(3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花 輪	433	48.1%	233	47.6%	53.8%
十和田	294	32.7%	160	32.7%	54.4%
八幡平	107	11.9%	58	11.9%	54.2%
尾去沢	66	7.3%	35	7.2%	53.0%
無回答	-	-	3	0.6%	-
計	900	100%	489	100%	54.3%



¹ 構成比 = その区分に属する対象者数（回答者数）÷ 全対象者数（全回答者数）

² 回収率 = その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

³ 各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括



Ⅲ 調査の総括

1 市の政策について

▶ 詳細分析 P 20

(1) 市が進めている取組に対する満足度

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
1 位	⑬ごみの適正処理と資源 リサイクルの推進	3.38	13.9%	18.4%	51.1%	5.3%	3.1%	5.1%	3.1%
2 位	④心身の健康づくり	3.28	9.4%	19.4%	49.7%	6.3%	3.7%	8.4%	3.1%
3 位	⑩衛生的で良好な 生活環境の確保	3.24	12.3%	18.0%	44.6%	9.2%	5.9%	6.7%	3.3%
4 位	⑯火災や救急に対する 体制強化の推進	3.22	6.1%	14.9%	57.7%	4.1%	2.2%	11.9%	3.1%
5 位	㉔自ら学び、行動する 社会人の支援	3.12	4.7%	13.9%	52.1%	7.6%	2.9%	15.1%	3.7%

市が進めている取組に対して、満足度スコアが最も高かったのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。ごみの分別が簡便であり、負担を感じさせないことや、継続的な意識啓発で市民の環境意識が向上しました。

2 番目は「心身の健康づくり」です。ライフステージに応じた切れ目ない健康づくりが評価されました。

3 番目は「衛生的で良好な生活環境の確保」です。水洗化の着実な普及や、安全な水道水の安定供給が評価されました。

4 番目は「火災や救急に対する体制強化の推進」です。迅速な出動態勢により、安全・安心な暮らしを支える体制が整っていることが評価されました。

5 番目は「自ら学び、行動する社会人の支援」です。市民の自発的な学習活動の促進やコモッセなどの文化・芸術拠点の機能の充実が評価されました。

(2) 今後のまちづくりに対する重要度

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1 位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.53	61.1%	21.3%	10.4%	0.4%	0.2%	1.8%	4.7%
2 位	①地域産業の成長に対する支援	4.24	40.7%	28.4%	17.2%	0.8%	0.4%	8.2%	4.3%
3 位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	4.23	42.3%	25.8%	18.2%	1.0%	0.6%	6.7%	5.3%
4 位	②市民等の意欲のある就労・就農への支援	4.21	40.9%	28.0%	18.0%	0.8%	0.8%	7.0%	4.5%
5 位	③産業の担い手の確保	4.07	35.4%	26.6%	21.3%	2.7%	0.8%	8.6%	4.7%
	⑨子どもから青少年までの生きる力の育成		36.0%	24.7%	27.6%	0.8%	0.2%	5.1%	5.5%

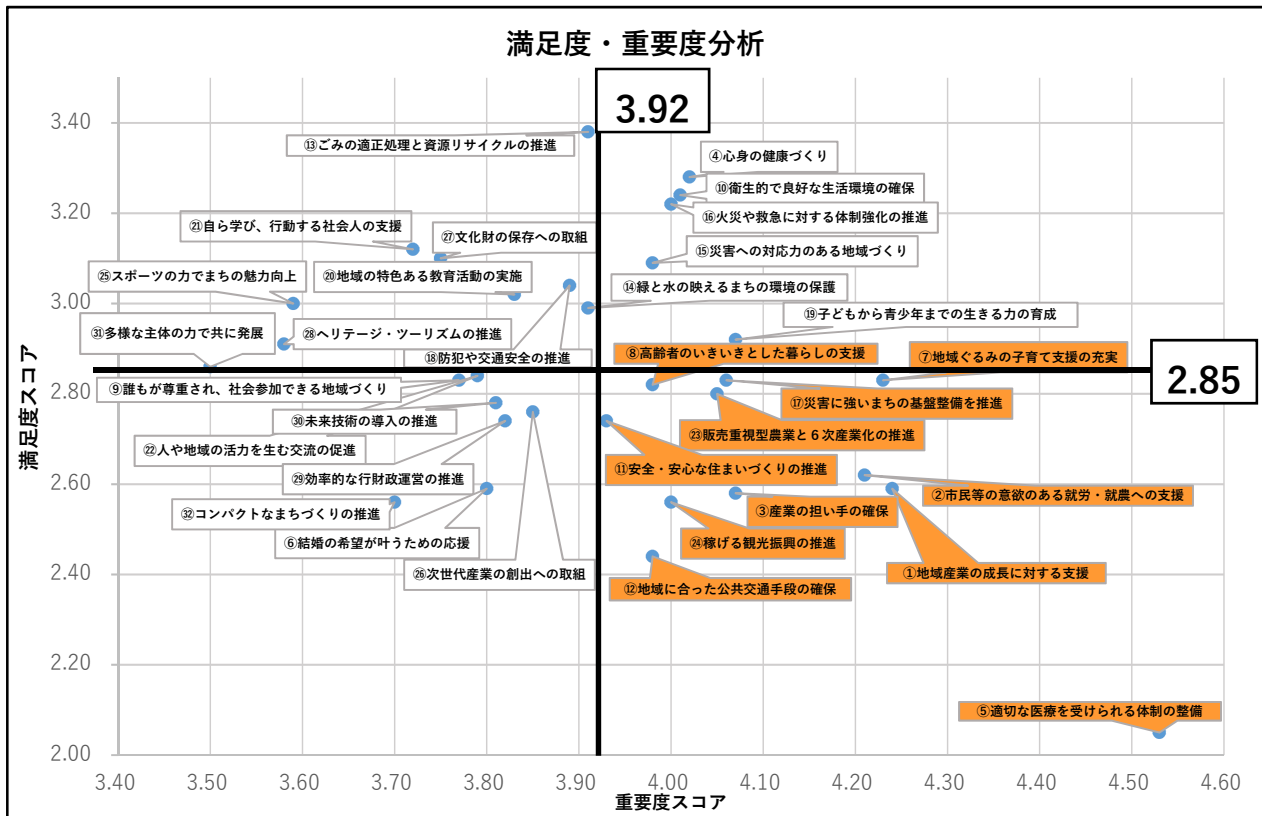
今後のまちづくりに対して、重要度スコアが最も高かったのは「適切な医療を受けられる体制の整備」です。脳神経外科や産婦人科の充実を求める意見のほか、医師、看護師だけではなく、理学療法士、作業療法士といった医療の担い手を目指す学生への支援を求める意見も出されました。

2 番目は「地域産業の成長に対する支援」で、基盤産業である農業の魅力発信に対する支援や、教育体制の整備や賃金の引上げといった企業の内部改善に関する意見も出されました。

3 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、熊の出没による屋外の子どもの遊び場を懸念する意見がありました。

4 番目は「市民等の意欲のある就労・就農への支援」で、空き家を活用した企業誘致や、これまで市内にない職種の企業誘致により職業選択の幅を増やす取り組みをしてほしいなどの意見が出されました。

5 番目は「産業の担い手の確保」「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、それぞれ、市外からの就職のための住居の支援や、小中学生の部活動に関する移動手段の支援、部活動の地域移行についての指導者の待遇改善への支援といった意見が出されました。



本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特に右下の領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。

満足度・重要度が共に平均値を上回るのは、「④心身の健康づくり」、「⑩衛生的で良好な生活環境の確保」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制強化を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力の育成」であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

一方、平均値に対して満足度が下回り、重要度が上回るのは、「①地域産業の成長に対する支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農への支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑪安全・安心な住まいづくりの推進」、「⑫地域に合った公共交通手段の確保」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲販売重視型農業と6次産業化の推進」、「⑳稼げる観光振興の推進」の11項目でした。

医師や医療従事者の不足が顕在化する中で、適切な医療を受けられる体制の整備や、子育て・高齢者福祉の充実については、地域の暮らしを守るため、必要な医療水準の維持と切れ目のない支援体制の確保が求められています。また、人口減少が進み、若者をはじめとする担い手の確保が難しくなる中、産業振興と産業人材の確保についても、市の重要な課題として市民に認識されています。加えて、安全・安心や防災など、住環境に関わる分野の重要度も高い結果となっています。

2 運動の実施状況について

週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合							▶詳細分析 P 30
基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
52.2%	52.8%	61.5%	57.0%	62.5%	55.9%	55.0%	65.0%

(第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標)

日常的なスポーツ活動の実施率は 55.0% となり、前年度を 0.9 ポイント、目標値を 10.0 ポイント下回りました。

一方、年代別では、60 歳代を除くすべての年代で前年度を上回っており、特に 30～40 歳代が大きく増加しています。

運動やスポーツ活動に対する意識が醸成され、一人ひとりの健康への関心が高まり、健康づくりの一環としてスポーツに取り組んでいるものと考えられます。

市で実施しているタートルマラソン大会など、誰もが参加できるスポーツイベントの開催を通じて、運動やスポーツに取り組むきっかけとなる機会を継続的に提供しているほか、気軽に取り組むことができるニュースポーツの紹介や出前講座等による運動の機会の提供などを通じて、運動実施率の向上を目指します。

3 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合							▶詳細分析 P 32
基準値 (H30-R2 平均)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
53.6%	58.1%	55.9%	58.1%	55.9%	54.9%	59.1%	60.0%

(鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標)

「満足」「やや満足」と回答した割合は 59.1% で前年度を 4.2 ポイント上回りました。

基準値である 53.6% を 5.5 ポイント上回り、過去 5 年間で最も高くなりましたが、目標値より 0.9 ポイント下回る結果となりました。

特に、女性と若年層で大幅な満足度の向上が見られました。

一方、不満を感じる理由として、前年度と同様に、公共交通機関の不便さや、飲食店など商業施設の少なさによる活気の乏しさなどが挙げられています。

4 公共交通について

数年間、公共交通を利用したことがない人の割合							▶詳細分析 P 34
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	70.8%	—	—	—	77.8%	79.8%	—

(地域公共交通計画参考指標)

公共交通に不便を感じる市民の割合							▶詳細分析 P 36
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	20.2%	—	—	—	22.4%	18.6%	—

(地域公共交通計画参考指標)

公共交通機関を「数年間利用したことがない」との回答は 79.8%で、前回調査の 77.8%から 2.0 ポイント増加しています。一方で、不便を「感じる」との回答は 18.6%と、前回から 3.8 ポイント減少していますが、「あまり利用しないのでわからない」との回答が、71.2%と前回から 3.0 ポイント増加していることから、不便さが解消したというより利用しない方が増加による変化と考えられます。

5 コモッセの利用状況について

1 年間にコモッセを利用した割合							▶詳細分析 P 37
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	50.6%	54.7%	62.5%	60.2%	66.6%	63.6%	—

コモッセを利用した人は、全体で 63.6%となり、前年度より 3.0 ポイント減少しました。

特に、50 歳代と 70 歳以上の割合が 65%以上と高くなりました。また、男女別、年代別、地域別のどの区分でも 54%以上となり、多くの市民から広く使われていることが分かります。

利用しない理由としては、行く機会がない、用事がないと回答した人が多く、各施設が連携した事業の充実や、情報発信に工夫が必要です。

6 芸術鑑賞について

1年間に文化芸術鑑賞に親しんだ割合							▶詳細分析 P 38
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	23.0%	26.5%	44.1%	43.7%	40.7%	44.4%	—

芸術鑑賞をした人の割合は 44.4%で前年度より 3.7 ポイント増加し、過去最高となりました。また、鑑賞した人のうち、コモッセの文化ホールで鑑賞した人の割合は 68.6%で前年度より 2.3 ポイント増加しました。

文化ホールでは、身近なところで質の高い芸術を提供することを目的とし、限られた事業数でニーズに沿った内容に加え、多くの市民が鑑賞による幸福感、満足感を得られるような公演を検討してまいります。

7 カーボンニュートラルについて

「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度							▶詳細分析 P 40
—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	—	32.3%	39.6%	38.4%	47.1%	40.3%	—

ゼロ・カーボンシティ宣言の認知度は 40.3%と、前年度より 6.8 ポイント減少したものの、過去 2 番目の高さであり、「ゼロ・カーボンシティ」や「カーボンニュートラル」といった言葉が市内に浸透しつつあることがうかがえます。また、女性や若年層においては依然として認知度が低く、今後の課題と捉えています。

かづのパワーについて

「再エネ電力を市内に供給していること」について 知っている人の割合	42.5%	▶詳細分析 P 41
利用に関心のある人の割合	37.4%	

「かづのパワーが再エネ電力を市内に供給していること」についての認知度は 42.5 %、利用への関心は 37.4 %であり、認知度と利用への関心との間にギャップがあることが分かりました。

施策全体の底上げを図るため、情報発信による普及啓発を強化するとともに、各種補助制度の活用促進やかづのパワーを通じた再生可能エネルギーの利用推進などを通じて、市民一人ひとりがゼロカーボンの担い手であるという意識を醸成し、その取組が自身の生活に直結していることを実感していただけるよう、より効果的な施策を展開してまいります。

8 鹿角高校について

▶詳細分析 P 42

順位	鹿角高校についてのイメージや印象	割合	回答者数
1 位	普段どんな活動をしているか、情報が届いておらずよくわからない	44.5%	214 人
2 位	進学・就職や部活動などで、実績を出している（出そうとしている）	44.1%	212 人
3 位	鹿角高校ならではの特色が見えにくい	31.0%	149 人
4 位	生徒の礼儀やマナーが良く、明るい雰囲気がある	17.0%	82 人
5 位	地域行事やボランティアなど、地域社会との関わりが深い	16.2%	78 人
6 位	その他	6.0%	29 人

鹿角高校に対する市民の印象では、「普段どんな活動をしているか、情報が届いておらずよくわからない」が 44.5%と最も高い一方、「進学・就職や部活動などで、実績を出している」が 44.1%で同水準となり、日頃の活動や特色が十分には伝わっていない部分があるものの、実績は一定程度認識されている状況がうかがえます。

鹿角高校との関わりや高校生の存在を ある程度以上身近に感じる割合	30.7%	▶詳細分析 P 43
---	--------------	------------

高校生や学校との関わりについては、「身近に感じる」「ある程度感じる」が計 30.7%に対し、「あまり感じない」「ほとんど感じない」が計 58.9%と上回りました。特に十和田地区では「ほとんど感じない」が 46.3%と高く、地域によって鹿角高校との親近感に差が見られます。

順位	鹿角高校の生徒が将来どのような大人になってほしいか	割合	回答者数
1 位	いったん鹿角を離れたとしても、いつかは戻り、外で得た経験を活かしてくれる人	33.9%	166 人
2 位	鹿角に限らず、自らの目標に向かって国内外で活躍する人	30.7%	150 人
3 位	鹿角を離れても、つながりを持ち続け、応援してくれる人	18.6%	91 人
4 位	鹿角に愛着を持ち、住み続けながら、地域産業など地域の発展を支える人	13.9%	68 人

鹿角高校で学んだ生徒たちに期待する将来像としては、「いったん鹿角を離れても、いつかは戻り、外で得た経験を活かしてくれる人」が 33.9%で最も高く、「国内外で活躍する人」が 30.7%で続きました。地域定着のみを求めるのではなく、外での経験を地域に還元する人材への期待が表れています。

順位	鹿角高校の生徒にどのような力を身に付けてほしいか	割合	回答者数
1 位	社会の変化に柔軟に対応し、自ら課題を見つけ、解決に向けて挑戦し続ける力	38.7%	189 人
2 位	多様な価値観を持つ人々と、互いに尊重・協力し合う力	31.7%	155 人
3 位	鹿角への愛着や地域への理解 グローバルな視野で社会を見る力	12.7%	62 人

また、身に付けてほしい力としては、「社会の変化に柔軟に対応し、自ら課題を見つけ、解決に向けて挑戦し続ける力」が 38.7%で最も高くなり、「多様な価値観を持つ人々と、互いに尊重・協力し合う力」が 31.7%で続きました。

これらの結果から、市民は鹿角高校に対し、地域とのつながりを保ちながら、広い視野を持ち、社会の変化に対応できる人材育成を期待していることが分かります。

9 市の情報発信方法について

▶詳細分析 P 46

順位	市からの情報を入手する手段として実際に利用し、欠かせないもの	割合	回答者数
1 位	広報かつの（広報紙）	78.4%	381 人
2 位	コミュニティ FM ラジオ（鹿角きりたんぼ FM）	34.1%	165 人
3 位	メール配信サービス	27.7%	133 人
4 位	新聞	19.3%	95 人
5 位	ホームページ	15.8%	77 人
6 位	S N S	9.8%	47 人
7 位	何も情報を入手していない	6.2%	30 人

「広報かつの（広報紙）」が 78.4%と最も高く、「コミュニティ FM ラジオ」34.1%、「メール配信サービス」27.7%、「新聞」19.3%、「ホームページ」15.8%、「SNS」9.8%と続きました。

S N S を利用している人の割合	65.6%	▶詳細分析 P 47
--------------------------	--------------	------------

順位	利用している S N S	割合	回答者数
1 位	L I N E（ライン）	95.0%	303 人
2 位	Instagram（インスタグラム）	49.2%	157 人
3 位	X（エックス）	31.0%	99 人
4 位	Facebook（フェイスブック）	17.6%	56 人
5 位	その他	2.2%	7 人

全体の 65.6%が SNS を「利用している」と回答し、利用する SNS の種類は「LINE」95.0%、「Instagram」49.2%、「X」31.0%、「Facebook」17.6%という結果でした。

年代別では差が明確であり、SNS 利用率は、30 歳未満 94.7%、30 代 92.9%と若年層で非常に高く、年代が上がるにつれて低下し、70 歳以上では 28.9%にとどまりました。

いずれの設問でも年代による差が顕著で、若年層では SNS 利用率が高い一方、広報紙の利用率は年代が上がるほど高い傾向がみられます。幅広い世代へ確実に情報を届けるため、広報紙などの既存媒体を維持しつつ、若年層向けに LINE を基盤とした SNS 発信を強化していく必要があります。

10 若者の居場所・学び・挑戦の拠点づくりについて

▶ 詳細分析 P 49

順位	本市が、既存公共施設を活用し、中高生や若者が立ち寄れる場を試行することについて	割合	回答者数
1 位	まずは試行し、効果を見ながら進めるべきだと思う	30.3%	148 人
2 位	積極的に進めるべきだと思う	29.7%	145 人
3 位	財政負担や人員体制を踏まえ、慎重に検討すべきだと思う	12.9%	63 人
4 位	必要性は理解できるが、既存の活動や施設利用の充実を優先すべきだと思う	12.1%	59 人
5 位	わからない	8.2%	40 人
6 位	必要性をあまり感じない	3.3%	16 人

全体の 60.0%が「積極的に進めるべきだと思う」又は「まずは試行し、効果を見ながら進めるべきだと思う」と回答しており、試行を含め、取組を進めることに肯定的な回答が過半数を占めています。

一方、「既存の活動や施設利用の充実を優先すべきだと思う」と「財政負担や人員体制を踏まえ、慎重に検討すべきだと思う」を合わせると 25.0%となっており、取組を進める際には、既存事業との役割分担や財政・運営体制について丁寧に示す必要があります。

順位	中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、「必要性をあまり感じない」又は「わからない」と回答した人の理由	割合	回答者数
1 位	他に優先すべき施策があると思うため	27.3%	15 人
2 位	まずは試行の結果を見てから判断したいと思うため	16.4%	9 人
3 位	新たに試行するより、既存の施設利用や既存の活動で対応できると思うため	14.5%	8 人
4 位	財政負担や人員体制への影響を慎重に考える必要があるため	12.7%	7 人
5 位	施設管理や安全管理、トラブル対応への懸念があるため	5.5%	3 人
6 位	その他	3.6%	2 人
7 位	周辺住民や既存利用者との共存に配慮が必要だと思うため	1.8%	1 人

「必要性をあまり感じない」又は「わからない」と回答した人の理由としては、「他に優先すべき施策があると思うため」が 27.3%で最も高く、次いで「まずは試行の結果を見てから判断したいと思うため」が 16.4%、「新たに試行するより、既存の施設利用や既存の活動で対応できると思うため」が 14.5%となっています。

最も多かった「他に優先すべき施策があると思うため」という回答から、取組の必要性だけでなく、他の施策との優先順位や費用対効果を明確にすることが求められています。

また、「まずは試行の結果を見てから判断したい」という回答も一定数みられることから、現時点で取組そのものに反対しているとは限らず、試行によって効果や課題を検証し、その結果を示すことが判断材料になると考えられます。

順位	中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、特に重視すべき内容について	割合	回答者数
1 位	気軽に立ち寄り、安心して過ごせる時間をつくること	61.9%	253 人
2 位	Wi-Fi・電源など、スマホやパソコンを使いやすい環境を整えること	43.5%	178 人
3 位	友人同士で交流したり、自由に過ごせる雰囲気をつくること	36.7%	150 人
4 位	勉強や読書、調べものができる環境を整えること	34.7%	142 人
5 位	若者が企画や地域活動に挑戦できる機会をつくること	34.5%	141 人
6 位	地域の大人や社会人に相談・交流できる機会をつくること	26.4%	108 人
7 位	大学生や市外の若者と交流できる機会をつくること	9.0%	37 人
8 位	わからない	3.2%	13 人

「気軽に立ち寄り、安心して過ごせる時間をつくること」が 61.9%で最も高く、次いで「Wi-Fi・電源など、スマートフォンやパソコンを使いやすい環境を整えること」が 43.5%、「友人同士で交流したり、自由に過ごせる雰囲気をつくること」が 36.7%となっています。

安心して過ごせる居場所を基本としながら、デジタル環境、自由に過ごせる雰囲気、勉強・読書、若者の挑戦機会などの複数の機能を組み合わせることが求められています。

順位	中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、場所や運営の条件として特に重視すべき内容について	割合	回答者数
1 位	学校・仕事帰りや休日に立ち寄りやすいこと	65.8%	269 人
2 位	安心して利用でき、見守りや管理がしやすいこと	60.4%	247 人
3 位	公共交通・送迎・冬期間を含め、通いやすいこと	52.3%	214 人
4 位	活動内容に応じて、スペースを使い分けやすいこと	26.7%	109 人
5 位	既存利用者や周辺住民と共存しやすいこと	21.5%	88 人
6 位	整備費や運営負担を抑えられること	13.7%	56 人
7 位	開設日や利用時間を設定しやすいこと	12.0%	49 人
8 位	わからない	1.5%	6 人

「学校・仕事帰りや休日に立ち寄りやすいこと」が 65.8%で最も高く、次いで「安心して利用でき、見守りや管理がしやすいこと」が 60.4%、「公共交通・送迎・冬期間を含め、通いやすいこと」が 52.3%となっています。

このことから、施設の内容だけでなく、立地や開設時間、移動手段、安全管理など、実際に継続して利用できる環境を整えることが重要であると考えられます。

順位	このような取組を地域で支えていくために、 地域の大人や市民にどのような関わり方が必要かについて	割合	回答者数
1位	地域行事や体験活動に協力する	41.6%	170人
2位	温かく見守る	41.3%	169人
3位	活動場所・体験機会・地域課題を提供する	34.2%	140人
4位	関わり方を学ぶ機会をつくる	30.8%	126人
5位	話を聞く・相談に乗る 若者の企画や活動を手伝う	30.6%	125人
7位	仕事や経験、地域の知識を伝える	29.6%	121人
8位	特に必要だと思わない	2.9%	12人

地域の大人や市民に期待する関わり方としては、「地域行事や体験活動に協力する」が41.6%で最も高く、次いで「温かく見守る」が41.3%、「活動場所・体験機会・地域課題を提供する」が34.2%となっています。

「特に必要だと思わない」は全体の2.9%にとどまっており、多くの市民が、方法は異なるものの、地域が何らかの形で若者を支える必要があると考えていることがうかがえます。

順位	こうした取組を試行した後、継続・発展を判断する際に、 特に重視すべきことについて	割合	回答者数
1位	中高生や若者が継続して利用し、安心して過ごせていること	59.4%	243人
2位	鹿角の仕事・暮らし・地域課題への関心につながっていること	42.5%	174人
3位	若者の挑戦や企画参加につながっていること	37.4%	153人
4位	騒音・ごみ・トラブルが少なく、周囲と共存できていること	33.7%	138人
5位	地域の大人・企業・団体の協力が生まれていること	25.4%	104人
6位	費用や人員の負担が、効果に見合っていること	23.2%	95人
7位	大学生・社会人など、多様な人との交流や学びにつながっていること	15.6%	64人
8位	オンライン講座・AI・データ活用などの学びにつながっていること	9.5%	39人

「中高生や若者が継続して利用し、安心して過ごせていること」が59.4%で最も高くなっています。

次いで、「鹿角の仕事・暮らし・地域課題への関心につながっていること」が42.5%、「若者の挑戦や企画参加につながっていること」が37.4%となっています。このことから、単に利用者数を確保するだけでなく、地域への関心や若者の主体的な活動につながっているかを検証することが求められています。

一方、「騒音・ごみ・トラブルが少なく、周囲と共存できていること」は33.7%、「費用や人員の負担が、効果に見合っていること」は23.2%となっています。継続・発展の判断に当たっては、若者への効果に加え、周辺との共存や運営負担も含めて総合的に評価する必要があります。

11 医療に対する意識について

どこで受診したらよいか相談できる窓口として、 知っているものがある人の割合	69.7%	▶ 詳細分析 P 55
--	-------	-------------

順位	知っている相談窓口	割合	回答者数
1 位	かかりつけ医	87.2%	292 人
2 位	テレフォン病院 2 4 (0120-959-783)	24.5%	82 人
3 位	かかりつけ医以外の医療関係者	15.8%	53 人
4 位	# 8 0 0 0 (子ども医療電話相談)	7.2%	24 人
5 位	インターネットでの情報検索や SNS での相談 その他	0.3%	1 人

約 3 割の人は受診の際の相談窓口として知っているものがないという結果となりました。

相談窓口を知っている人は、そのうち 87.2%の人がかかりつけ医を相談窓口に挙げています。日常的な疾患の診療や慢性疾患の継続管理等の初期診療を担う開業医をかかりつけ医とすることで、初期救急や二次救急を担う医療機関との役割分担が進むことを、更に啓発していく必要があります。

順位	相談窓口を知らなかった理由	割合	回答者数
1 位	知る機会がなかったから	37.7%	52 人
2 位	救急外来を利用するから	27.5%	38 人
3 位	総合病院を受診するから	20.3%	28 人
4 位	知る必要がなかったから	6.5%	9 人
5 位	その他	3.6%	5 人

受診すべき診療科がわからなかったり、相談窓口を知らない人が、そのために総合病院を受診したり、救急外来を利用すると、真に医療を必要とする人へ医療が行き届かなくなる恐れがあるほか、医療のひっ迫につながる可能性があるため、受診フローの周知など受診行動を見直すきっかけづくりが必要です。

12 まちの満足度について

▶詳細分析 P 58

第7次鹿角市総合計画前期基本計画における戦略目標について、各分野の取組がどのように評価されているかを把握することを目的としています。

(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合)

設問項目	R1 (基準値)	R7	基準値との差
1. 市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思う	19.5%	20.6%	+1.1
2. 心身ともに健康に暮らせていると思う	58.7%	48.8%	▲9.9
3. 生活環境が快適なまちだと思う	49.7%	44.0%	▲5.7
4. 安全で安心して暮らせるまちだと思う	77.6%	66.1%	▲11.5
5. 市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う	23.4%	20.9%	▲2.5
6. 文化遺産が豊富で誇れるまちだと思う	51.3%	51.8%	+0.5
7. 自分に必要な行政サービスが受けられていると思う	59.8%	51.3%	▲8.5

7つの設問のうち、5つの満足度で基準値を下回りました。

満足度の低下には、物価高騰などの経済的な要因や、医師不足など医療提供体制などへの不安など、経済的・社会的な複数の課題が複合的に影響していると考えられます。

特に、7つの設問のうち最も満足度が高い「安全で安心して暮らせるまちだと思う」について、基準値から大幅にポイントが低下した背景としてはクマの出没が大きく影響していると推察されます。

これらの要因に対して、市民一人ひとりの幸福感に寄り添った多角的なアプローチによって、日常生活における不安の解消や、誰もが自分らしく生きがいを感じられる環境づくりを進めていく必要があります。

同時に、市が行っている事業については、情報を市民が適切に受け取れるよう、積極的な情報発信が求められています。

一方で、32の取組方針で見る満足度、重要度については、いずれも昨年と比較して全体的にポイントが改善しており、明るい兆しもみられることから、令和8年度からスタートした後期基本計画において、より一層効果的な施策を推進してまいります。

IV 設問別集計結果

1 市の政策について

設問2 あなたは、市が進めてきた取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

◆市が進めている取組に対する満足度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

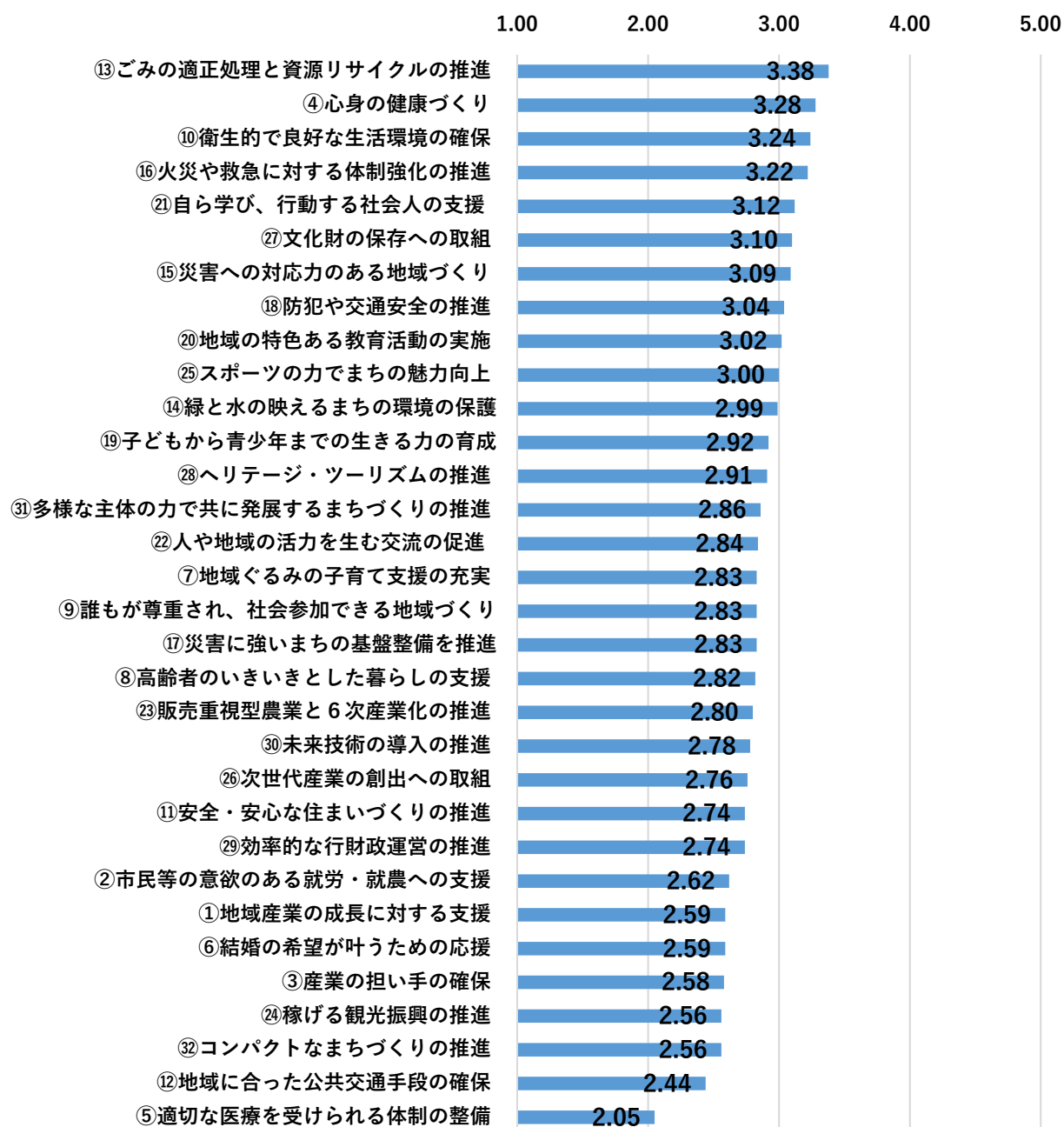
(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	満足度スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わからない	無回答
1位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.38	13.9%	18.4%	51.1%	5.3%	3.1%	5.1%	3.1%
2位	④心身の健康づくり	3.28	9.4%	19.4%	49.7%	6.3%	3.7%	8.4%	3.1%
3位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.24	12.3%	18.0%	44.6%	9.2%	5.9%	6.7%	3.3%
4位	⑯火災や救急に対する体制強化の推進	3.22	6.1%	14.9%	57.7%	4.1%	2.2%	11.9%	3.1%
5位	②自ら学び、行動する社会人の支援	3.12	4.7%	13.9%	52.1%	7.6%	2.9%	15.1%	3.7%
6位	⑰文化財の保存への取組	3.10	4.5%	14.1%	50.3%	9.2%	2.9%	15.5%	3.5%
7位	⑮災害への対応力のある地域づくり	3.09	3.9%	14.1%	55.4%	8.6%	2.9%	11.2%	3.9%
8位	⑯防犯や交通安全の推進	3.04	2.5%	11.5%	62.6%	6.5%	3.1%	10.8%	3.1%
9位	⑳地域の特色ある教育活動の実施	3.02	3.5%	8.8%	51.7%	7.8%	3.3%	19.8%	5.1%
10位	㉕スポーツの力でまちの魅力向上	3.00	2.9%	12.1%	49.9%	8.0%	4.9%	18.2%	4.1%
11位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保護	2.99	5.1%	11.2%	53.6%	9.4%	6.3%	10.6%	3.7%
12位	⑲子どもから青少年までの生きる力の育成	2.92	2.2%	12.3%	45.8%	11.9%	5.7%	17.8%	4.3%
13位	㉔ヘリテージ・ツーリズムの推進	2.91	1.4%	6.7%	52.8%	10.2%	3.1%	22.5%	3.3%
14位	③多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進	2.86	1.4%	7.2%	54.6%	10.0%	5.3%	17.8%	3.7%
15位	㉒人や地域の活力を生む交流の促進	2.84	1.4%	6.3%	49.3%	10.8%	4.9%	22.3%	4.9%
16位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	2.83	2.9%	12.9%	37.6%	13.3%	9.2%	20.9%	3.3%

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
16 位	⑨誰もが尊重され、社会 参加できる地域づくり	2.83	0.8%	5.7%	45.8%	8.0%	5.1%	30.5%	4.1%
〃	⑰災害に強いまちの 基盤整備を推進	2.83	2.5%	8.6%	51.9%	12.9%	7.6%	13.1%	3.5%
19 位	⑧高齢者のいきいきとした 暮らしの支援	2.82	2.7%	11.2%	43.6%	14.5%	8.2%	17.0%	2.9%
20 位	⑳販売重視型農業と 6次産業化の推進	2.80	1.0%	6.7%	45.4%	16.2%	3.5%	22.7%	4.5%
21 位	㉑未来技術の導入の推進	2.78	0.8%	4.9%	44.0%	11.9%	4.7%	29.4%	4.3%
22 位	㉒次世代産業の創出への 取組	2.76	0.4%	5.9%	44.6%	11.5%	5.7%	27.6%	4.3%
23 位	⑪安全・安心な 住まいづくりの推進	2.74	2.0%	7.6%	48.1%	16.6%	8.4%	13.7%	3.7%
〃	㉓効率的な行財政運営の 推進	2.74	1.0%	7.0%	47.6%	15.3%	6.7%	17.8%	4.5%
25 位	②市民等の意欲のある 就労・就農への支援	2.62	0.6%	7.6%	40.7%	15.7%	10.8%	21.1%	3.5%
26 位	①地域産業の成長に対する 支援	2.59	0.6%	4.7%	38.7%	17.0%	8.8%	27.0%	3.3%
〃	⑥結婚の希望が叶うための 応援	2.59	0.6%	3.1%	40.3%	12.7%	9.4%	31.1%	2.9%
28 位	③産業の担い手の確保	2.58	0.8%	6.3%	35.0%	18.0%	9.6%	26.6%	3.7%
29 位	㉔稼げる観光振興の推進	2.56	1.0%	5.7%	40.7%	18.6%	11.5%	18.0%	4.5%
〃	㉕コンパクトなまちづくり の推進	2.56	0.8%	2.9%	43.6%	16.8%	10.0%	21.1%	4.9%
31 位	⑫地域に合った 公共交通手段の確保	2.44	1.0%	6.5%	39.3%	21.9%	17.4%	10.0%	3.9%
32 位	⑤適切な医療を受けられる 体制の整備	2.05	2.0%	5.5%	20.4%	31.9%	32.9%	4.5%	2.7%

市が進めている取組に対する満足度



(2) 分析結果

市が進めている取組に対する満足度のスコアの最大値は 3.38、最小値は 2.05、平均は 2.85 となりました。

満足度として最も高い評価を得たのは「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。破碎処理場の整備やごみ処理体制の充実により、可燃・不燃ごみの適正処理が進み、市民が利用しやすい環境が整いました。安定した運用やリサイクルの取組が評価されたものと考えられます。

2 番目は「心身の健康づくり」です。健診・検診の受診しやすい環境整備や生活習慣病予防、こころの健康づくり、高齢者のフレイル対策、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を推進し、ライフステージに応じた健康づくりが評価されたものと考えられます。

3 番目は「衛生的で良好な生活環境の確保」です。水道施設の計画的な更新により安定した給水を維持するとともに、漏水対策や浄化槽整備、下水道施設の計画的な更新を推進し、安全・安心な生活環境の確保と安定した事業運営が評価されたものと考えられます。

4 番目は「火災や救急に対する体制強化の推進」です。消防・救急車両や資機材の更新、十和田分署の整備により消防・救急体制を強化するとともに、応急手当の普及啓発や消防団の活動環境整備を進め、安全・安心な地域づくりが評価されたものと考えられます。

5 番目は「自ら学び、行動する社会人の支援」です。図書館や文化の杜交流館コモッセを拠点に、読書活動や文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、かづの人財発掘事業を通じて若者の主体的な学びと地域活動への参加を促進したこと等が評価されたものと考えられます。

◆今後のまちづくりに対する重要度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.53	61.1%	21.3%	10.4%	0.4%	0.2%	1.8%	4.7%
2位	①地域産業の成長に対する支援	4.24	40.7%	28.4%	17.2%	0.8%	0.4%	8.2%	4.3%
3位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	4.23	42.3%	25.8%	18.2%	1.0%	0.6%	6.7%	5.3%
4位	②市民等の意欲のある就労・就農への支援	4.21	40.9%	28.0%	18.0%	0.8%	0.8%	7.0%	4.5%
5位	③産業の担い手の確保	4.07	35.4%	26.6%	21.3%	2.7%	0.8%	8.6%	4.7%
〃	⑩子どもから青少年までの生きる力の育成	4.07	36.0%	24.7%	27.6%	0.8%	0.2%	5.1%	5.5%
7位	⑦災害に強いまちの基盤整備を推進	4.06	35.8%	29.0%	26.2%	1.2%	0.4%	3.7%	3.7%
8位	③販売重視型農業と6次産業化の推進	4.05	28.0%	31.9%	21.7%	0.8%	0.2%	10.8%	6.5%
9位	④心身の健康づくり	4.02	32.7%	28.4%	28.0%	1.0%	0.2%	3.3%	6.3%
10位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	4.01	34.8%	23.5%	32.5%	0.4%	0.2%	3.5%	5.1%
11位	⑩火災や救急に対する体制強化の推進	4.00	33.9%	23.7%	32.1%	0.6%	0.2%	4.9%	4.5%
〃	④稼げる観光振興の推進	4.00	30.1%	30.5%	22.5%	1.8%	1.4%	8.2%	5.5%
13位	⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援	3.98	30.9%	30.5%	25.6%	1.4%	1.4%	4.9%	5.3%
〃	⑫地域に合った公共交通手段の確保	3.98	29.7%	33.7%	24.9%	2.5%	0.4%	4.7%	4.1%
〃	⑮災害への対応力のある地域づくり	3.98	36.0%	27.6%	28.2%	0.4%	0.0%	2.9%	4.9%
16位	⑪安全・安心な住まいづくりの推進	3.93	28.4%	30.7%	28.8%	1.8%	0.6%	5.5%	4.1%
17位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.91	30.1%	25.2%	37.4%	0.4%	0.2%	2.5%	4.3%
〃	⑭緑と水の映えるまちの環境の保護	3.91	28.8%	27.2%	32.5%	0.4%	1.2%	4.5%	5.3%
19位	⑮防犯や交通安全の推進	3.89	28.6%	25.8%	35.8%	1.2%	0.2%	4.3%	4.1%

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
20 位	②⑥次世代産業の創出への 取組	3.85	23.1%	27.6%	28.8%	2.2%	0.8%	11.9%	5.5%
21 位	②⑩地域の特色ある 教育活動の実施	3.83	24.7%	25.6%	35.0%	1.4%	0.6%	8.2%	4.5%
22 位	②⑨効率的な行財政運営の 推進	3.82	22.7%	24.3%	34.8%	0.6%	0.4%	11.0%	6.1%
23 位	③⑩未来技術の導入の推進	3.81	20.9%	25.6%	29.0%	2.2%	0.8%	14.9%	6.5%
24 位	⑥結婚の希望が叶うための 応援	3.80	27.0%	22.5%	25.4%	4.9%	2.7%	11.7%	5.9%
25 位	②⑨人や地域の活力を生む 交流の促進	3.79	20.9%	29.4%	33.3%	1.2%	1.0%	8.2%	5.9%
26 位	⑨誰もが尊重され、社会 参加できる地域づくり	3.77	22.1%	26.0%	31.9%	2.5%	1.4%	11.0%	5.1%
27 位	②⑦文化財の保存への取組	3.75	22.1%	27.4%	33.1%	3.3%	1.4%	7.8%	4.9%
28 位	②⑪自ら学び、行動する 社会人の支援	3.72	21.3%	25.8%	37.8%	2.2%	1.2%	7.0%	4.7%
29 位	③②コンパクトなまちづくり の推進	3.70	21.7%	23.7%	33.1%	2.9%	2.7%	10.4%	5.5%
30 位	②⑤スポーツの力で まちの魅力向上	3.59	18.6%	24.7%	36.0%	4.3%	3.3%	8.0%	5.1%
31 位	②⑧ヘリテージ・ツーリズム の推進	3.58	15.1%	24.9%	37.2%	4.1%	1.4%	12.3%	4.9%
32 位	③①多様な主体の力で共に 発展するまちづくりの推進	3.50	14.3%	21.9%	41.7%	4.1%	2.2%	10.4%	5.3%

市が進めている取組に対する重要度



(2) 分析結果

今後のまちづくりに対する重要度に関するスコアの最大値は 4.53、最小値は 3.50、平均は 3.92 となりました。

今後のまちづくりに対する重要度として、重要度スコアが最も高かったのは「適切な医療を受けられる体制の整備」です。全体の回答では、「重要」「やや重要」と回答した割合が 82.4%に達し、高い関心が示されました。特に 30 歳代から 60 歳代では 8 割を超えており、重要性が高く認識されていることが分かります。自由記述では、脳神経外科や産婦人科の充実を求める意見のほか、医師、看護師だけではなく、理学療法士、作業療法士といった医療の担い手を目指す学生への支援を求める意見も出されました。

2 番目は「地域産業の成長に対する支援」であり、「重要」「やや重要」と回答した割合は全体で 69.1%にのびりました。特に、生産年齢層である 30 歳代と 50 歳代では 7 割を超えており、重要性が高く認識されていることが分かります。基盤産業である農業の魅力発信に対する支援や、教育体制の整備や賃金の引上げといった企業の内部改善に関する意見も出されました。

3 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、「重要」または「やや重要」と回答した割合は 68.1%にのびりました。特に子育て世代である 30 歳代と 40 歳代で 8 割を超えており、それ以外の年代でも 6 割を超えています。熊の出没による屋外の子どもの遊び場を懸念する意見がありました。

4 番目は「市民等の意欲のある就労・就農への支援」であり、「重要」「やや重要」と回答した割合は全体で 68.9%にのびりました。30 歳代、50 歳代、70 歳以上で 7 割を超え、全体的に就労・就農支援の必要性が強く認識されていることがうかがえます。

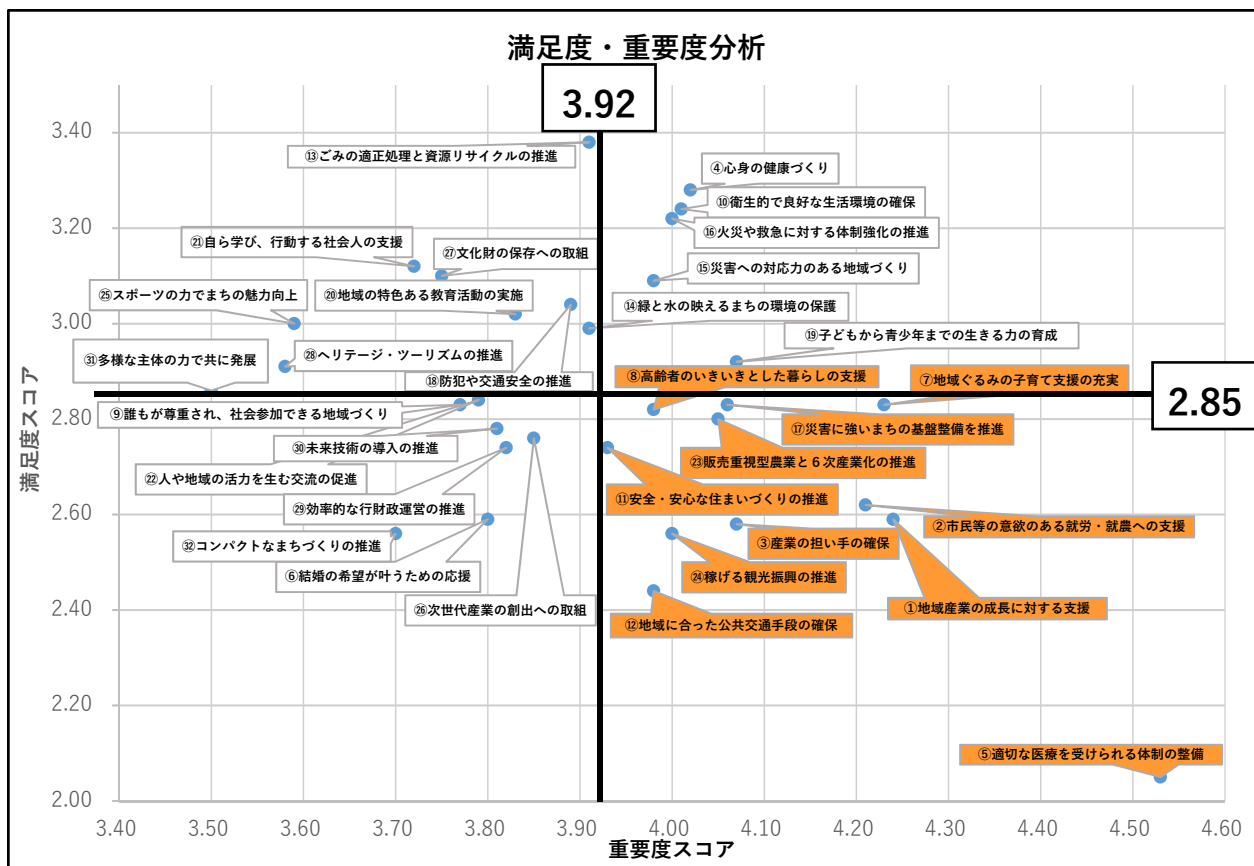
空き家を活用した企業誘致や、これまで市内にない職種の企業誘致により職業選択の幅を増やす取り組みをしてほしいなどの意見が出されました。

5 番目は「市内外からの産業の担い手の確保」と「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、「重要」「やや重要」と回答した割合は、62.0%と 60.7%でした。

それぞれ、市外からの就職のための住居の支援や、小中学生の部活動に関する移動手段の支援、部活動の地域移行についての指導者の待遇改善への支援といった意見が出されました。

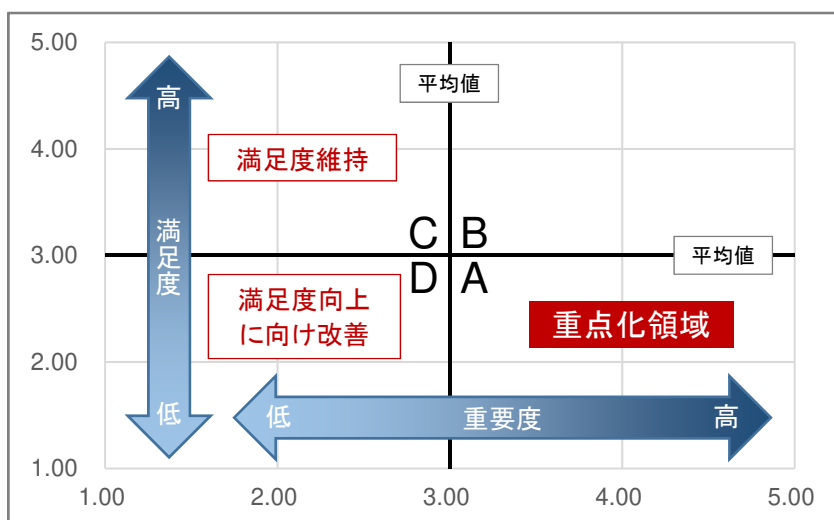
◆「満足度」と「重要度」によるクロス集計分析

(1) 満足度・重要度を表す散布図



(2) 満足度・重要度をクロス分析する散布図の見方

本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特にA領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



（３）分析結果

満足度・重要度が共に平均値を上回るＢ領域（グラフ右上側）は、「④心身の健康づくり」、「⑩衛生的で良好な生活環境の確保」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制強化を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力の育成」であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

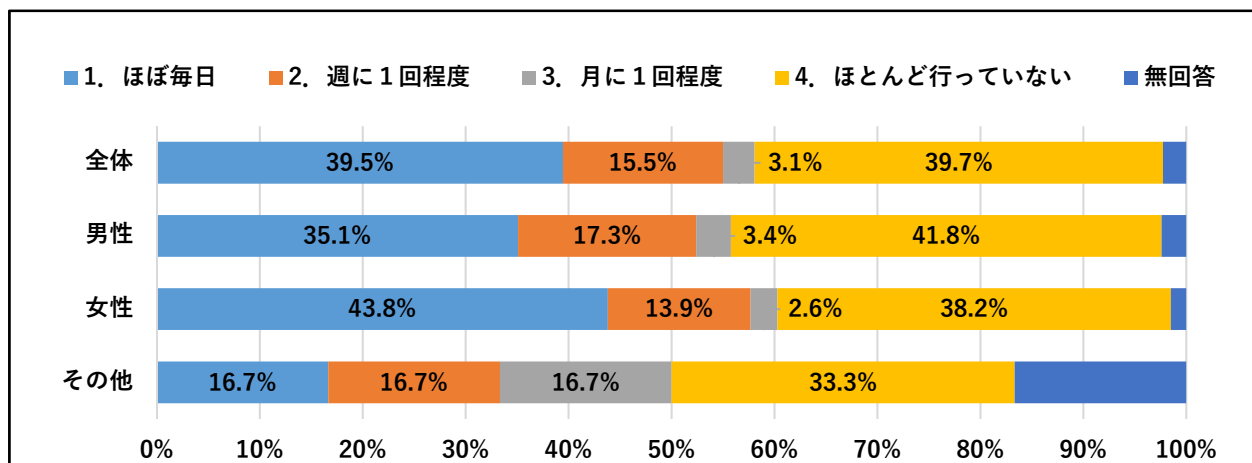
一方、平均値に対して満足度が下回り、重要度が上回るのは、「①地域産業の成長に対する支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農への支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑪安全・安心な住まいづくりの推進」、「⑫地域に合った公共交通手段の確保」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑳販売重視型農業と６次産業化の推進」、「㉔稼げる観光振興の推進」の１１項目でした。

医師や医療従事者の不足が顕在化する中で、適切な医療を受けられる体制の整備や、子育て・高齢者福祉の充実については、地域の暮らしを守るため、必要な医療水準の維持と切れ目のない支援体制の確保が求められています。また、人口減少が進み、若者をはじめとする担い手の確保が難しくなる中、産業振興と産業人材の確保についても、市の重要な課題として市民に認識されています。加えて、安全・安心や防災など、住環境に関わる分野の重要度も高い結果となっています。

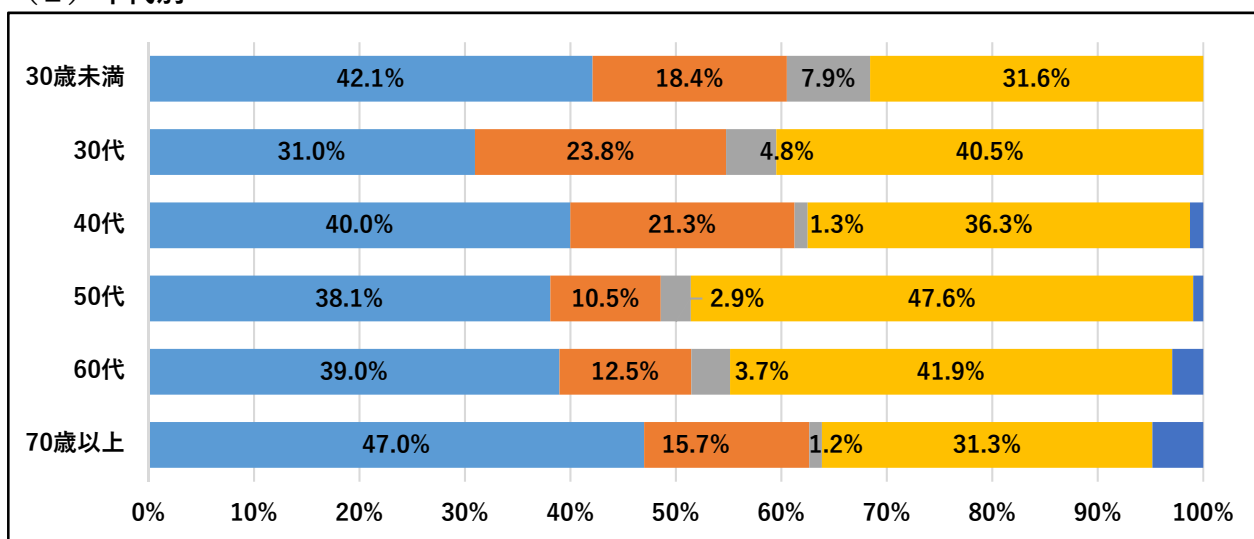
2 運動の実施状況について

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

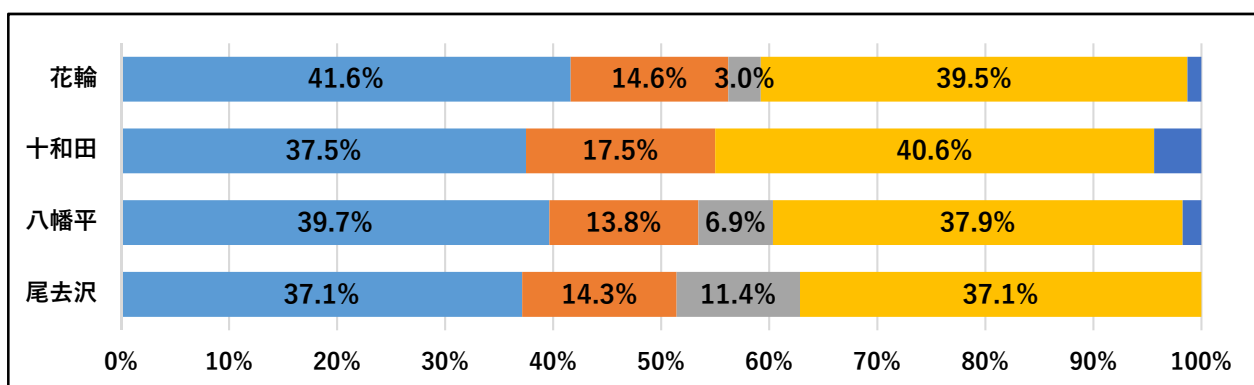
（1）全体／男女別



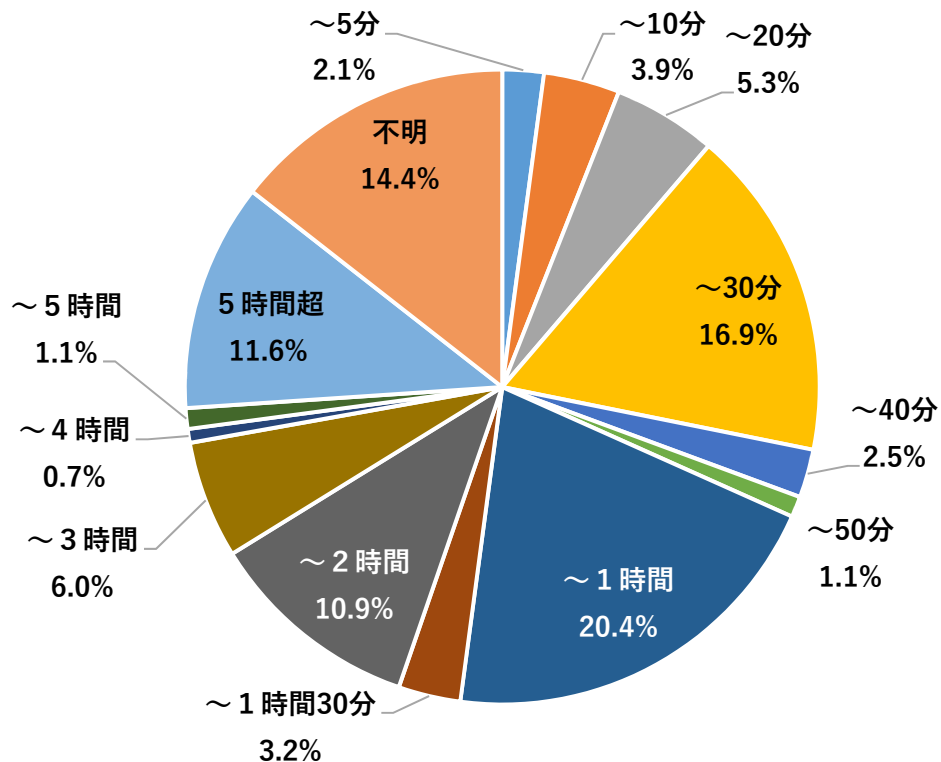
（2）年代別



（3）地区別



(4) 運動時間



(5) 分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、55.0%と前年度と比較して0.9ポイント下回っています。一方、年代別では、60歳代を除くすべての年代で前年度を上回っており、特に30歳代が10.9ポイント、40歳代が7.4ポイントそれぞれ増加しています。

1回あたりの運動時間は、「~1時間」が20.4%と最も多く、次いで「~30分」が16.9%となっています。1回あたり1時間以下の運動をしていると答えた方の多くは、ウォーキングやラジオ体操等の体操、ストレッチを主に行っており、「5時間超」と答えた方の多くは農作業や仕事と答えています。

市で実施しているタートルマラソン大会など、誰もが参加できるスポーツイベントの開催を通じて、運動やスポーツに取り組むきっかけとなる機会を継続的に提供しているほか、気軽に取り組むことができるニュースポーツの紹介や出前講座等による運動の機会の提供などを通じて、運動実施率の向上を目指してまいります。

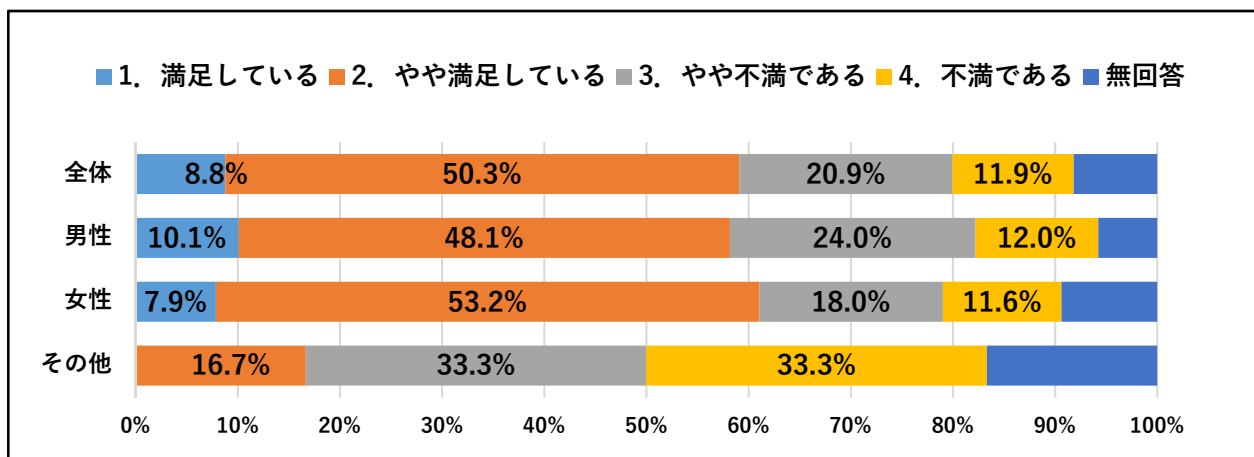
〔参考〕第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標と実績値（再掲）

週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合							
基準値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R7）
52.2%	52.8%	61.5%	57.0%	62.5%	55.9%	55.0%	65.0%

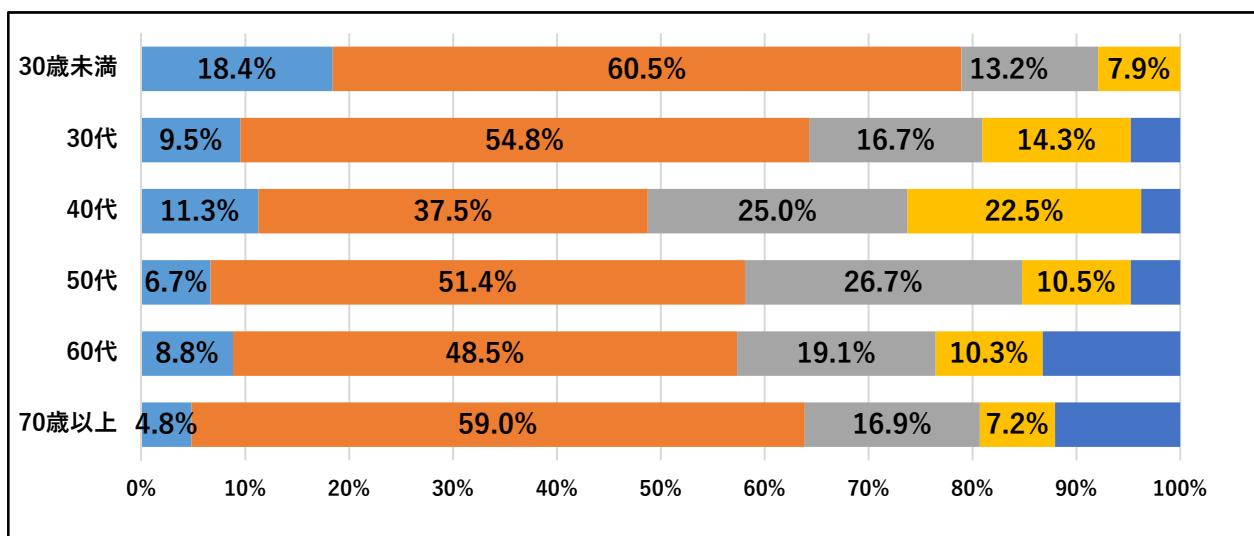
3 中心市街地について

設問4 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

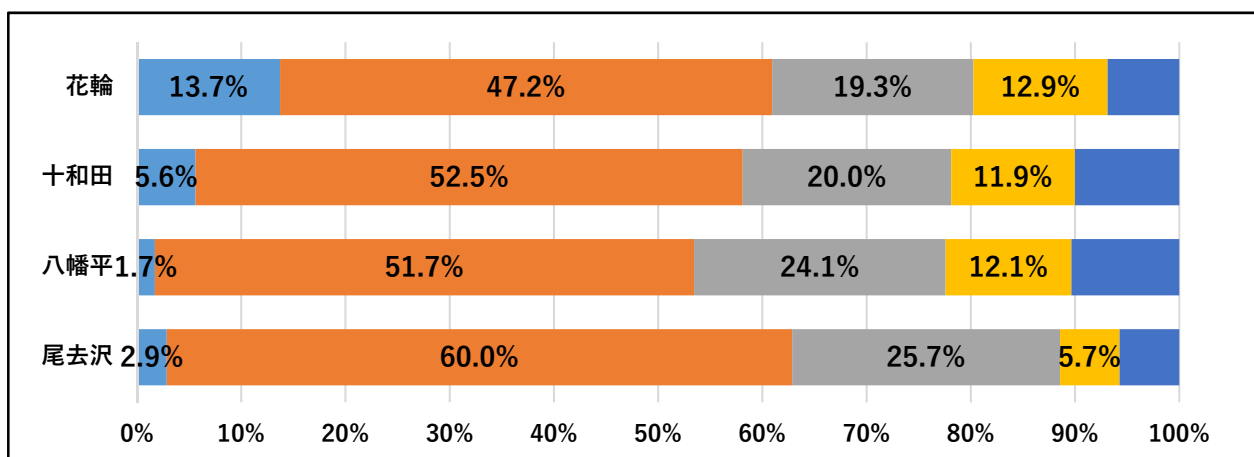
（1）全体／男女別



（2）年代別



（3）地区別



（４）分析結果

「満足」「やや満足」と回答した割合は 59.1％で前年度を 4.2 ポイント上回りました。

男女別にみると、男性の満足度は 58.2％で前年度から 0.1 ポイント減少した一方、女性は 61.1％で 8.2 ポイントの増加となりました。

年代別では、30 歳未満の満足度が令和 3 年度以降最も高い 78.9％となりました。30 歳代についても前年度から 10.6 ポイント増加の 64.3％となり、若年層における満足度の向上が見られます。

地区別では、八幡平地区の満足度が 53.4％と最も低く、前年度から 8.9 ポイント減少しました。前年度最も低かった十和田地区は 58.1％となり、令和 3 年度以降最も高くなりました。

不満の理由としては、公共交通機関の不便さや駐車場の少なさといった交通面での課題が最も多く挙げられ、次いで、飲食店や商業施設の不足による「まちの活気のなさ」が指摘されています。

〔参考〕鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標と実績値（再掲）

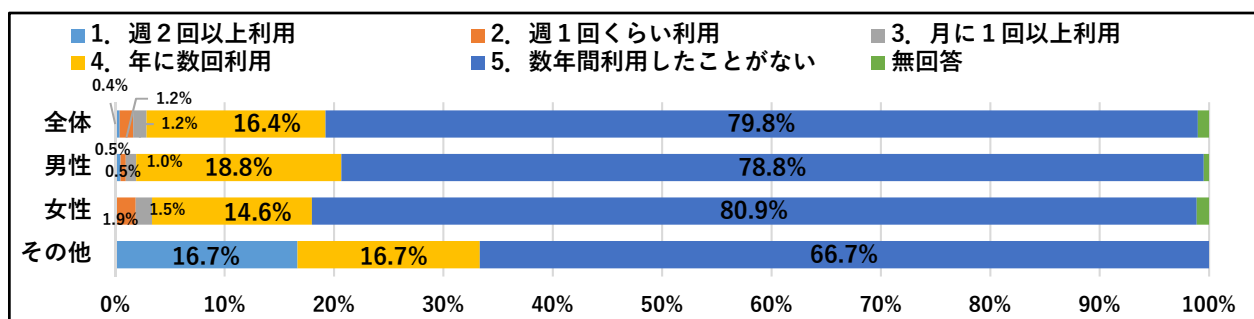
中心市街地の環境に満足している市民の割合							
基準値（H30-R2 平均）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値（R7）
53.6%	58.1%	55.9%	58.1%	55.9%	54.9%	59.1%	60.0%

（鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標）

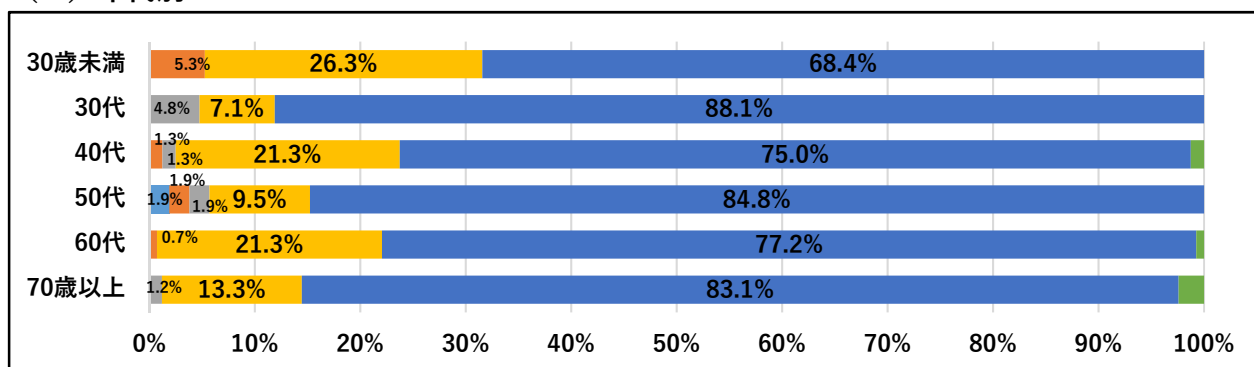
4 公共交通について

設問 5 ① バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度はどれくらいですか。

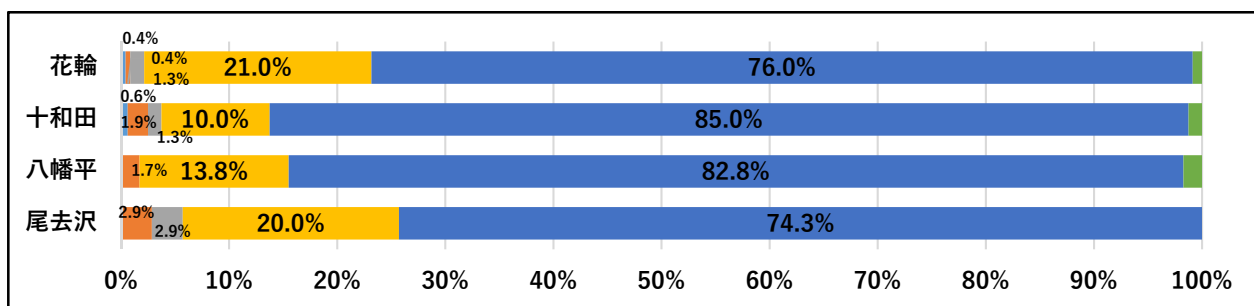
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



（４）分析結果

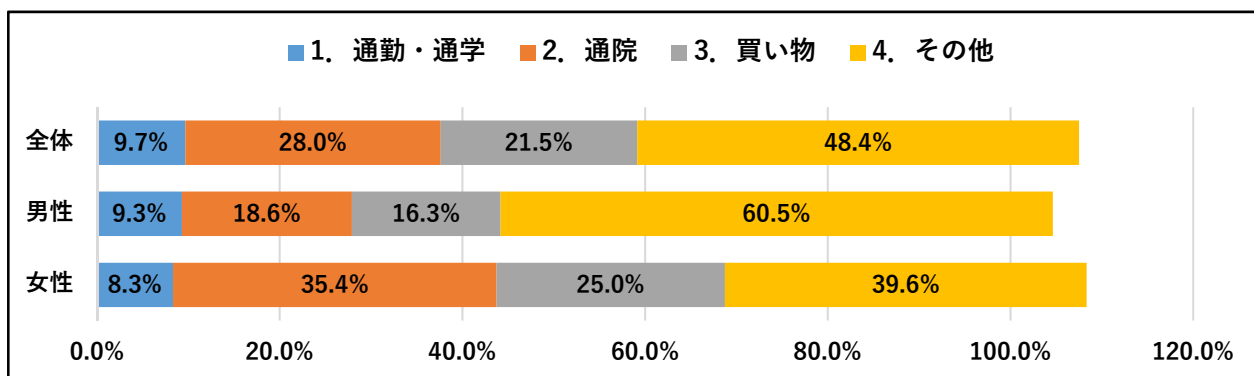
公共交通機関を「数年間利用したことがない」と回答した方は 79.8% で、前回調査の 77.8% から 2.0 ポイント増加しています。「年に数回程度利用」の 16.4% と合わせて 9 割以上となり、自家用車を日常の移動手段とする傾向が継続しています。「週 2 回以上利用」は 1 ポイント減の 0.4%、「月に 1 回以上利用」も 1.3 ポイント減の 1.2% となり、定期的な利用者層の減少が進んでいます。

年代別では、利用頻度が少ない層（「年に数回」、「数年間利用なし」）の割合がすべての年代で 9 割を超えています。高齢層でも利用頻度は低く、公共交通が日常の移動手段として十分に機能しているとは言い難い状況です。

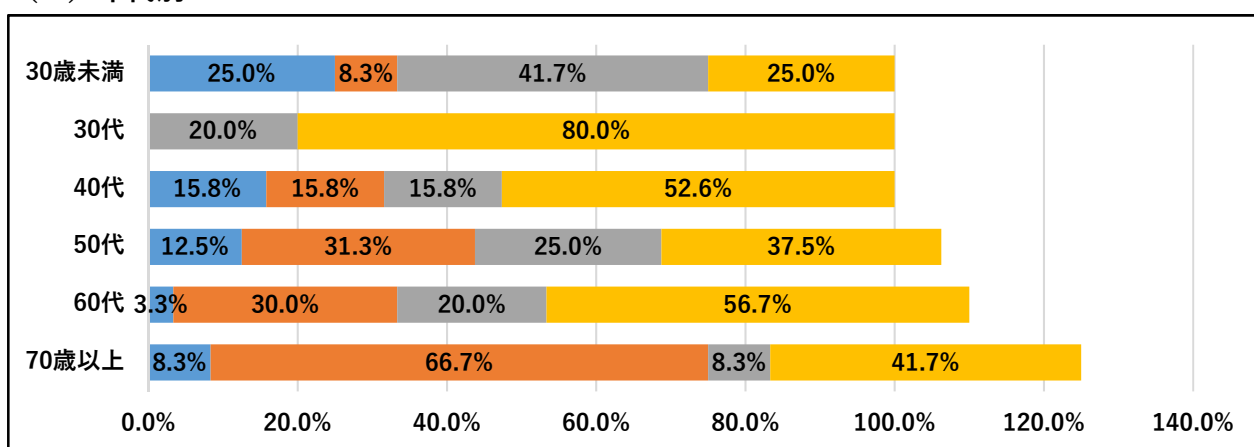
地区別では、「数年間利用したことがない」が十和田地区で 7.0 ポイント、尾去沢地区で 7.6 ポイント増加しており、両地区での非利用者が拡大しています。

【利用目的】

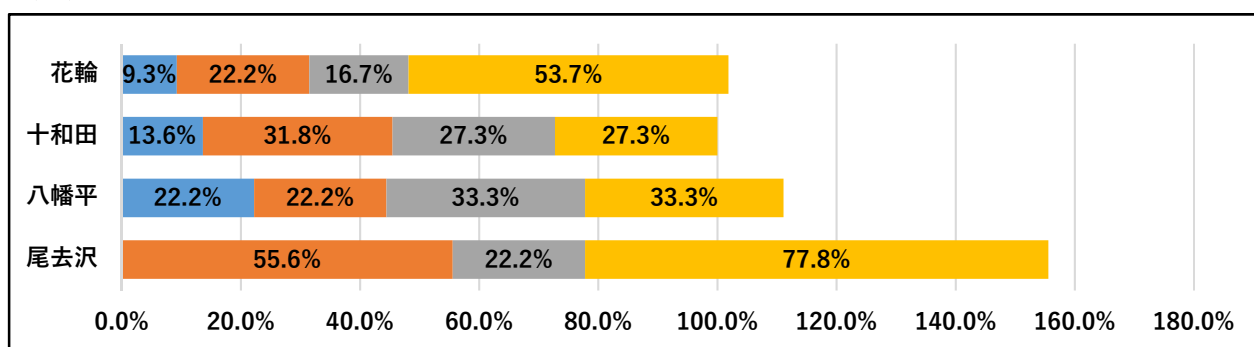
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



（４）分析結果

利用目的については、「通院」が28.0%で最も多く、前回調査の18.6%から9.4ポイント増加しています。次いで「買い物」が21.5%、「通勤・通学」が9.7%となっています。

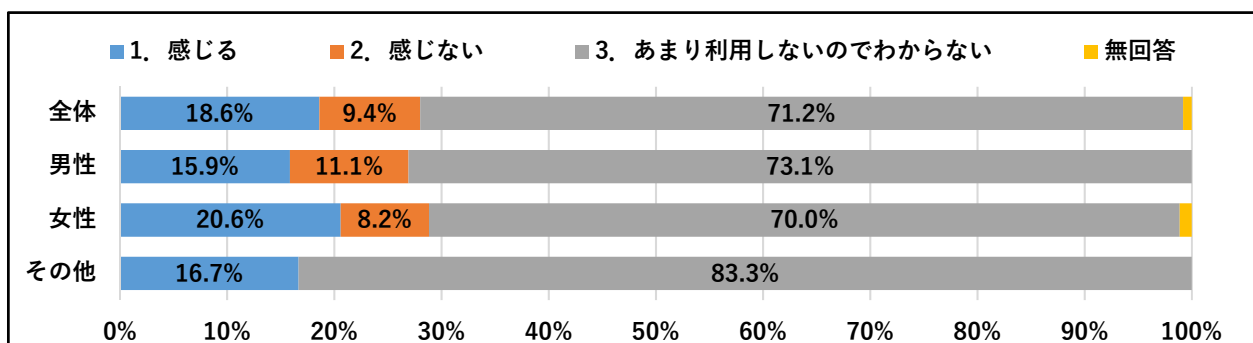
「その他」の具体的な回答内容として、旅行や出張、帰省、飲酒後の移動などが挙げられており、日常的な利用よりも特定の機会の利用が中心となっています。

年代別では70歳以上の利用目的の66.7%が「通院」となっており、高齢層にとって重要な手段となっています。

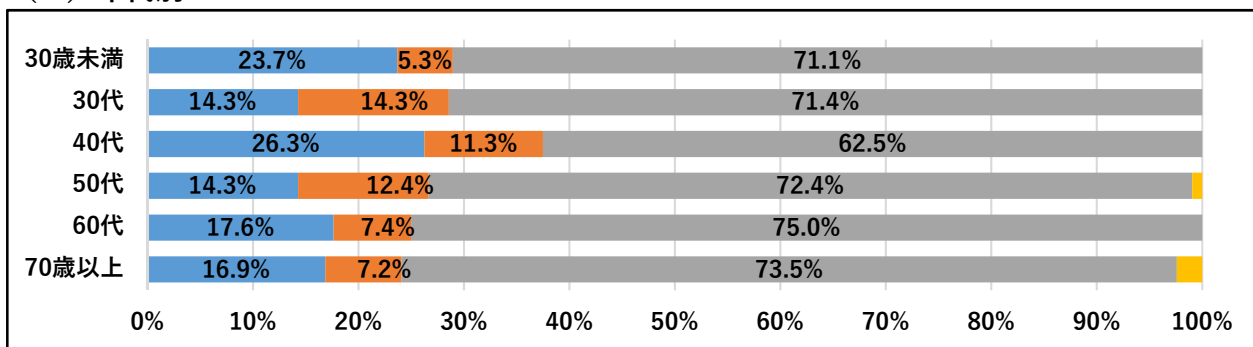
地区別では、尾去沢地区で「通院」が55.6%と高く、通院を目的とした利用割合が高い地区となっています。

設問 5 ② あなたは、普段の生活で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

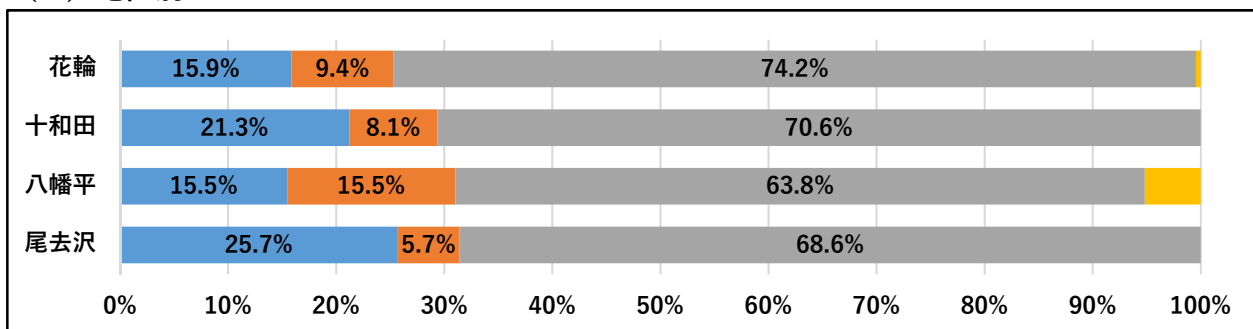
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

公共交通による移動に不便を「感じる」と回答した割合は 18.6%で、前回調査の 22.4%から 3.8 ポイント減少しています。一方、「あまり利用しないのでわからない」と回答した割合は 3.0 ポイント増加していることから、不便さの解消ではなく、利用しない方が増加したことによるものと考えられます。

男女別では女性 20.6%、男性 15.9%と、前回同様、女性の方が不便を感じる割合が高くなっています。

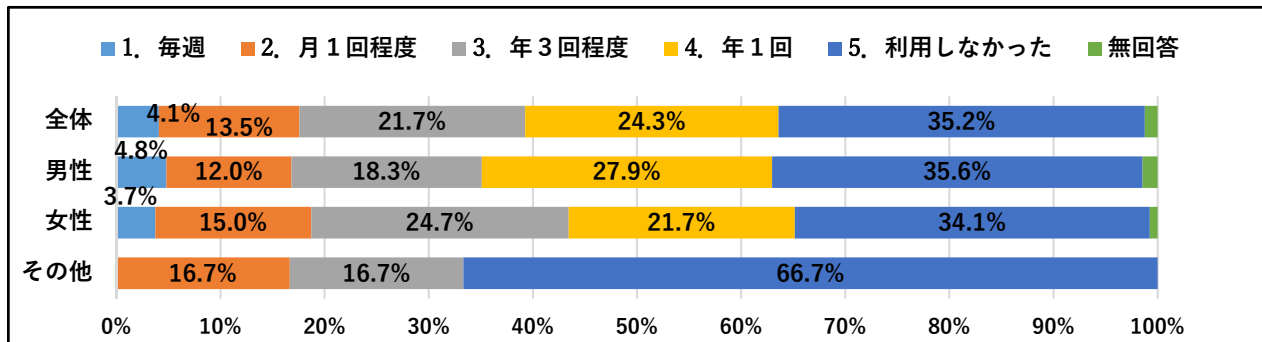
年代別では、50 歳代で 11.3 ポイント減少した一方、30 歳未満は 5.5 ポイント増加しています。40 歳代では 26.3%と最も高くなっています。

地区別では、十和田地区で 11.0 ポイント減少していますが、不便さが解消したのではなく、利用しない方が増加していることが影響していると考えられます。一方、尾去沢地区は 9.0 ポイント増加しており、不便を感じる方が増加しています。

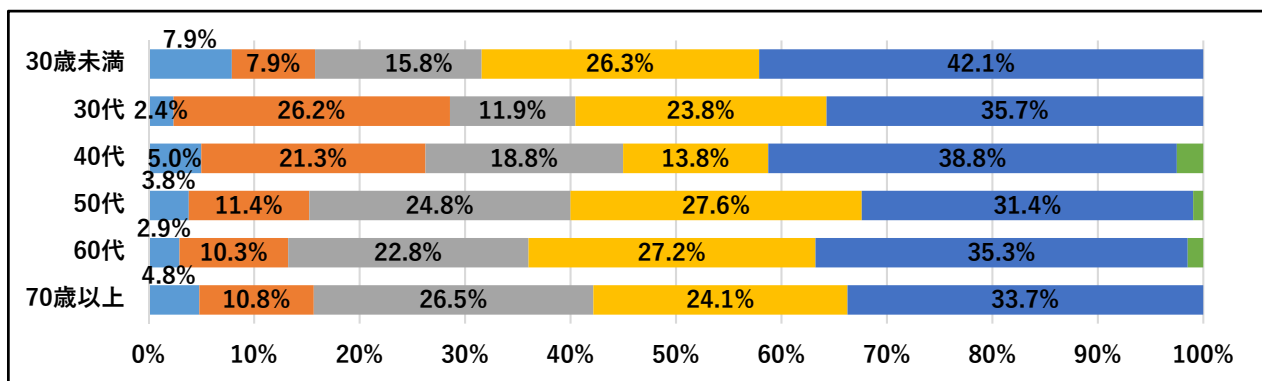
5 コモッセの利用状況について

設問6 あなたは、昨年度1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

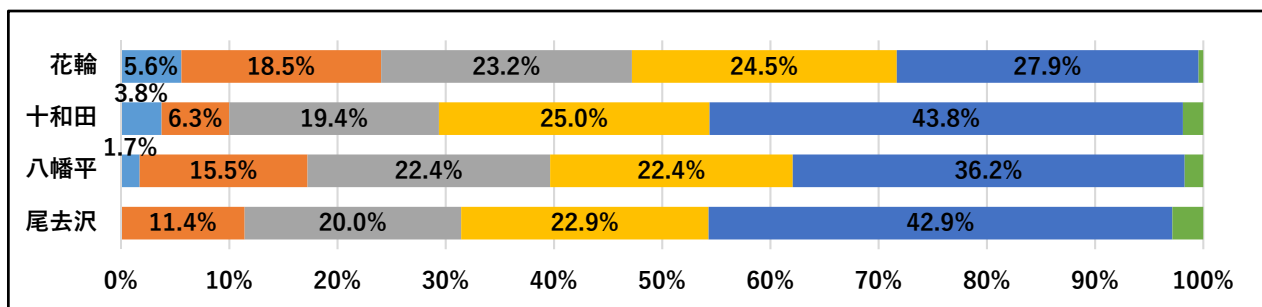
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

コモッセを利用した人の割合は、全体で63.6%となり、前年度より3.0ポイント減少しました。

男女別では女性が65.1%、男性が63.0%でした。

年代別では50歳代が67.6%で1.3ポイント増えましたが、前回調査で70%を超えていた30歳代と40歳代は、それぞれ11.3ポイント、12.6ポイント減少しました。

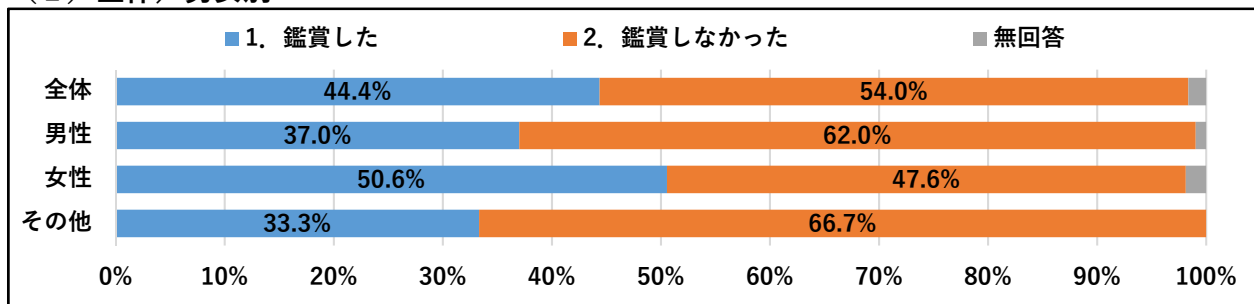
地区別では、花輪地区が71.8%で4.4ポイント高くなりましたが、八幡平地区、十和田地区、尾去沢地区では、昨年より減少となりました。

6 芸術鑑賞について

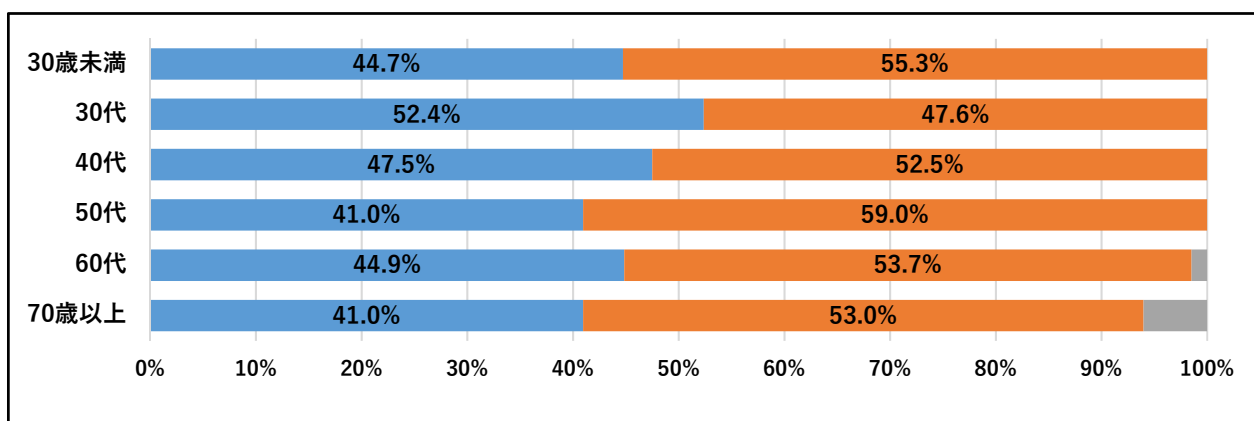
設問 7 あなたは、昨年度 1 年間に市内外で文化芸術鑑賞（※）をしましたか。

※文化芸術とは、音楽、演劇、舞踊、映画、メディア（アニメーション、漫画）、美術館、展覧会、コモッセのギャラリー展示などを示します。

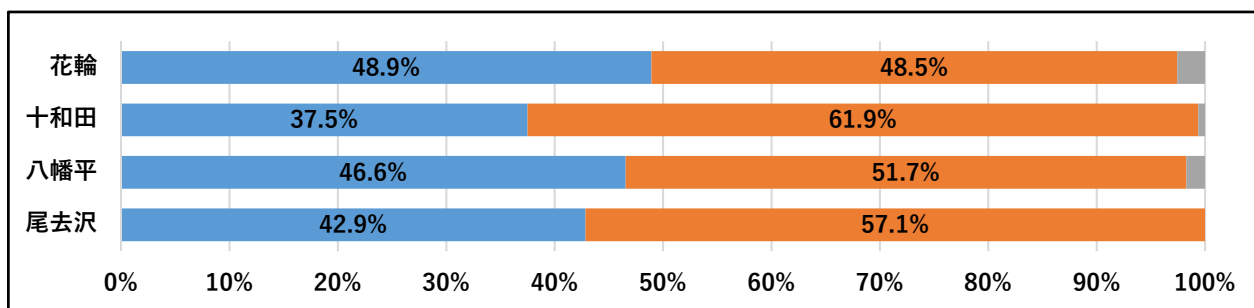
（1）全体／男女別



（2）年代別



（3）地区別



（4）分析結果

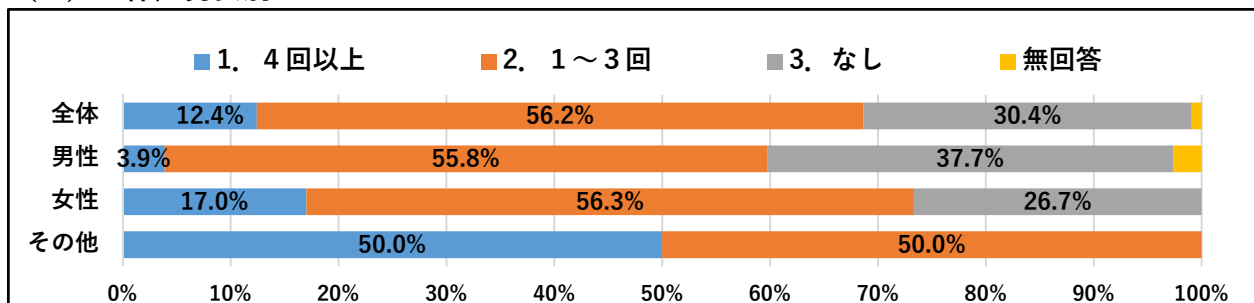
芸術鑑賞をした人の割合は 44.4% で前年度より 3.7 ポイント増加しました。

年代別では 40 歳代が 47.5% で 6.2 ポイント増加した一方、30 歳代は 52.4% で 3.7 ポイント減少しました。他の年代では 70 歳以上を除き、それぞれ 5 ポイント程度増加しています。

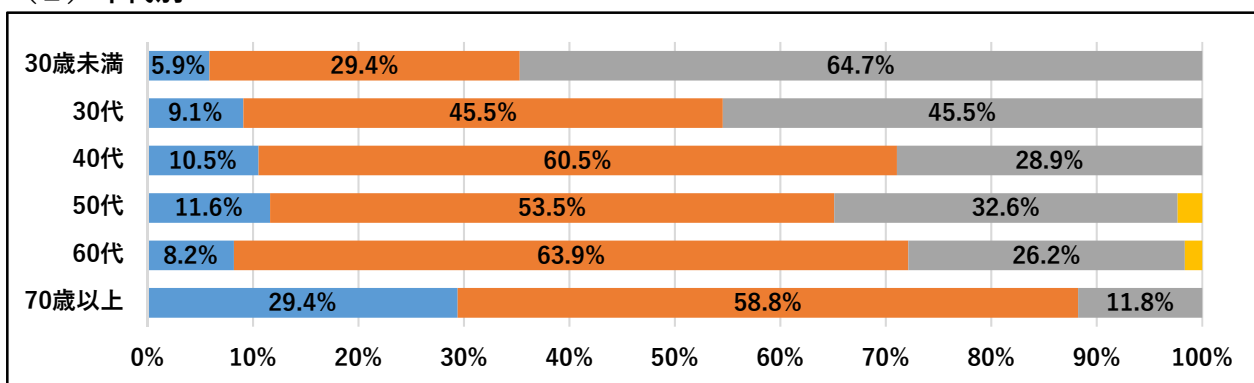
地区別では花輪地区が 48.9%、八幡平地区が 46.6% となり、それぞれ 9.5 ポイント、13.3 ポイント増加しました。十和田地区と尾去沢地区は前年度よりそれぞれ 8.2 ポイント、7.1 ポイント減少しました。

◆芸術鑑賞した人のうち、コモッセで何回鑑賞したか。

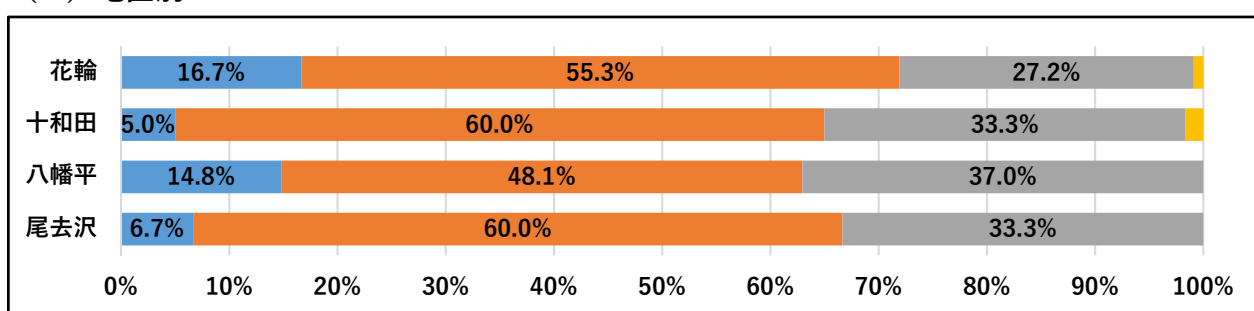
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

鑑賞した人のうち、コモッセで鑑賞した人の割合は68.6%で前年度より2.3ポイント増加しました。

男女別では女性が73.3%で0.8ポイント減少し、男性は59.7%で3.8ポイント増加しました。

年代別では30歳未満が35.3%で前年度より27.6ポイント増加し、30歳代は54.6%で前年度より1.9ポイント減少しました。また、70歳以上は88.2%で5.3ポイント増加しました。30歳未満の若い世代が関心を寄せる内容を検討する必要があります。

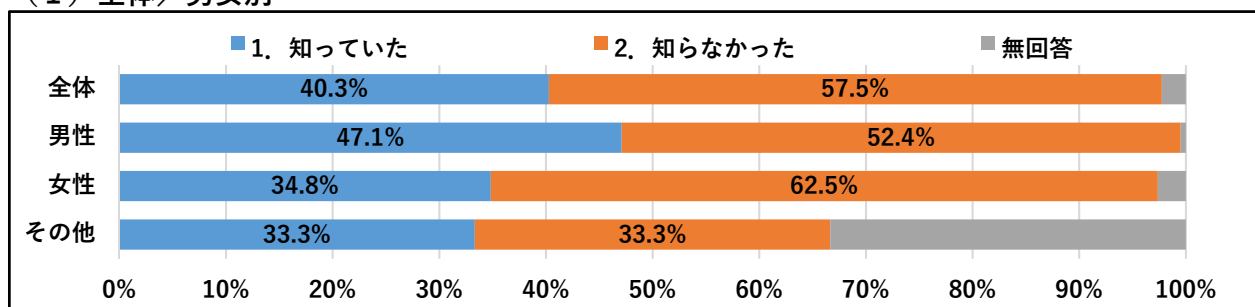
地区別では、八幡平地区、尾去沢地区で減少しました。

7 カーボンニュートラルについて

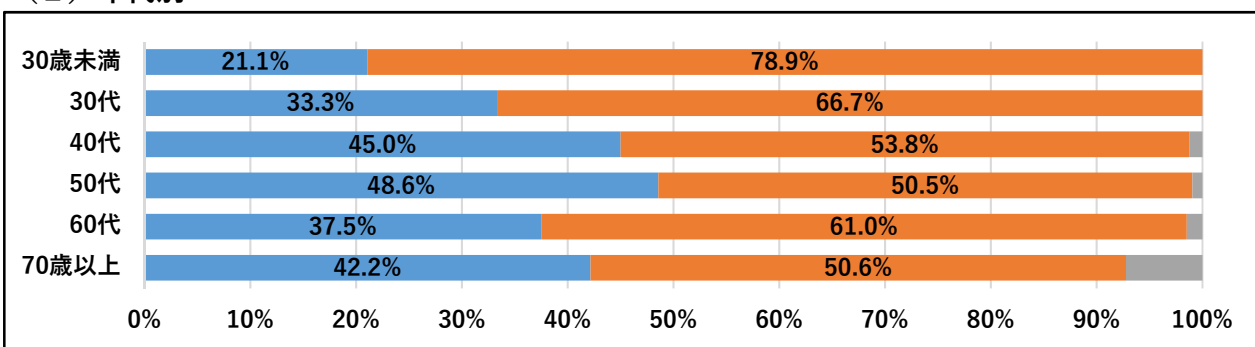
設問 8 ① 市では、2030 年までにカーボンニュートラル（※）を達成することを令和 4 年 3 月に宣言しました。このことを知っていましたか。

※地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量と森林による吸収量のバランスをとることを言います。

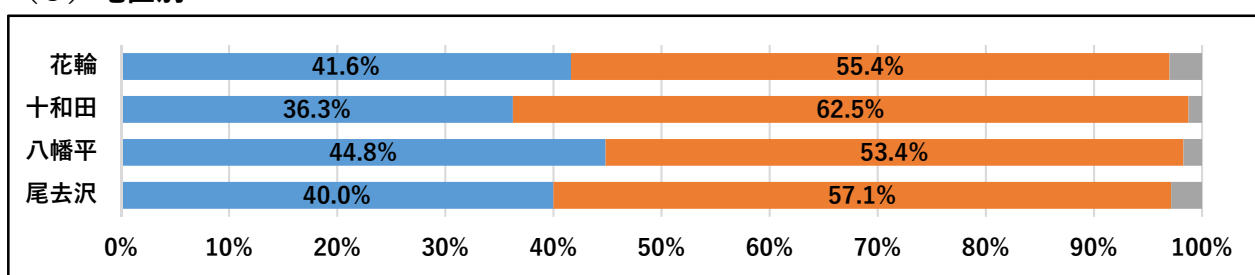
（1）全体／男女別



（2）年代別



（3）地区別



（4）分析結果

「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている人の割合は 40.3 %で、前年度と比較して 6.8 ポイント減少しました。

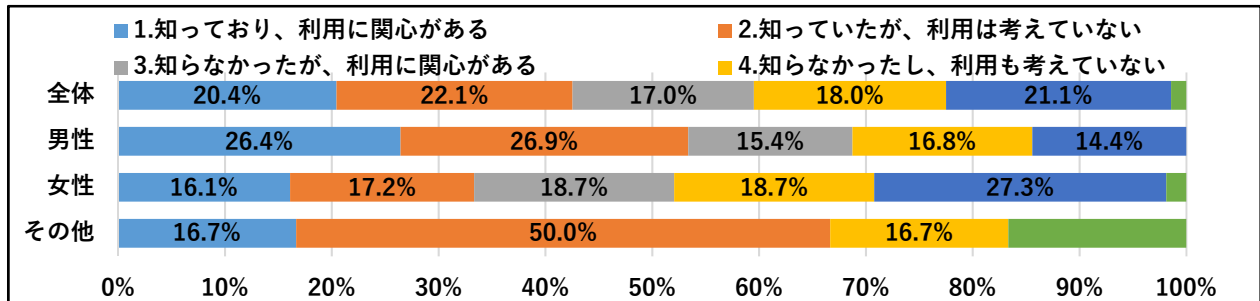
男女別では、男性の知っていた割合が 47.1 %で、前年度と比較して 8.3 ポイント減少しました。また、女性の知っていた割合が 34.8 %で、前年度と比較して 4.7 ポイント減少しました。

年代別では、40 歳代は前年度と比較して 5.3 ポイント増加しましたが、その他すべての年代で前年度を下回りました。

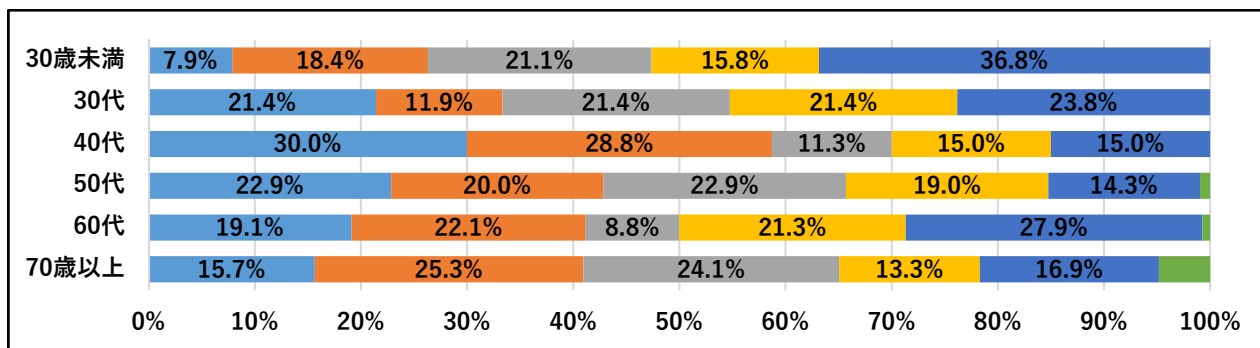
地区別では、すべての地区で前年度を下回りましたが、前々年度以前は 30%台が続いていたことから、市内全体での認知度は上昇傾向にあると言えます。

設問 8 ② 地域電力会社「株式会社かづのパワー」が地元の水力、地熱、風力などの再生可能エネルギー由来の電気を公共施設だけでなく市内のご家庭や事業所にも供給しています。このことを知っていましたか。

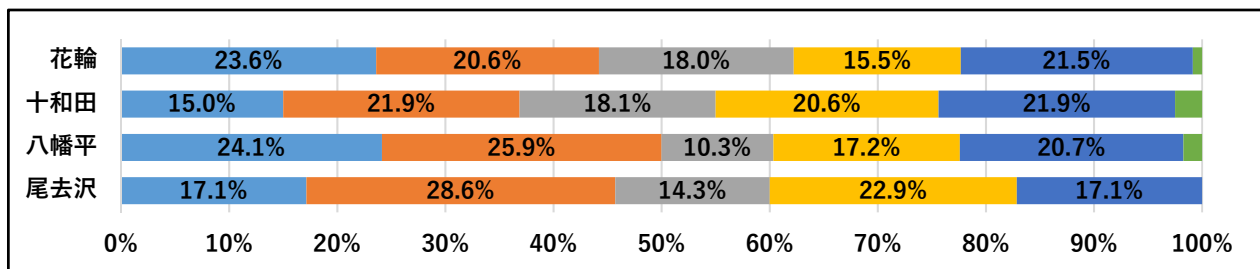
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「かづのパワーが再エネ電力を市内に供給していること」について知っている人の割合は42.5 %で、利用に関心のある人の割合が37.4 %でした。

男女別では、男性の知っていた割合が53.3 %で、利用に関心のある人の割合が41.8 %でした。また、女性の知っていた割合が33.3 %で、利用に関心のある人の割合が34.8 %となり、男性と比較して認知度と関心度が低くなっています。

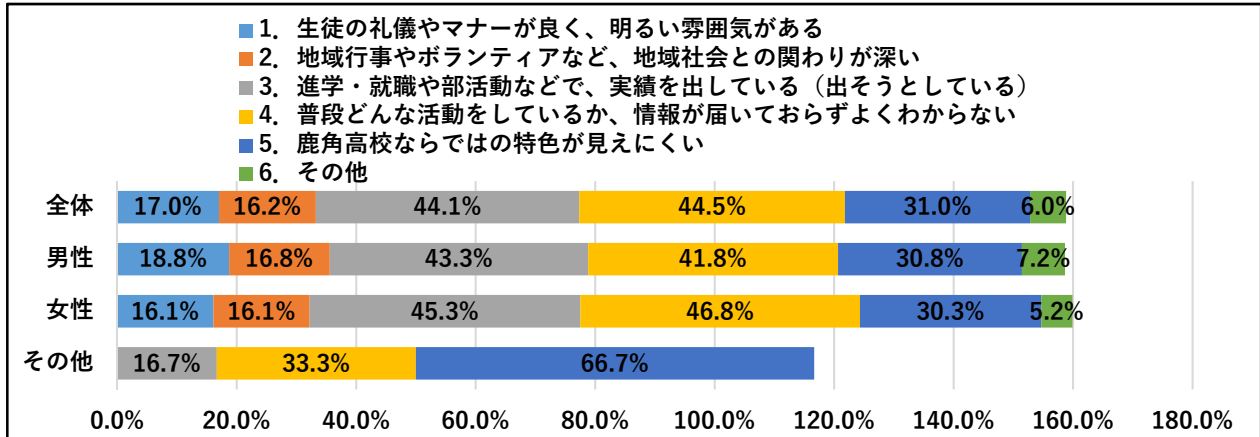
年代別では、40 歳代の知っていた割合が58.8 %で最も高く、30 歳未満が26.3 %で最も低くなりました。また、利用に関心がある人の割合は50 歳代の45.8 %が最も高く、60 歳代が27.9 %で最も低くなりました。

地区別では、知っていた割合が八幡平地区で50.0 %と最も高く、十和田地区の36.9 %が最も低いという結果でした。また、利用に関心がある人の割合は花輪地区の41.6 %が最も高く、尾去沢地区で31.4 %と最も低くなり、地区によって認知度と関心度に差が見られます。

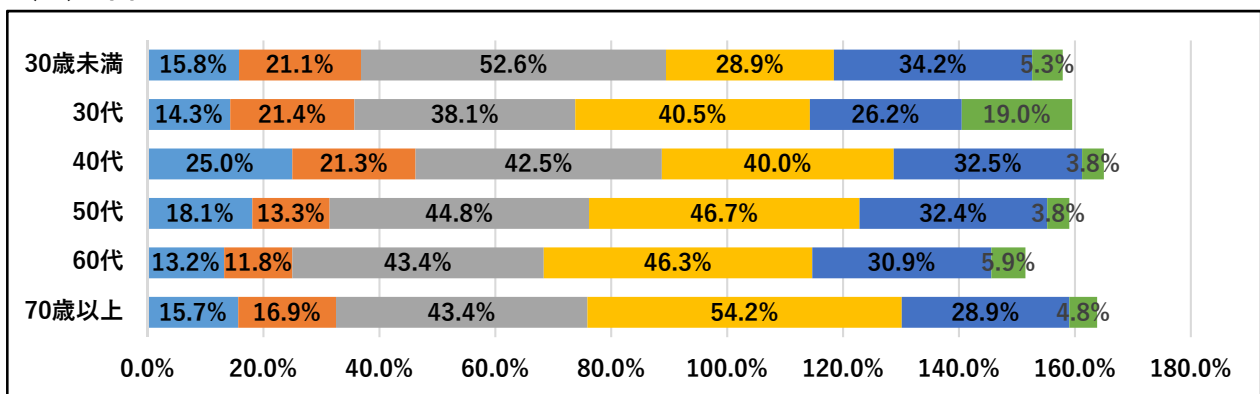
8 鹿角高校について

設問 9 ① 現在の鹿角高校について、あなたはどのようなイメージや印象を持っていますか。あてはまるものを最大3つまで選択してください。

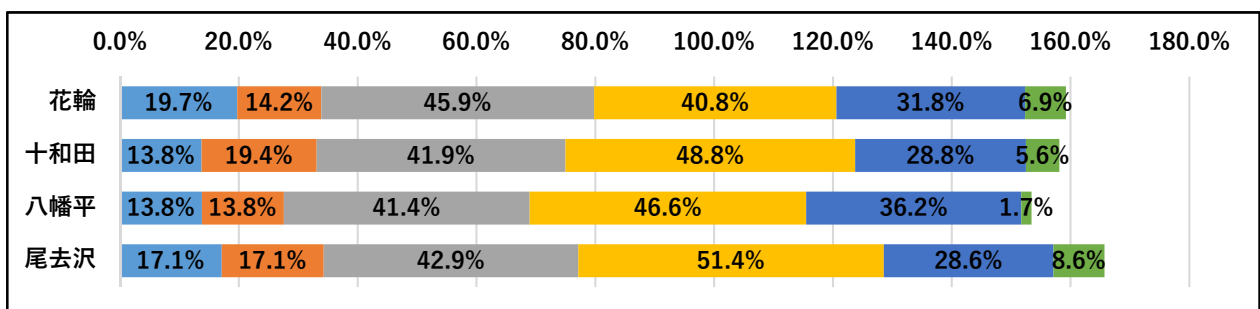
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

現在の鹿角高校のイメージについては、全体では「普段どんな活動をしているか、情報が届いておらずよくわからない」が44.5%で最も高く、次いで「進学・就職や部活動などで、実績を出している（出そうとしている）」が44.1%となりました。

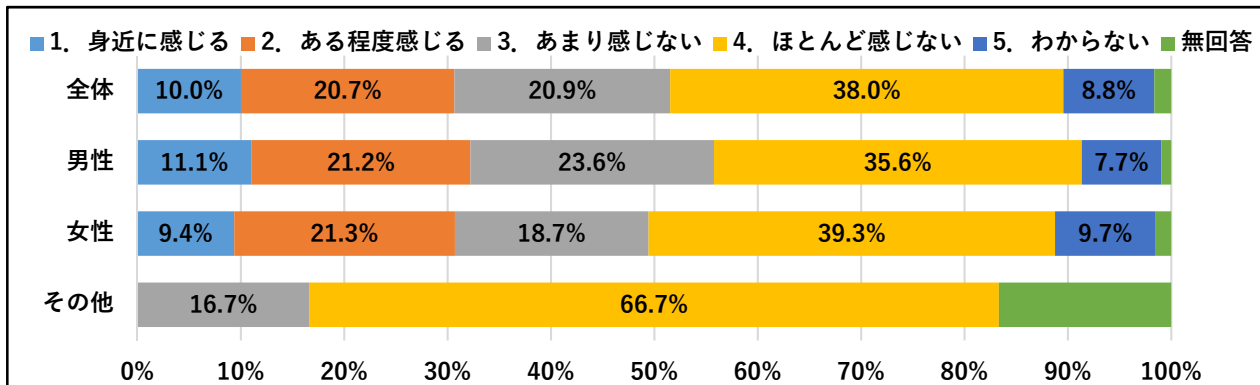
年代別では、30歳未満で「進学・就職や部活動などで、実績を出している（出そうとしている）」が52.6%と最も高い一方、50歳代以上では「普段どんな活動をしているか、情報が届いておらずよくわからない」が最も高くなっています。

地区別では、花輪地区では「進学・就職や部活動などで、実績を出している（出そうとしている）」が45.9%で最も高くなりましたが、十和田地区、尾去沢地区、八幡平地区で「情報が届いておらずよくわからない」が最も高くなりました。

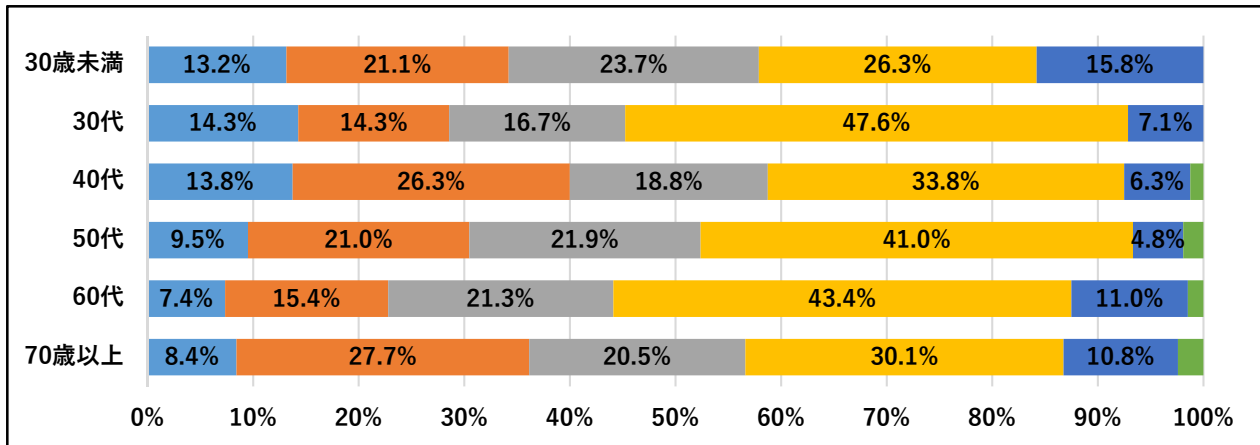
全体として、鹿角高校の実績は認識されている一方で、日頃の活動や特色に関する市民の受け止めには、地域や年代による差が見られます。

設問 9 ② あなたのお住まいの地域では、鹿角高校との関わりや高校生の存在を身近に感じますか。

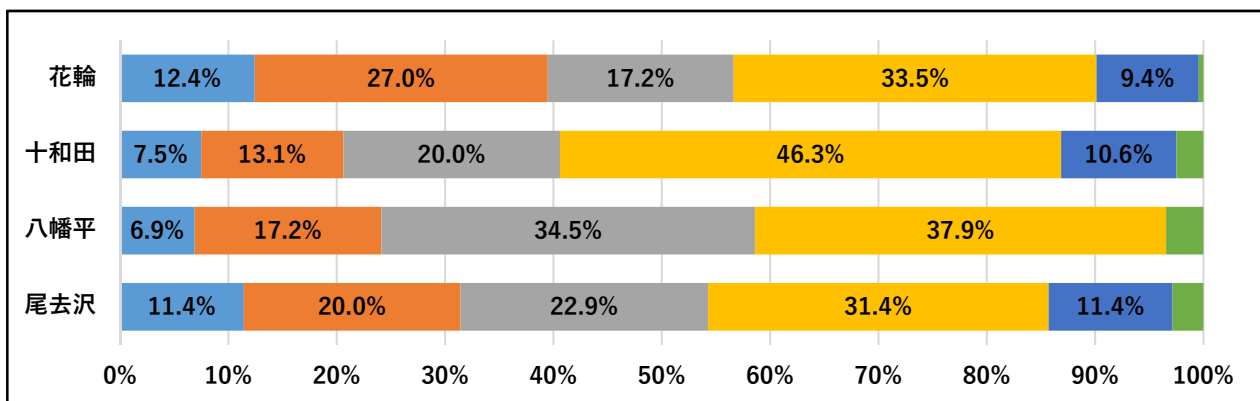
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

鹿角高校との関わりや高校生の存在については、全体では「あまり感じない」と「ほとんど感じない」の合計が 58.9% となり、「身近に感じる」と「ある程度感じる」の合計 30.7% を上回りました。

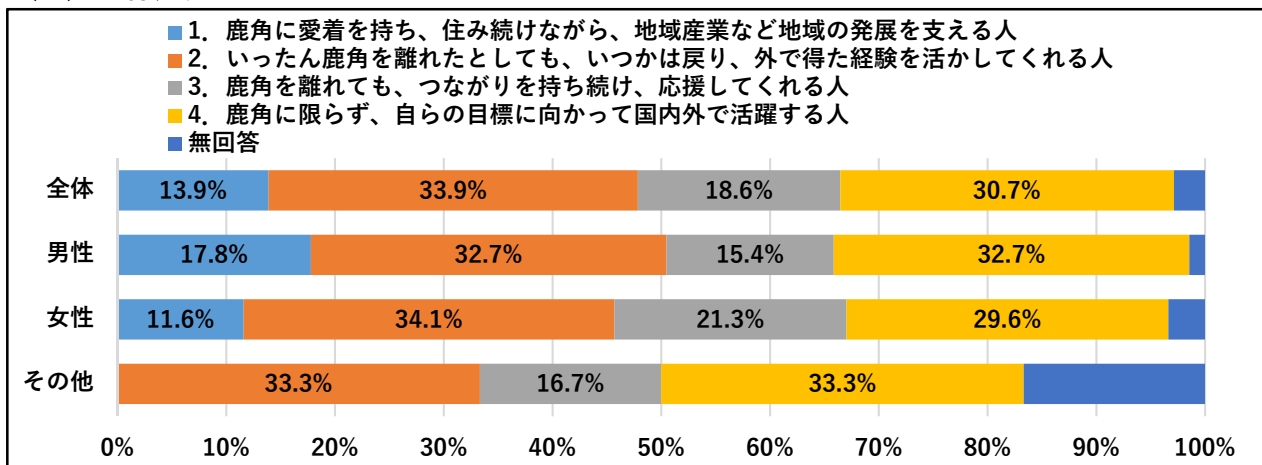
年代別では、30 歳代で「ほとんど感じない」が 47.6% と最も高く、50 歳代、60 歳代でも 4 割を超えています。一方、30 歳未満では「ほとんど感じない」が 26.3% で、他の年代に比べて低くなっています。

地区別では、花輪地区では「身近に感じる」「ある程度感じる」の合計が 39.4% と他地区より高くなっている一方、十和田地区で「ほとんど感じない」が 46.3% と最も高くなっています。

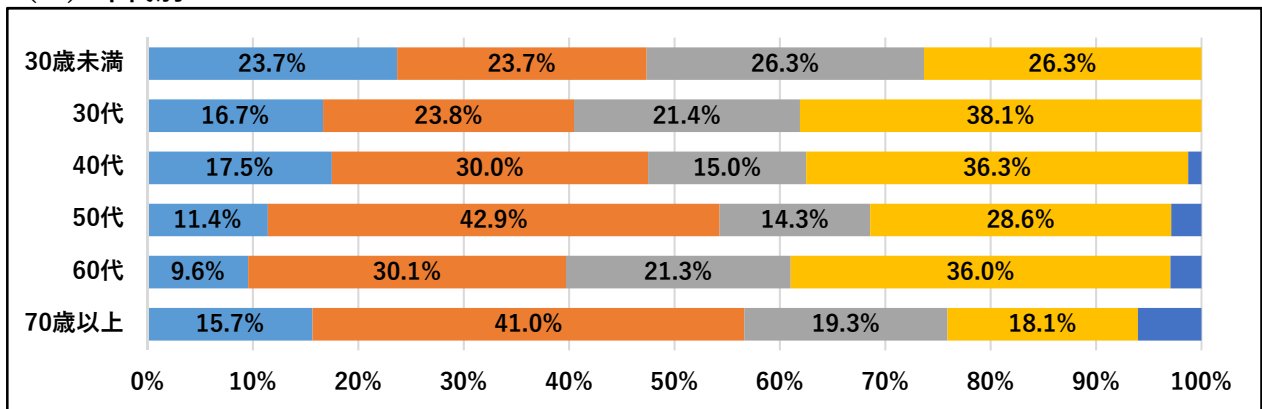
高校との関わりの感じ方には年代や地域による差が見られ、特に鹿角高校が立地する花輪地区では他地区に比べ、より身近に感じられていることがわかりました。

設問 9③ 鹿角高校で学んだ生徒たちには、将来どのような大人になってほしいと思いますか。最も期待するものを1つ選択してください。

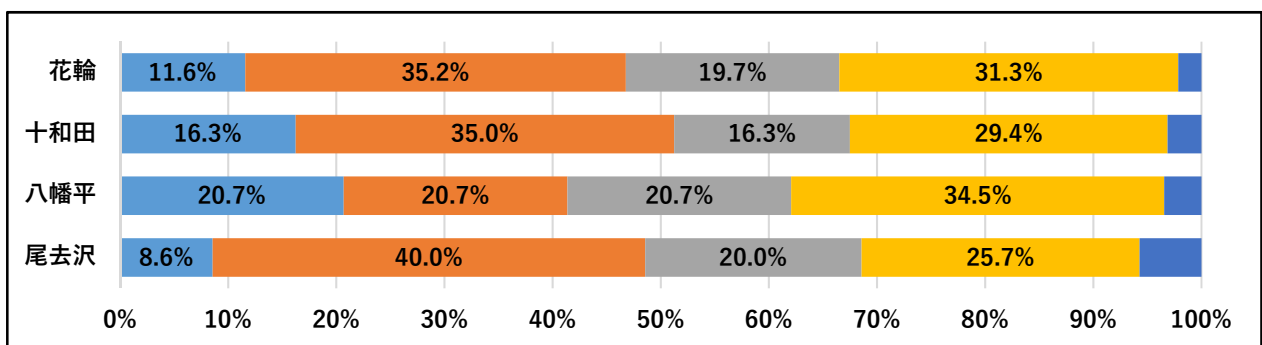
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

鹿角高校で学んだ生徒たちに期待する将来像については、全体では「いったん鹿角を離れたとしても、いつかは戻り、外で得た経験を活かしてくれる人」が33.9%で最も高く、次いで「鹿角に限らず、自らの目標に向かって国内外で活躍する人」が30.7%となりました。

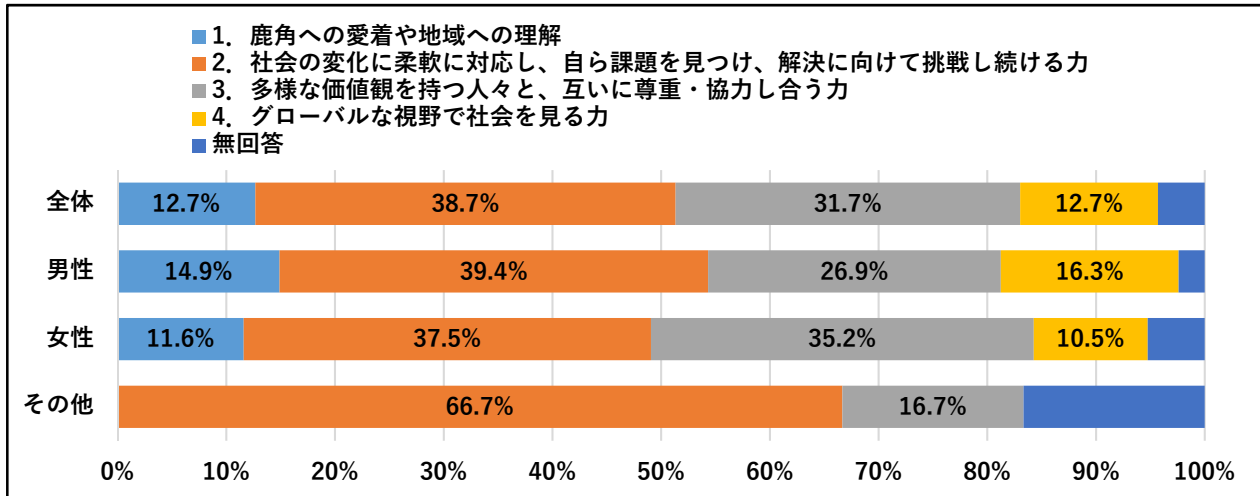
年代別では、30歳代・40歳代・60歳代で「鹿角に限らず、自らの目標に向かって国内外で活躍する人」が最も高い一方、50歳代・70歳以上では「いつかは戻り、外で得た経験を活かしてくれる人」が最も高くなっています。

地区別では、花輪地区、十和田地区、尾去沢地区で「いったん鹿角を離れたとしても、いつかは戻り、外で得た経験を活かしてくれる人」が最も高く、八幡平地区では「鹿角に限らず、自らの目標に向かって国内外で活躍する人」が34.5%で最も高くなりました。

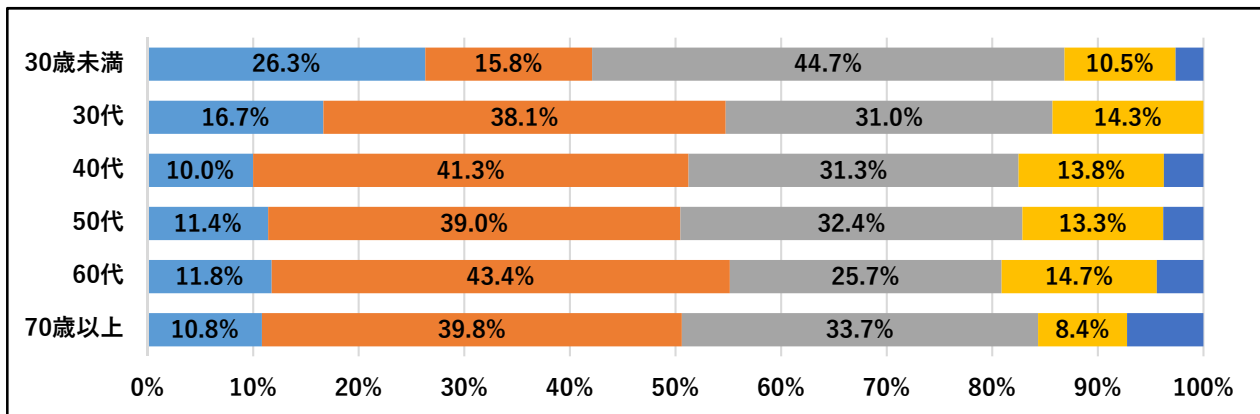
地域とのつながりを持ちながら、外で得た経験や広い視野を将来的に生かしてほしいという期待が、市民の中で比較的高いことがうかがえます。

設問 9 ④ 鹿角高校で学んだ生徒たちには、どのような力を身に付けてほしいと思いますか。
最も期待するものを1つ選択してください。

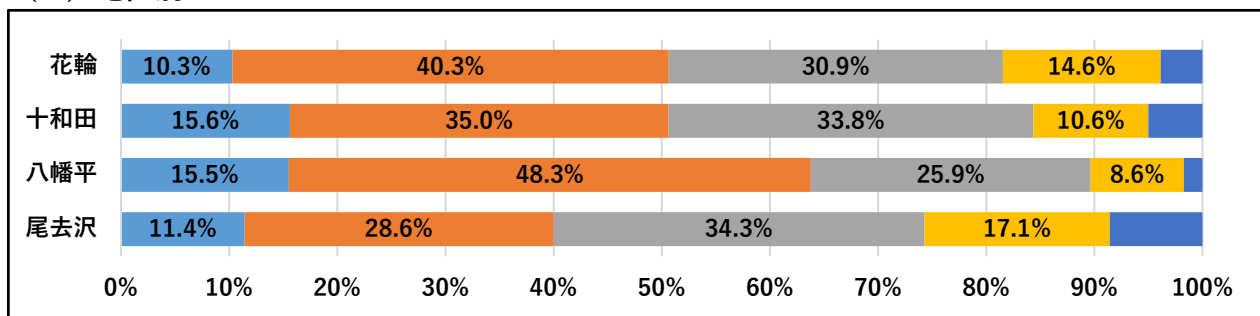
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

鹿角高校で学んだ生徒たちに身に付けてほしい力については、全体では「社会の変化に柔軟に対応し、自ら課題を見つけ、解決に向けて挑戦し続ける力」が38.7%で最も高く、次いで「多様な価値観を持つ人々と、互いに尊重・協力し合う力」が31.7%となりました。

年代別では、30歳未満で「多様な価値観を持つ人々と、互いに尊重・協力し合う力」が44.7%で最も高い一方、30歳代以上では「社会の変化に柔軟に対応し、自ら課題を見つけ、解決に向けて挑戦し続ける力」が最も高くなっています。

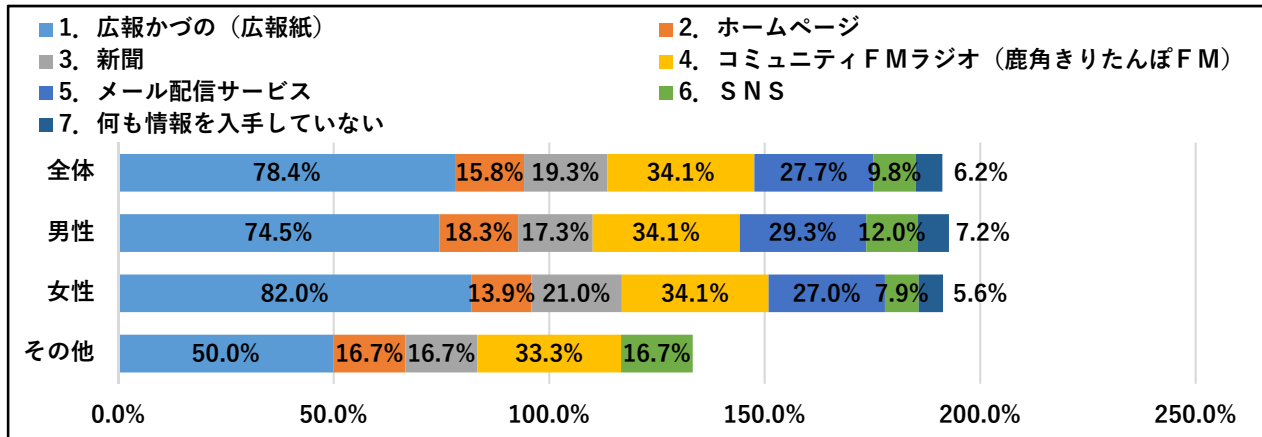
地区別では、花輪地区、十和田地区、八幡平地区で「社会の変化に柔軟に対応し、自ら課題を見つけ、解決に向けて挑戦し続ける力」が最も高く、尾去沢地区では「多様な価値観を持つ人々と、互いに尊重・協力し合う力」が34.3%で最も高くなりました。

全体として、社会の変化に対応する柔軟性に加え、多様な人々と協力しながら社会の中で力を発揮できる力が重視されていることが分かります。

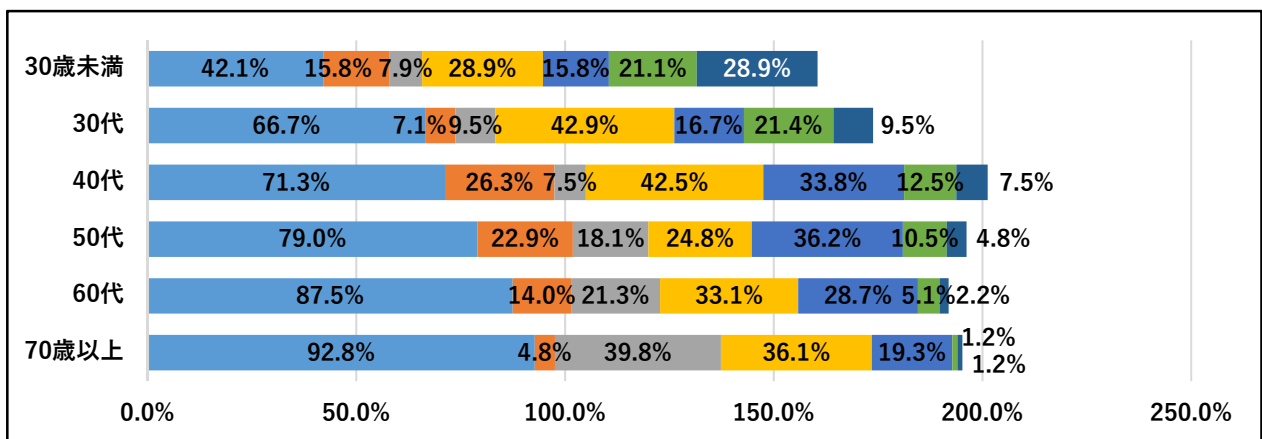
9 市の情報発信方法について

設問 10① あなたは市からの情報（お知らせ）を入手する手段として実際に利用し、欠かせないと感じているものはどれですか。（複数回答可）

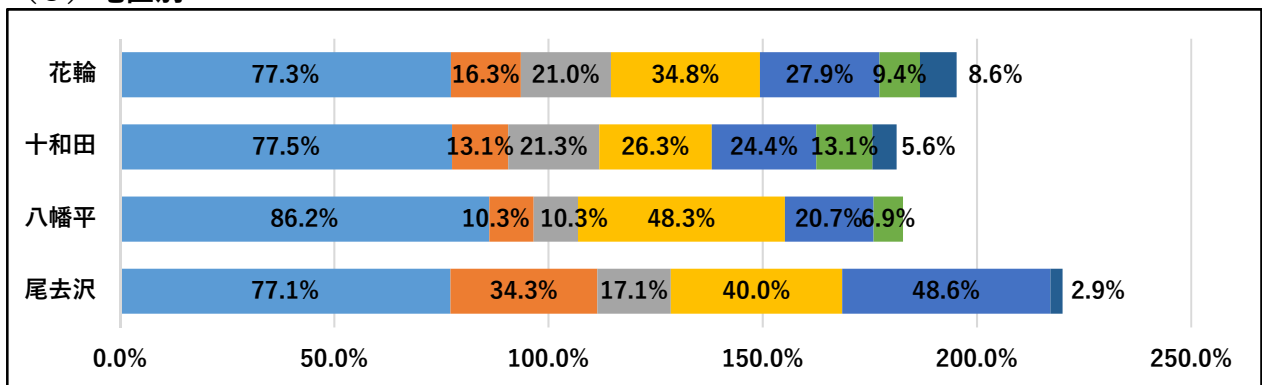
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



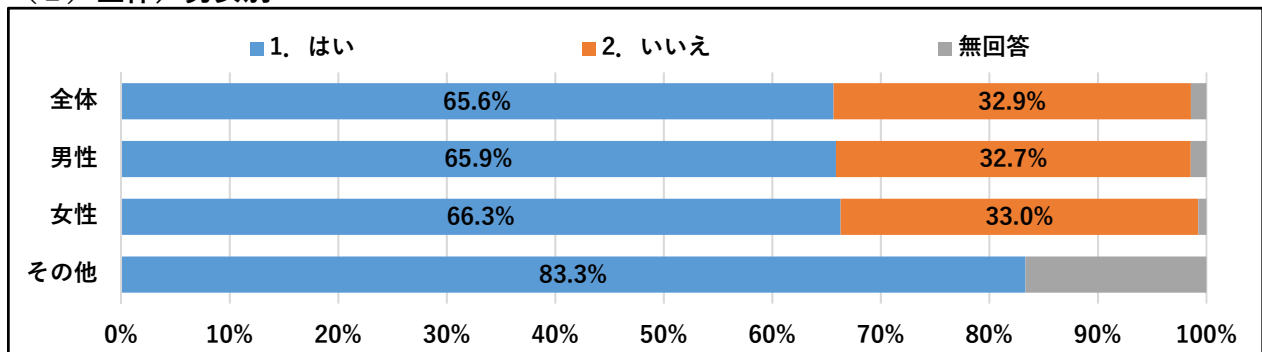
（４）分析結果

全体では「広報かつの（広報紙）」が78.4%と最も高く、「コミュニティFMラジオ」34.1%、「メール配信サービス」27.7%、「新聞」19.3%、「ホームページ」15.8%、「SNS」9.8%と続きました。

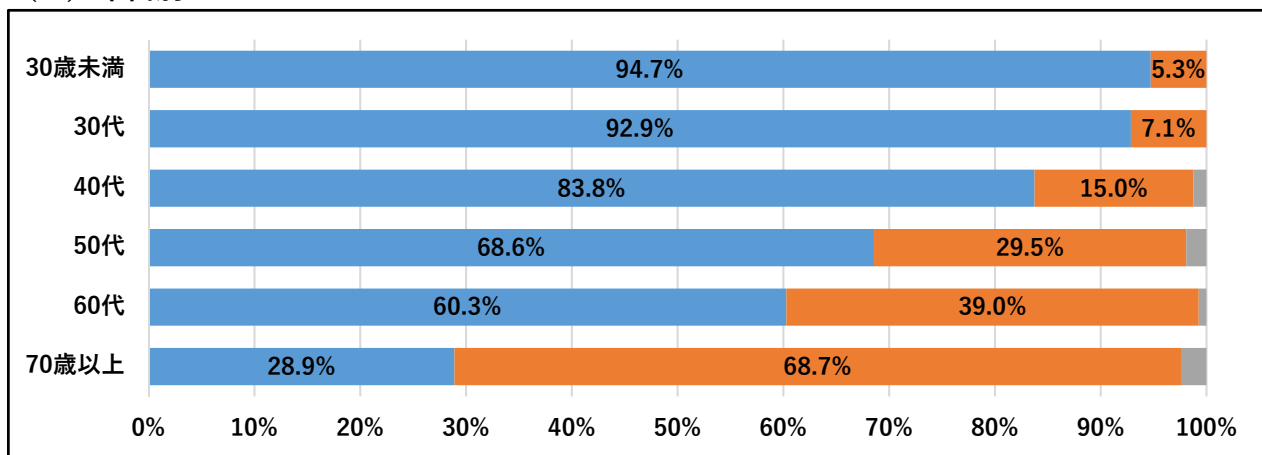
年代別に見ると、傾向の差が顕著であり、「広報かつの」は年代が上がるほど利用率が高まり、70歳以上では92.8%に達する一方、30歳未満では42.1%にとどまっています。一方で「SNS」は、30歳未満21.1%、30歳代21.4%と若年層で高く、70歳以上では1.2%と大きな差が出ています。また「何も情報を入手していない」は30歳未満が28.9%と突出して高く、若年層への情報到達に課題があることがうかがえます。

設問 10② あなたは現在、SNS（LINE、エックス、インスタグラムなど）を利用していますか。

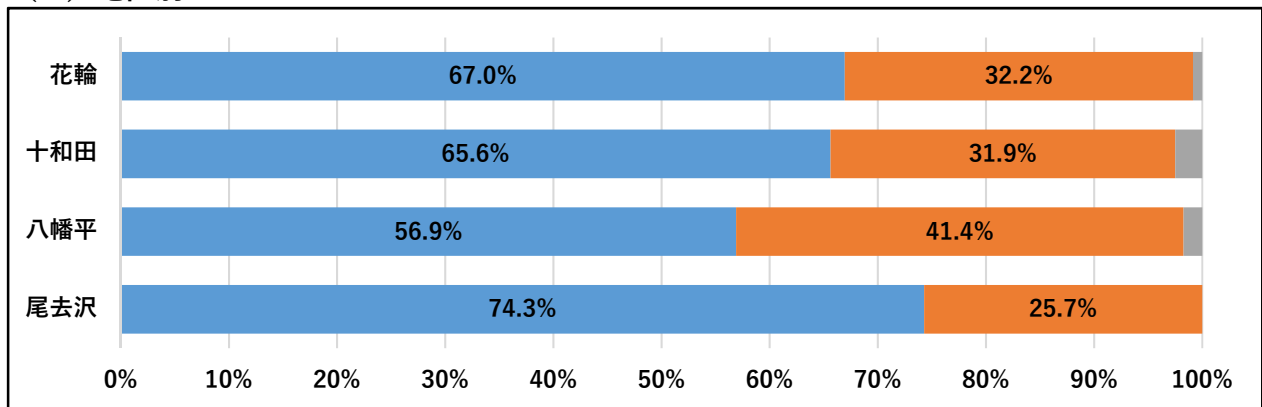
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別

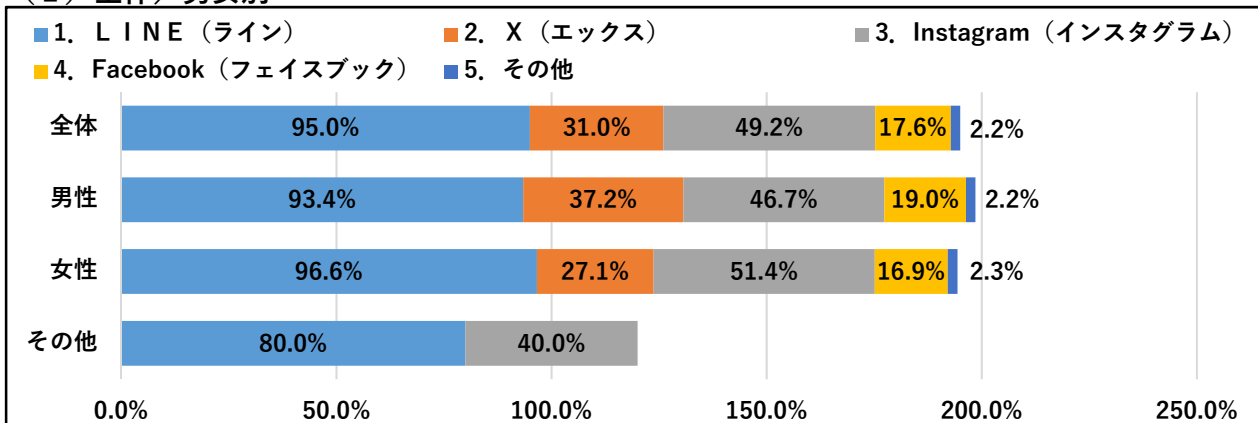


（４）分析結果

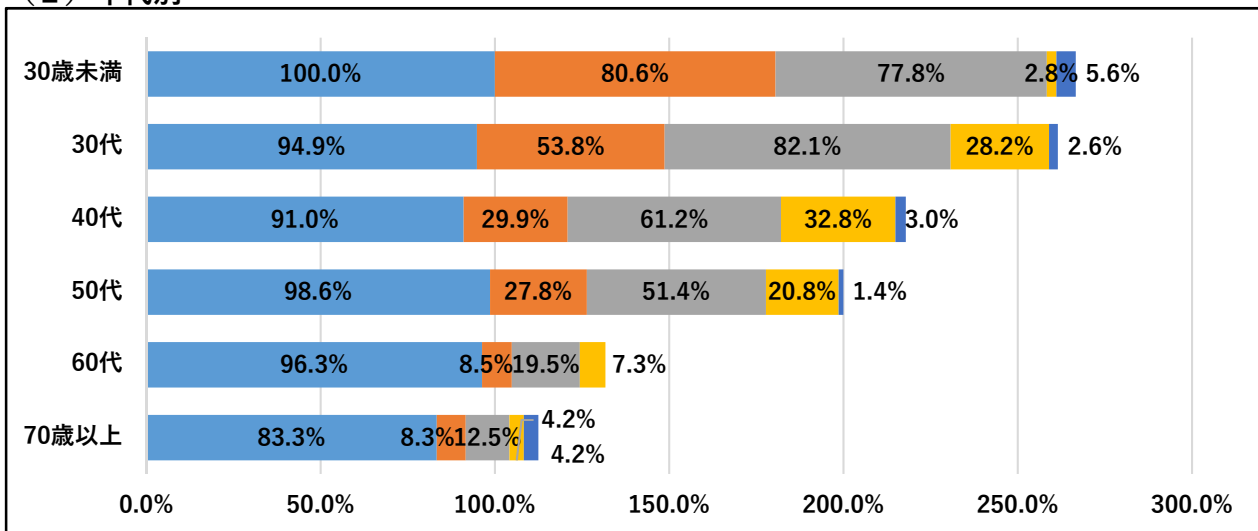
年代別では差が明確であり、SNS 利用率は、30 歳未満 94.7%、30 歳代 92.9%と若年層で非常に高くなっている一方、年代が上がるにつれて低下し、70 歳以上では 28.9%にとどまっています。

◆SNS を利用している人のうち、どの SNS を利用してるか。

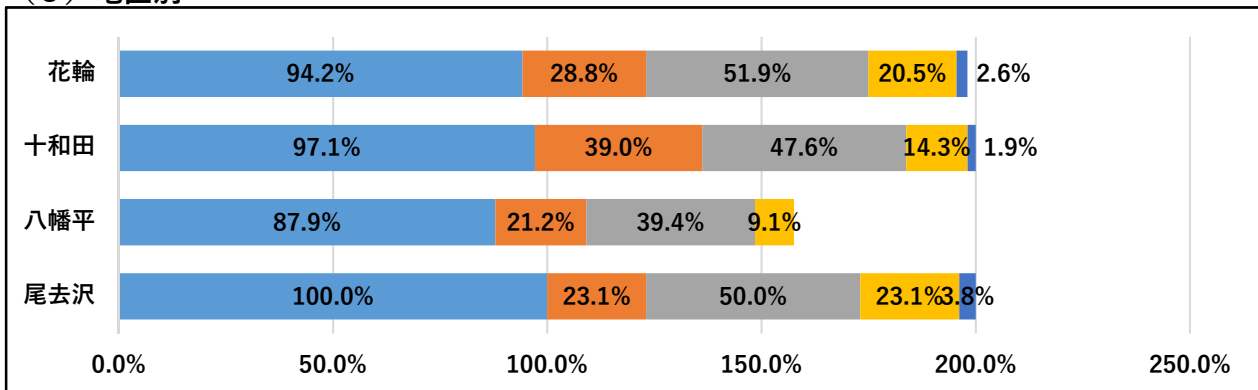
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

利用している SNS は「LINE」が 95.0% で最も高く、次いで「Instagram」49.2%、「X」31.0%、「Facebook」17.6% となっています。

年代別にみると「Instagram」の利用率は、30 歳未満で 77.8%、30 歳代で 82.1% と、おおむね 8 割に達している一方、60 歳代では 19.5% まで低下しています。

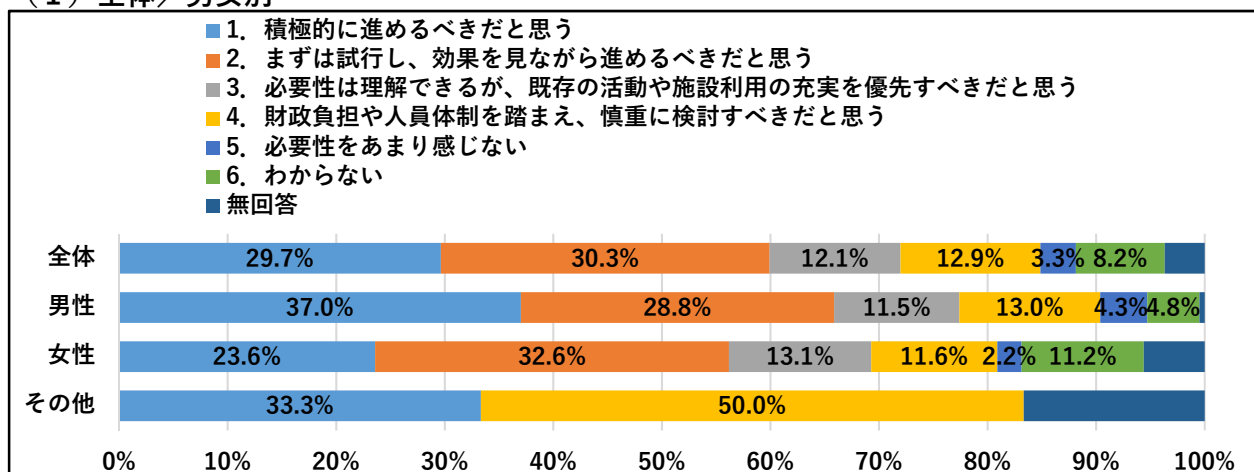
「X」の利用率も 30 歳未満では 80.6% と高い一方、60 歳代では 8.5% にとどまり、年代による大きな差がみられます。

一方、「LINE」はすべての年代で 83% 以上となっており、世代を問わず広く利用されていることがうかがえます。

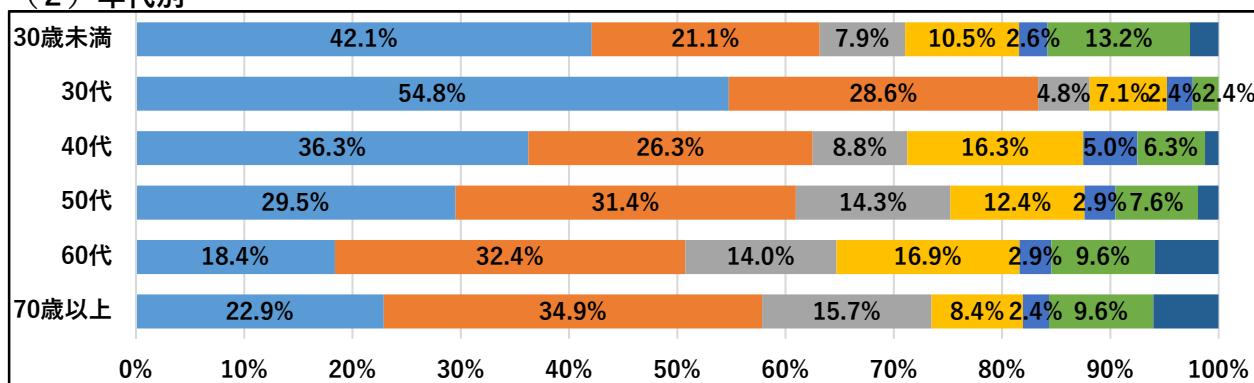
10 若者の居場所・学び・挑戦の拠点づくりについて

設問 11① 本市が、既存公共施設等を活用し、中高生や若者が安心して過ごし、学び・交流・挑戦できる場を試行することについて、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

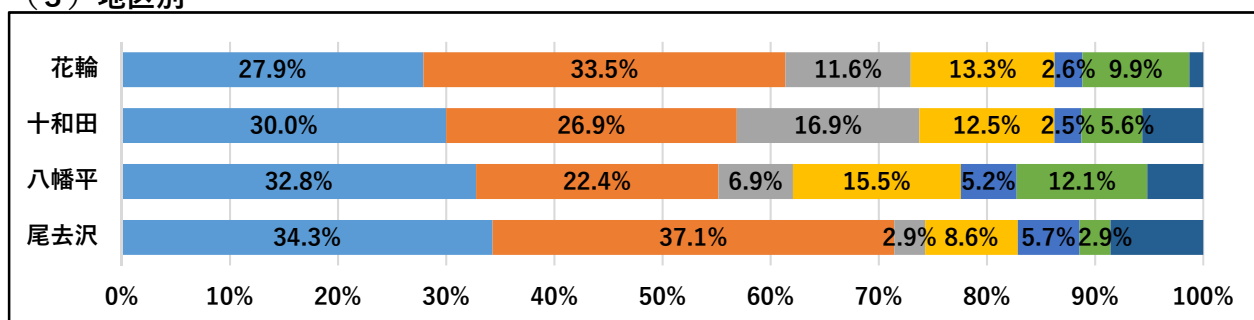
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

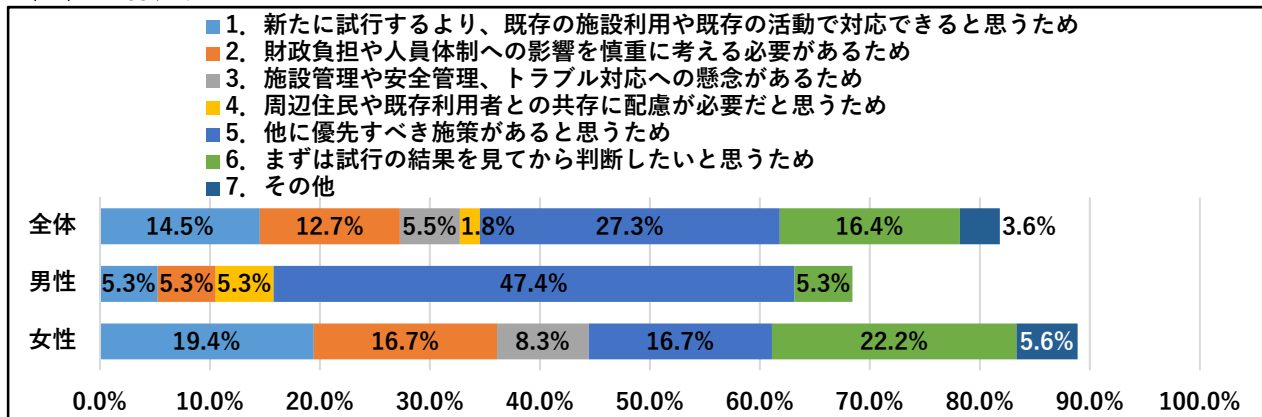
全体の 60.0% が「積極的に進めるべきだと思う」又は「まずは試行し、効果を見ながら進めるべきだと思う」と回答しており、試行を含め、取組を進めることに肯定的な回答が過半数を占めています。

年代別に見ると、肯定的な回答の割合は 30 歳代が 83.4% で最も高く、次いで 30 歳未満が 63.2% となっています。また、最も低い 60 歳代でも 50.8% であり、すべての年代で過半数を占めています。

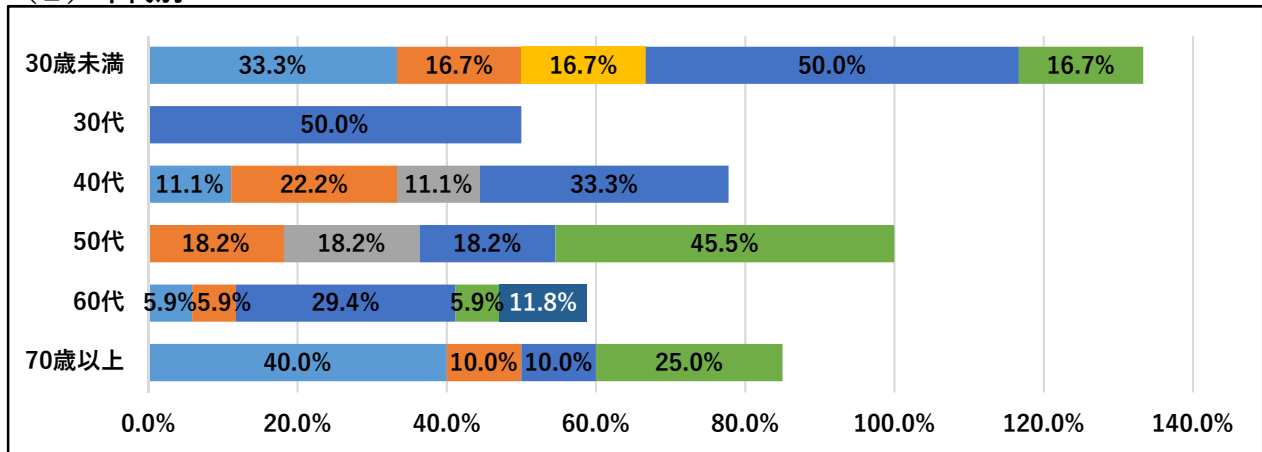
一方、「既存の活動や施設利用の充実を優先すべきだと思う」と「財政負担や人員体制を踏まえ、慎重に検討すべきだと思う」を合わせると 25.0% となっており、取組を進める際には、既存事業との役割分担や財政・運営体制について丁寧に示す必要があります。

設問 11①-2 ①で5 または 6 を選択した方におたずねします。その理由として、あなたの考えに近いものを2つまで選び、○をつけてください。

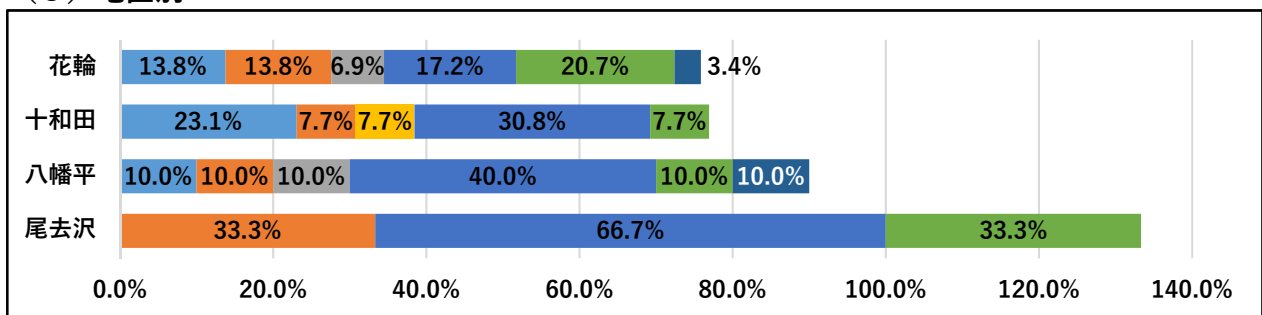
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

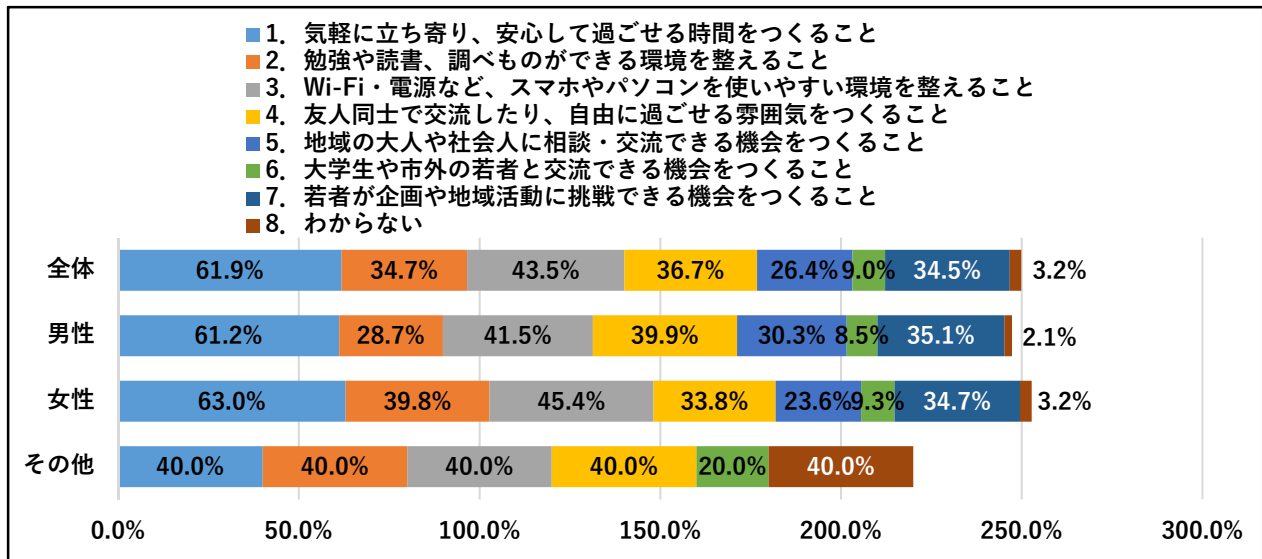
「必要性をあまり感じない」又は「わからない」と回答した人の理由としては、「他に優先すべき施策があると思ふため」が27.3%で最も高く、次いで「まずは試行の結果を見てから判断したいと思ふため」が16.4%、「新たに試行するより、既存の施設利用や既存の活動で対応できると思うため」が14.5%となっています。

最も多かった「他に優先すべき施策があると思ふため」という回答から、取組の必要性だけでなく、他の施策との優先順位や費用対効果を明確にすることが求められています。

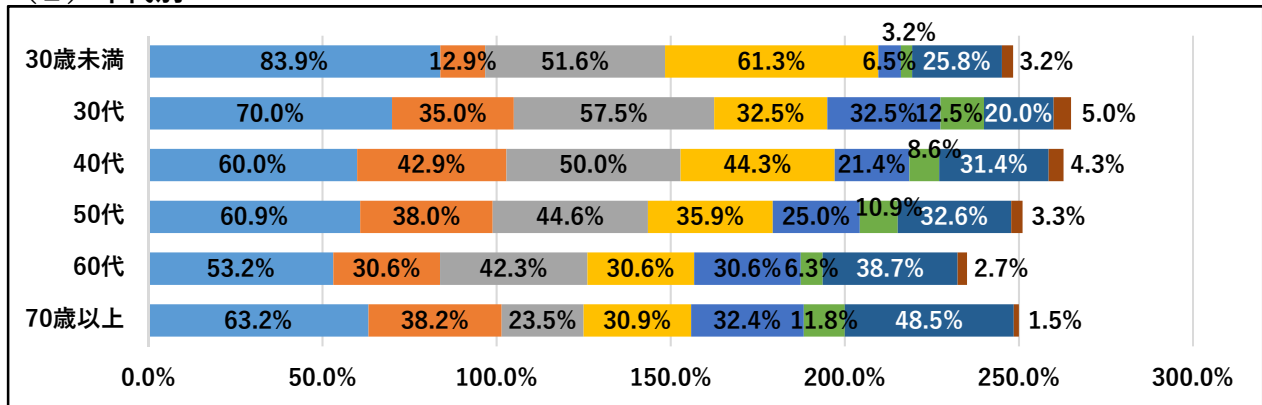
また、「まずは試行の結果を見てから判断したい」という回答も一定数みられることから、現時点で取組そのものに反対しているとは限らず、試行によって効果や課題を検証し、その結果を示すことが判断材料になると考えられます。

設問 11② ①で1～4を選んだ方におたずねします。中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、特に重視すべき内容は何だと思いますか。3つまで選び、○をつけてください。

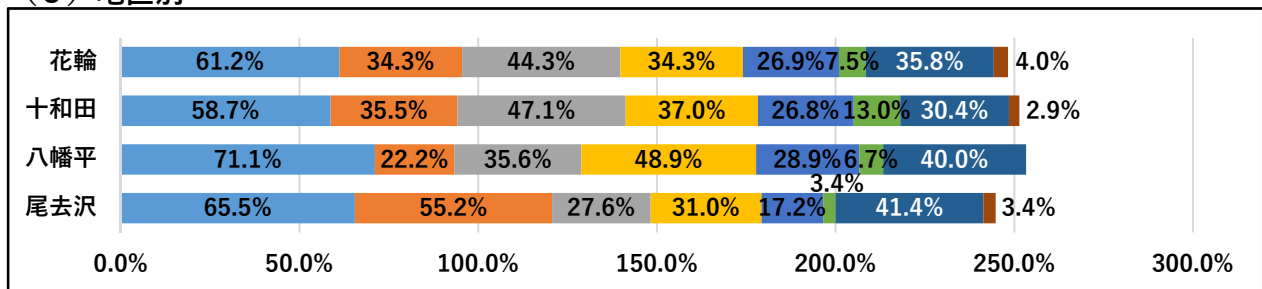
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

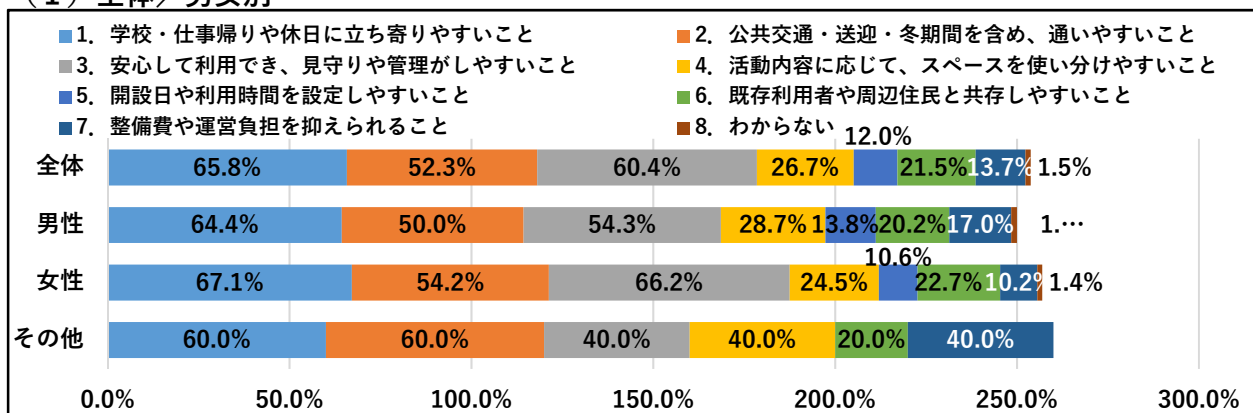
全体では、「気軽に立ち寄り、安心して過ごせる時間をつくること」が61.9%で最も高く、次いで「Wi-Fi・電源など、スマートフォンやパソコンを使いやすい環境を整えること」が43.5%、「友人同士で交流したり、自由に過ごせる雰囲気をつくること」が36.7%となっています。

年代別に見ると、30歳未満では「気軽に立ち寄り、安心して過ごせる時間をつくること」が83.9%、「友人同士で交流したり、自由に過ごせる雰囲気をつくること」が61.3%と高く、安心して自由に過ごせる居場所としての機能が特に重視されています。

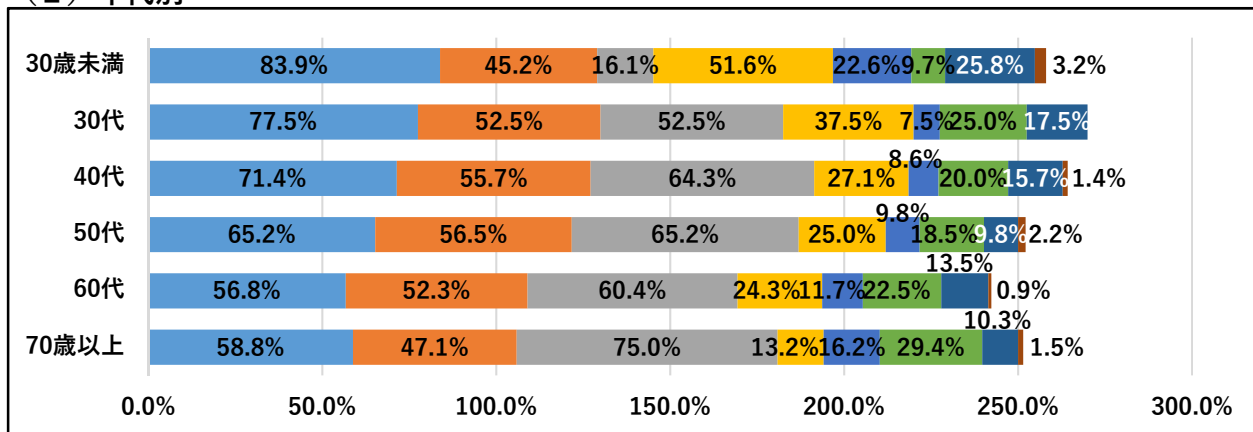
一方、30歳代ではWi-Fi・電源などの利用環境、40歳代では勉強や読書ができる環境への回答も比較的高くなっています。このことから、安心して過ごせる居場所を基本としながら、デジタル環境、自由に過ごせる雰囲気、勉強・読書、若者の挑戦機会などの複数の機能を組み合わせることが求められています。

設問 11③ ①で1～4を選んだ方におたずねします。中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、場所や運営の条件として特に重視すべき内容は何だと思えますか。3つまで選び、○をつけてください。

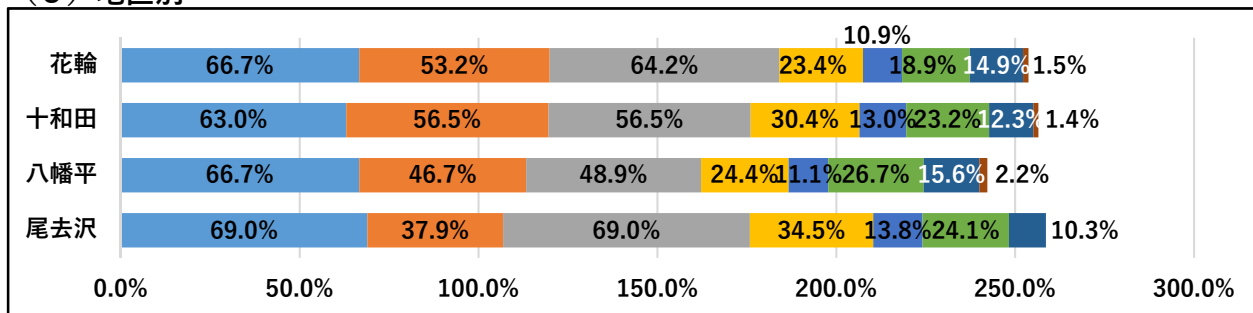
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

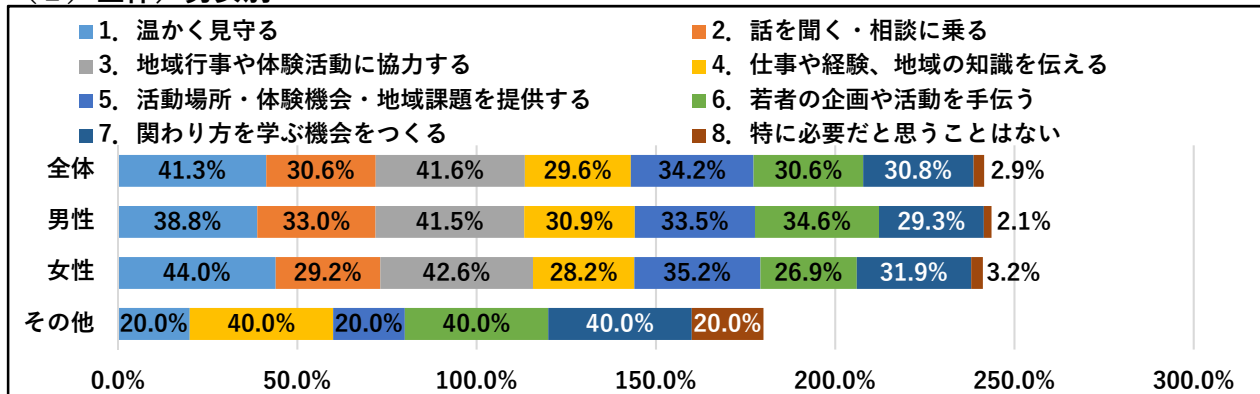
利用環境の条件としては、「学校・仕事帰りや休日に立ち寄りやすいこと」が65.8%で最も高く、次いで「安心して利用でき、見守りや管理がしやすいこと」が60.4%、「公共交通・送迎・冬期間を含め、通いやすいこと」が52.3%となっています。

このことから、施設の内容だけでなく、立地や開設時間、移動手段、安全管理など、実際に継続して利用できる環境を整えることが重要であると考えられます。

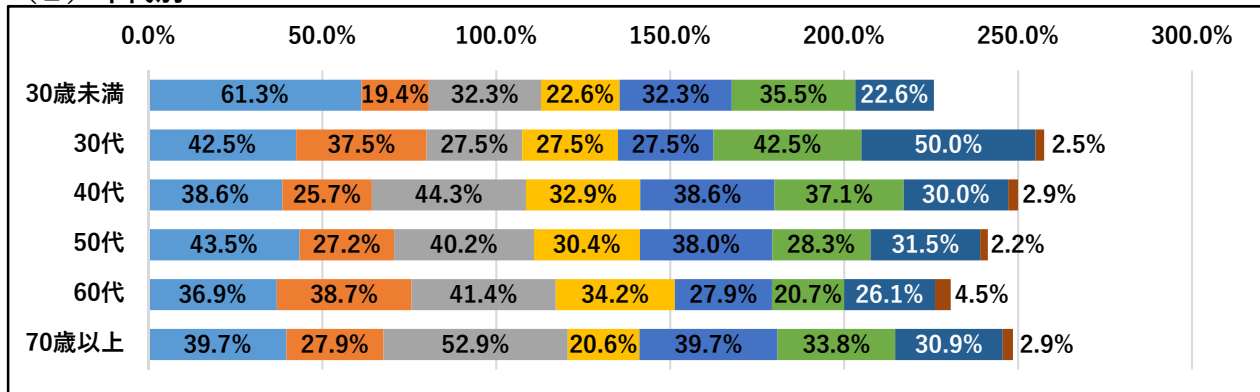
年代別に見ると、30歳未満では「学校・仕事帰りや休日に立ち寄りやすいこと」が83.9%と特に高い一方、70歳以上では「安心して利用でき、見守りや管理がしやすいこと」が75.0%と高くなっています。年代によって、利用者としての立ち寄りやすさと、支える側から見た安全性の重視度に違いがみられます。

設問 11④ ①で1～4を選んだ方におたずねします。このような取組を地域で支えていくためには、地域の大人や市民にどのような関わり方が必要だと思いますか。3つまで選び、○をつけてください。

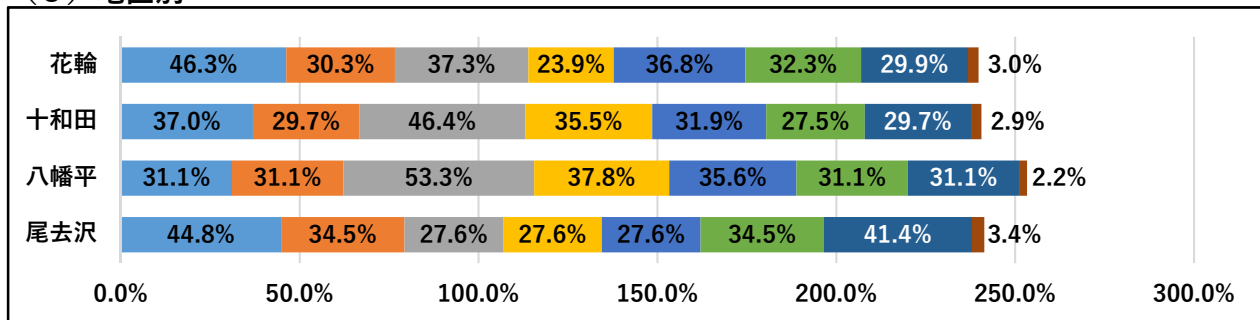
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

地域の大人や市民に期待する関わり方としては、「地域行事や体験活動に協力する」が41.6%で最も高く、次いで「温かく見守る」が41.3%、「活動場所・体験機会・地域課題を提供する」が34.2%となっています。

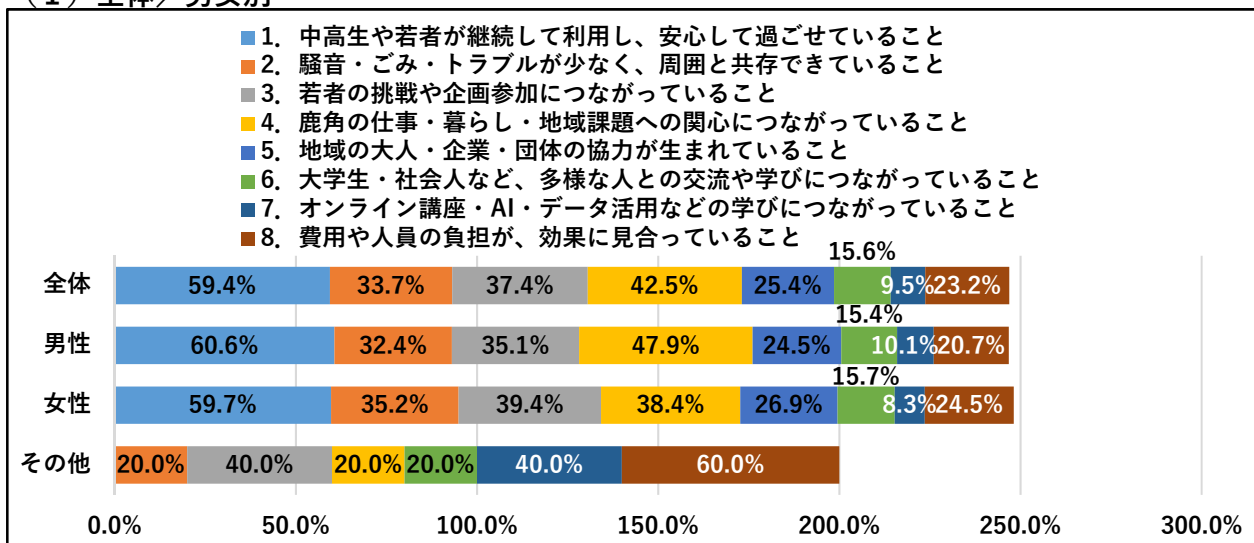
年代別に見ると、30歳未満では「温かく見守る」が61.3%で最も高く、過度に干渉せず、若者が安心して活動できる環境を支える関わり方が重視されています。一方、70歳以上では「地域行事や体験活動に協力する」が52.9%で最も高く、実際の活動に参加・協力する関わり方が重視されています。

また、30歳代では「関わり方を学ぶ機会をつくる」が50.0%で最も高くなっています。若者を支える側に対しても、適切な距離感や支援方法を学ぶ機会を設ける必要があることがうかがえます。

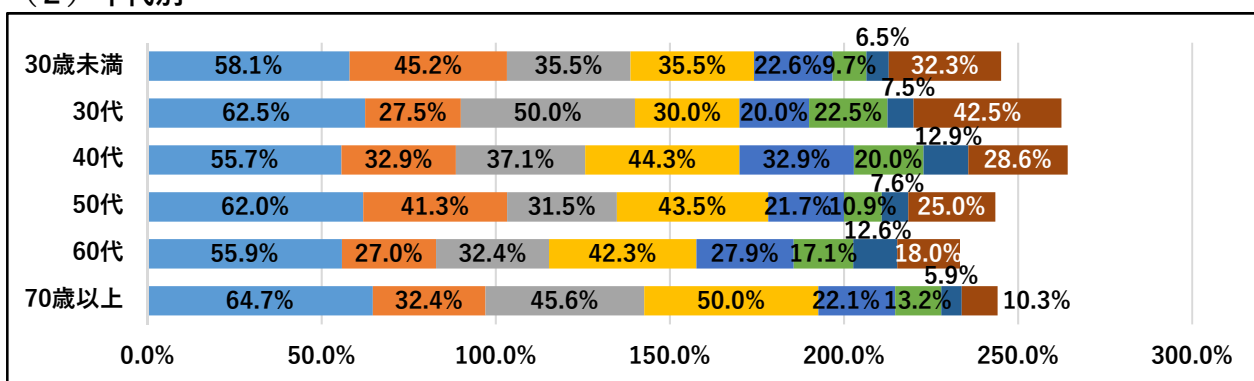
「特に必要だと思うことはない」は全体の2.9%にとどまっており、多くの市民が、方法は異なるものの、地域が何らかの形で若者を支える必要があると考えていることがうかがえます。

設問 11⑤ ①で1～4を選んだ方におたずねします。こうした取組を試行した後、継続・発展を判断する際に、特に重視すべきことは何だと思えますか。3つまで選び、○をつけてください。

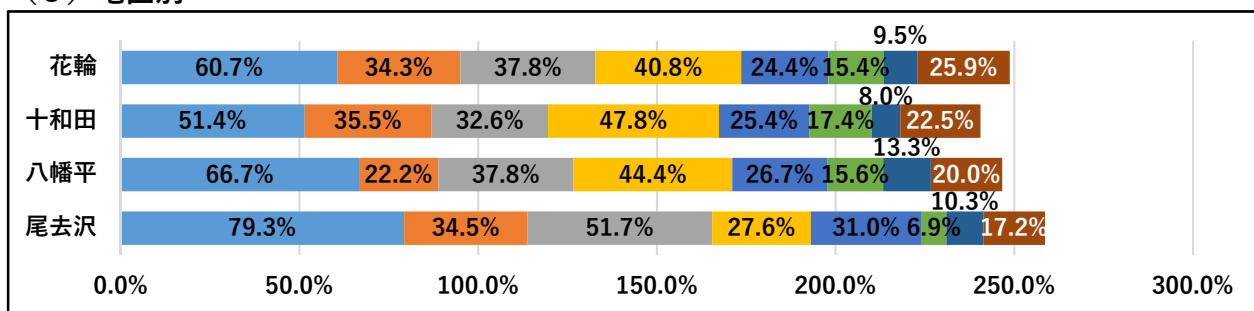
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

取組の継続・発展を判断する際に重視すべき点としては、「中高生や若者が継続して利用し、安心して過ごさせていること」が59.4%で最も高くなっています。

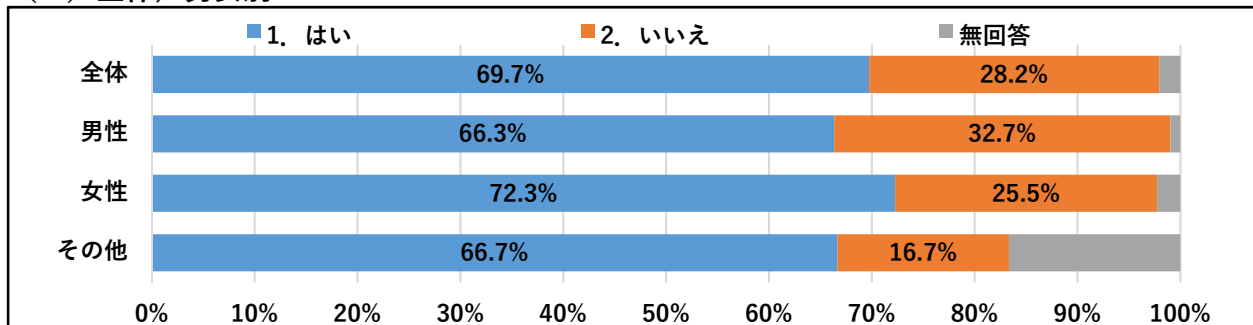
次いで、「鹿角の仕事・暮らし・地域課題への関心につながっていること」が42.5%、「若者の挑戦や企画参加につながっていること」が37.4%となっています。このことから、単に利用者数を確保するだけでなく、地域への関心や若者の主体的な活動につながっているかを検証することが求められています。

一方、「騒音・ごみ・トラブルが少なく、周囲と共存できていること」は33.7%、「費用や人員の負担が、効果に見合っていること」は23.2%となっています。継続・発展の判断に当たっては、若者への効果に加え、周辺との共存や運営負担も含めて総合的に評価する必要があります。

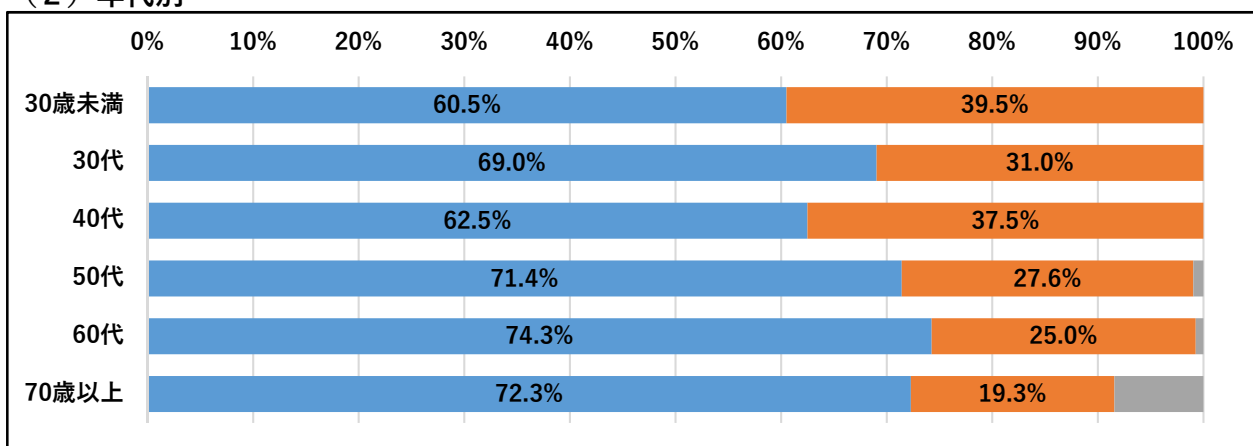
11 医療に対する意識について

設問 12① あなたや家族の具合が悪くなったとき、どこで受診したらよいか相談できる窓口として、知っているものはありますか。

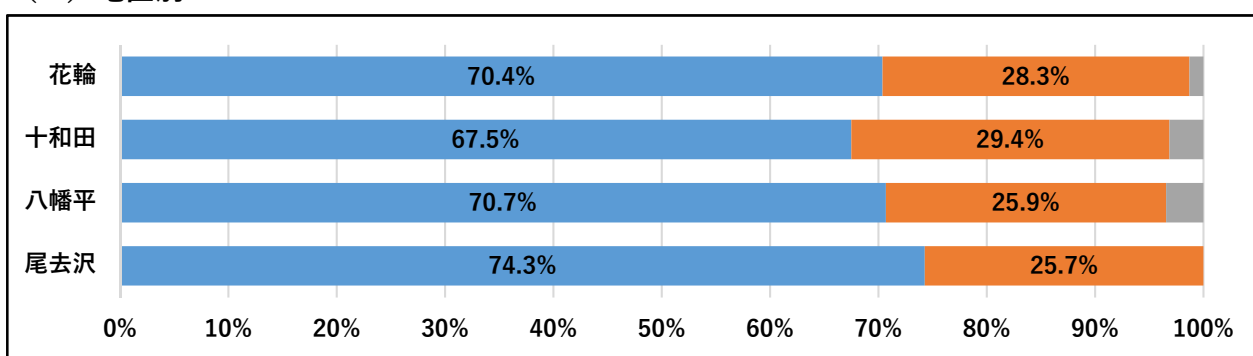
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



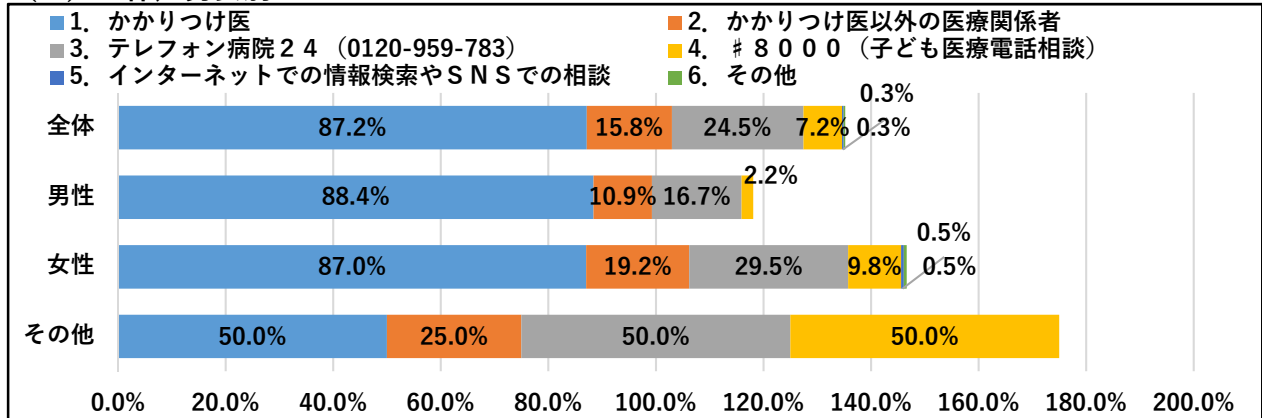
(4) 分析結果

具合が悪くなったとき、どこで受診したらよいか相談できる窓口を知っている人の割合は69.7%となっています。

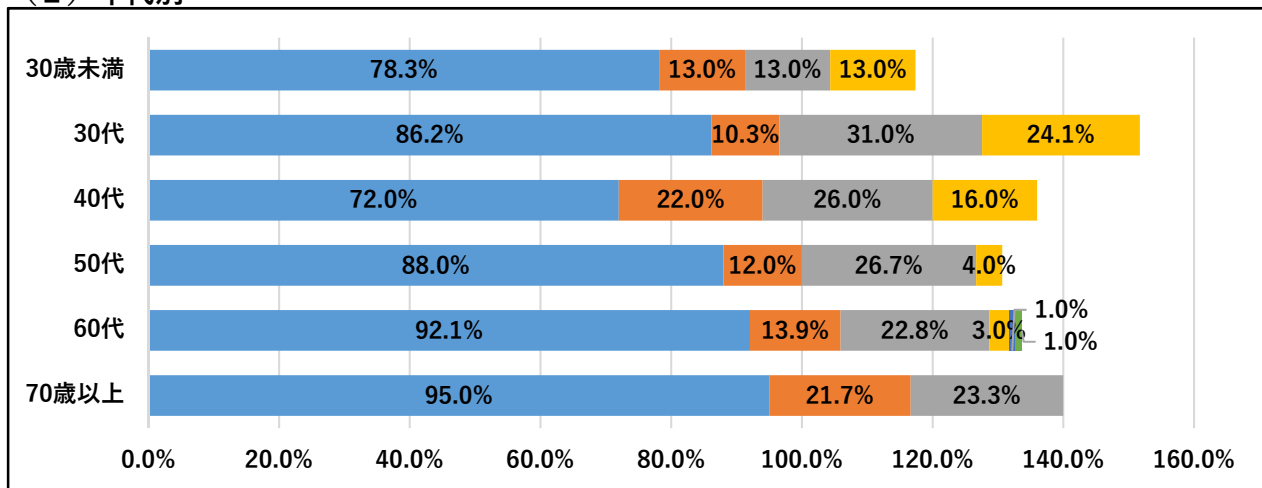
50歳代以上で70%を超えているのは、医療機関を利用する機会が多くなることが理由の一つと考えられます。また、女性(72.3%)の方が男性(66.3%)と比較し、割合が高くなっています。

◆知っている相談窓口（複数選択可）（n=339）

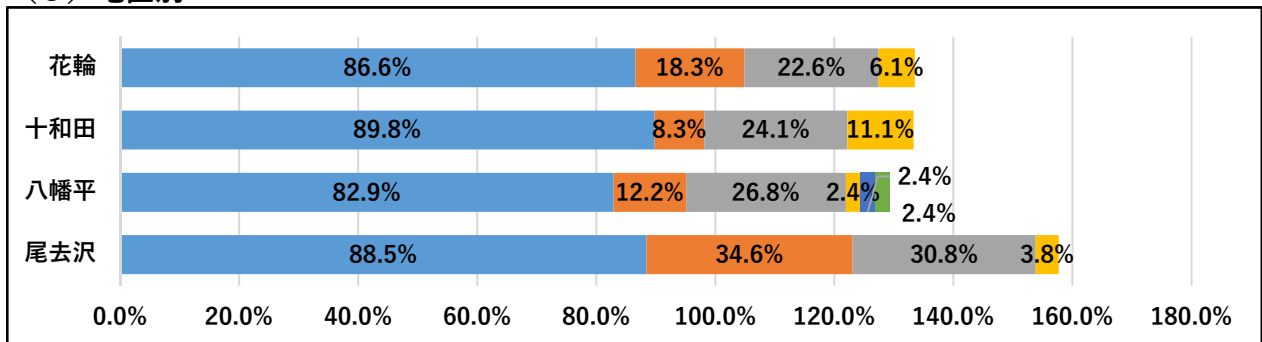
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別

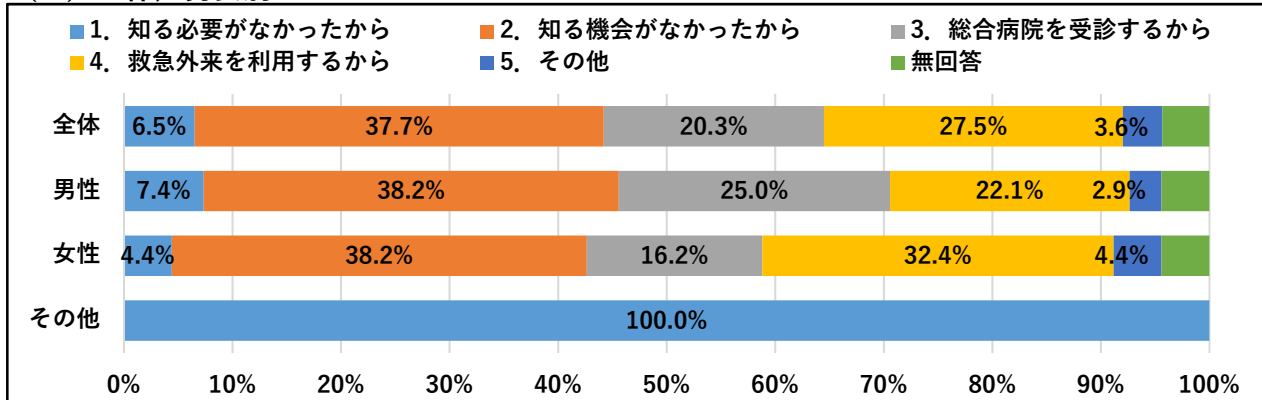


（４）分析結果

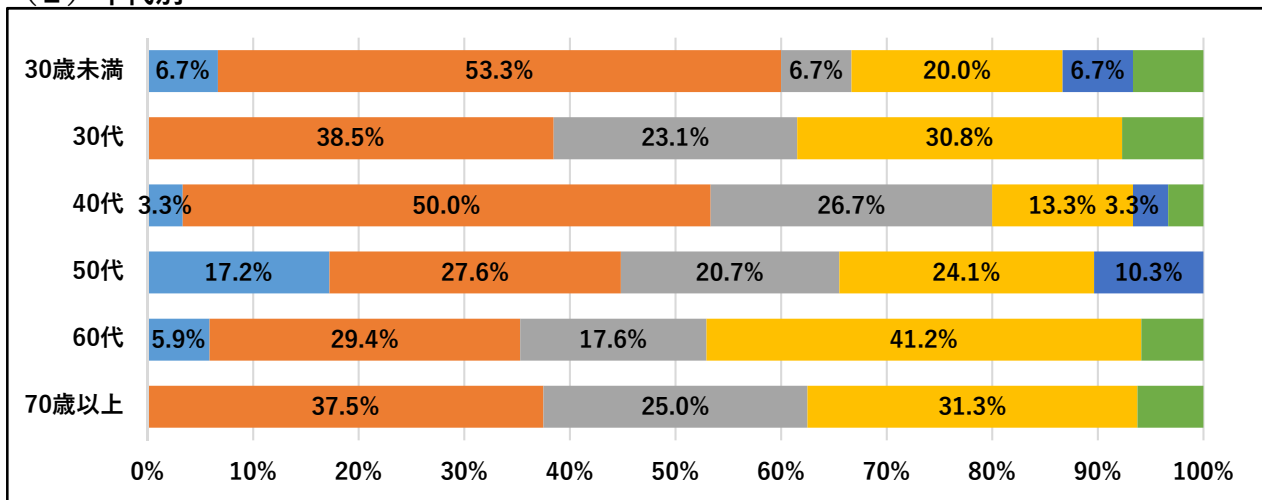
相談窓口を知っている人は、そのうち 87.2%の人がかかりつけ医を相談窓口に挙げています。
一方、市が平成 29 年度から実施している「テレホン病院 24」を相談窓口として挙げる人は 24.5%にとどまっており、特に 30 歳未満が 13.0%と最も認知度が低くなっています。

設問 12② （設問①で 2 と回答した方のみ）相談窓口を知らなかった理由は何ですか。（n=138）

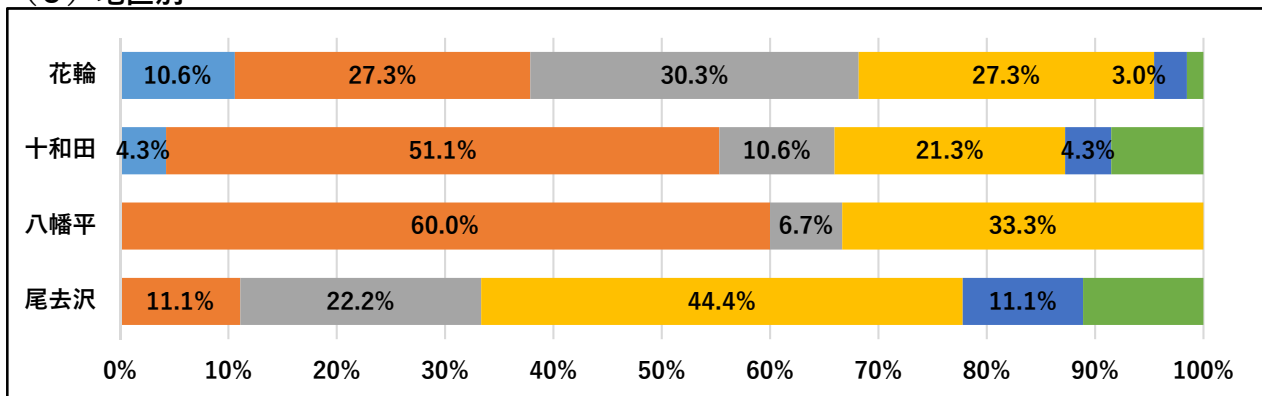
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



（４）分析結果

相談窓口を知らなかった理由として最も多かったのは、「知る機会がなかったから」で、37.7%となっています。次いで「救急外来を利用するから」が 27.5%、「総合病院を受診するから」が 20.3%となっています。

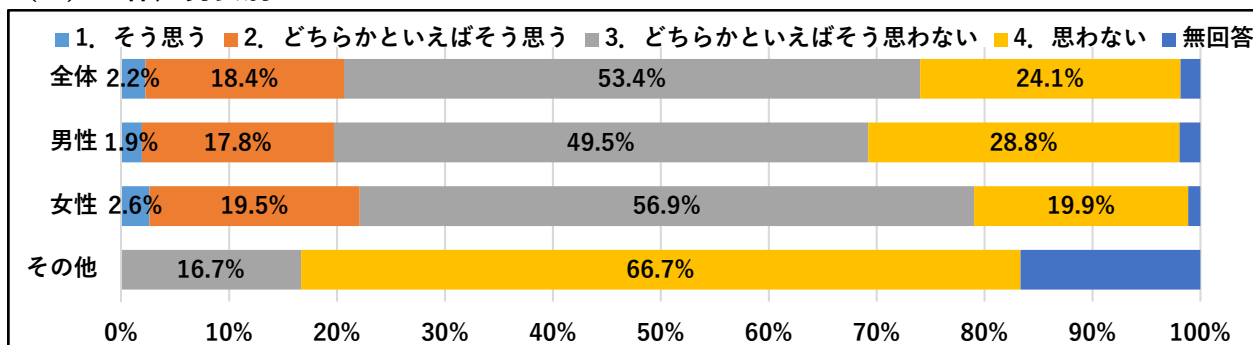
「知る機会がなかったから」を挙げた人は、30 歳未満と 40 歳代で 50%以上となっており、比較的若い世代への周知方法を考える必要があります。

「総合病院を受診するから」を挙げた人は男性に多く、年代別では 40 歳代が 26.7%と最も多くなっています。「救急外来を利用するから」は女性が多く、年代別では 60 歳代が 41.2%で最も多くなっています。

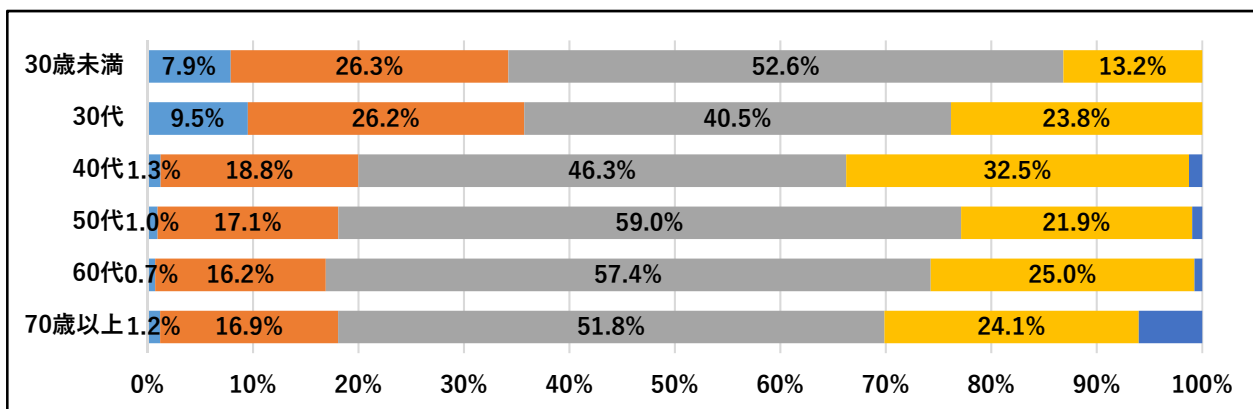
12 まちの満足度について

設問 13① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

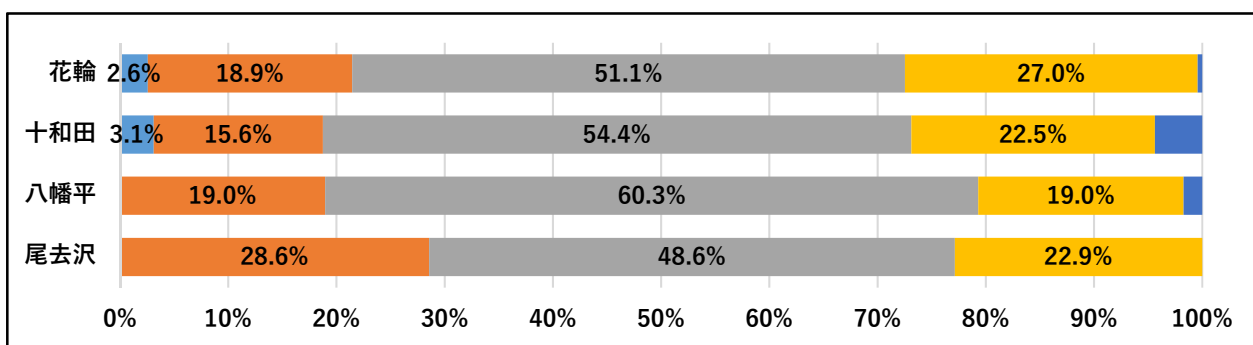
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



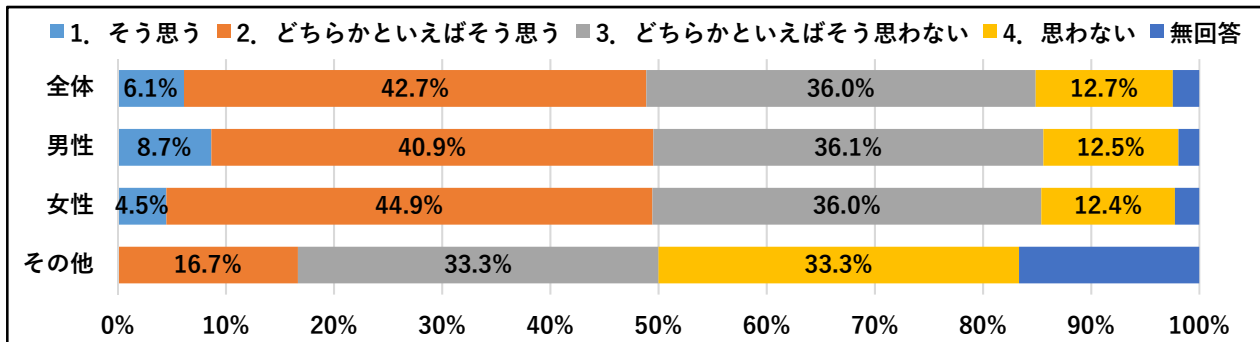
（４）分析結果

「市の産業は元気で活力があると思う」と回答した割合は 20.6% で、前年度から 3.9 ポイント増加し、令和元年度の基準値（19.5%）を 1.1 ポイント上回りました。

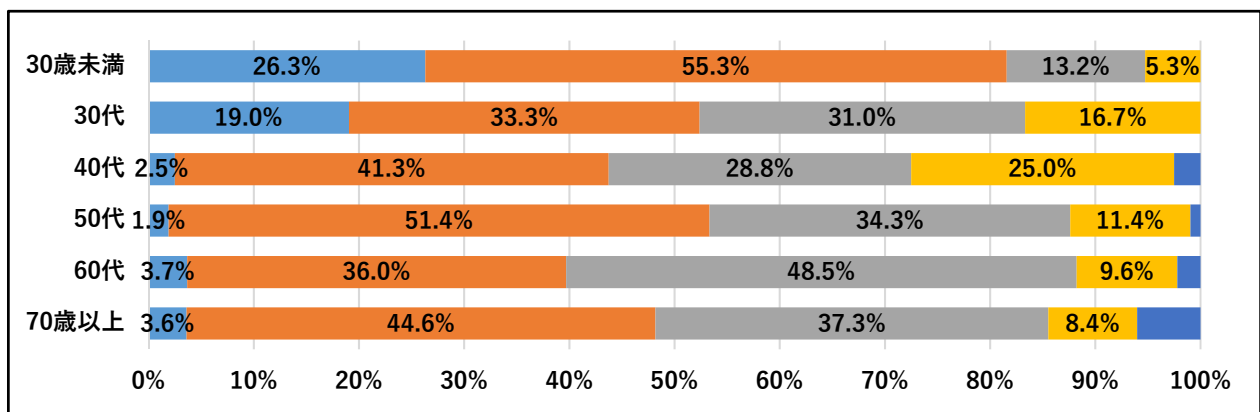
年代別では、30 歳未満では 9.9 ポイント、30 歳代では 18.6 ポイントと、前年度から大きく増加し、若年層を中心に改善傾向が見られました。

設問 13② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

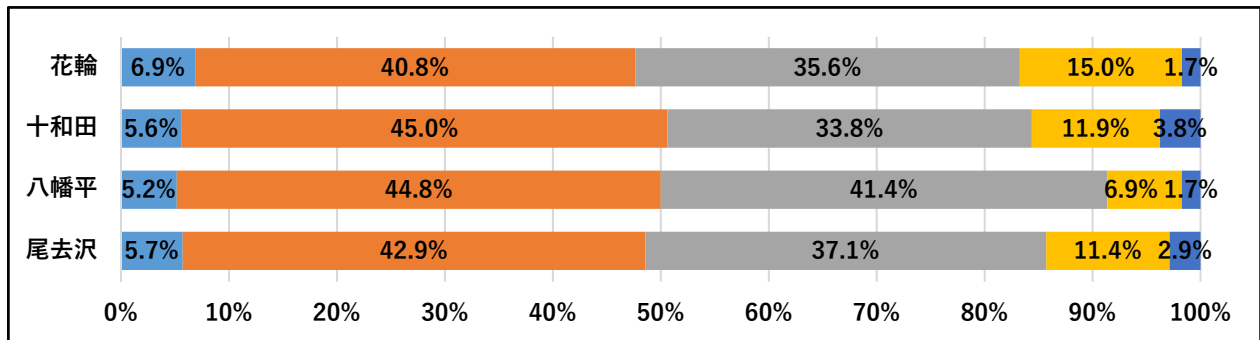
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



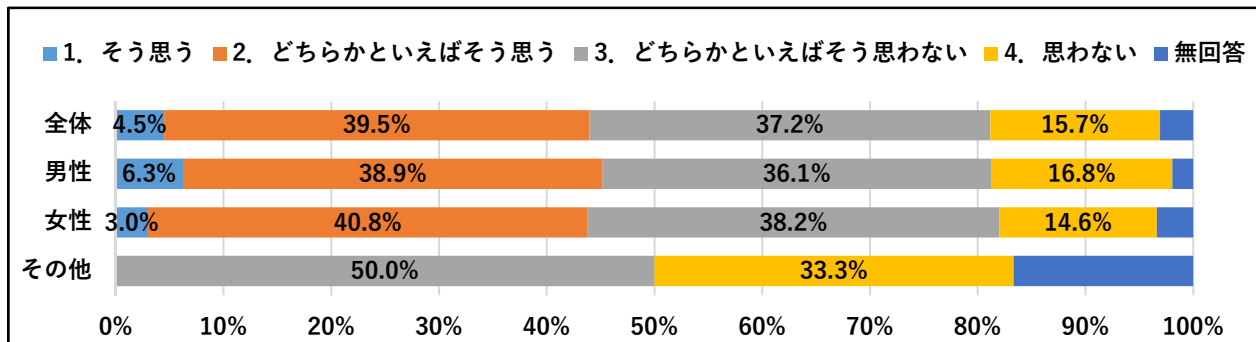
(4) 分析結果

「心身ともに健康な暮らしができるまちだと思う」割合は48.8%となり、前年度(51.5%)より2.7ポイント減少しました。令和元年度の基準値(58.7%)と比較すると9.9ポイント低い水準にあります。

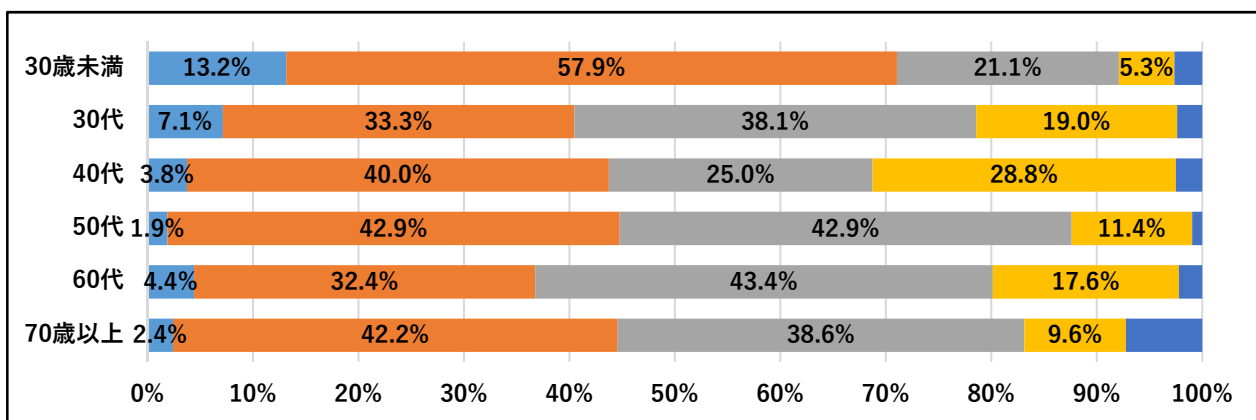
全体的に満足度が低下していますが、年代別では30歳未満が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が8割を超えており、突出して満足度が高い傾向となっています。

設問 13③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちであると思いますか。

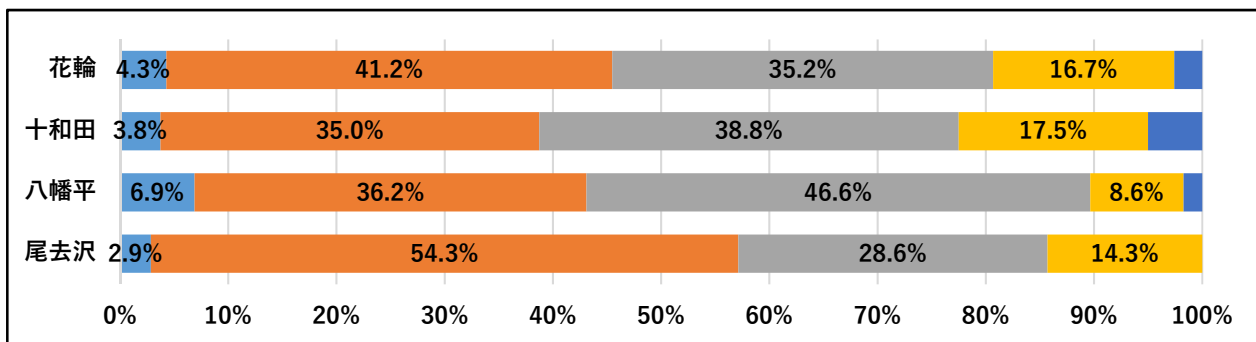
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

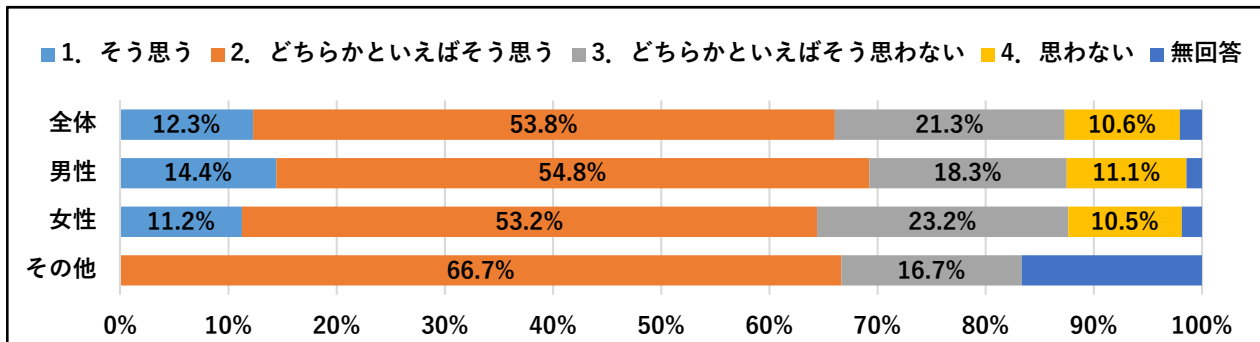
「生活環境が快適なまちであると思う」割合は44.0%となり、前年度（41.8%）より2.2ポイント増加しましたが、令和元年度基準値（49.7%）より5.7ポイント減少しました。

年代別では、前年度と比較して70歳以上を除くすべての年代で増加しており、特に、30歳未満が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が7割を超え、突出して満足度が高い傾向となっています。

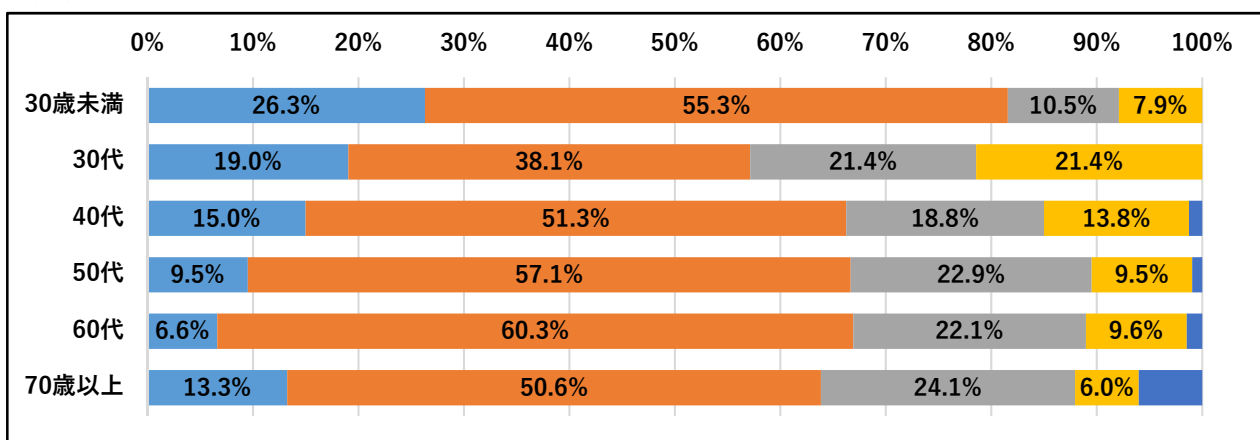
地区別では、前年度同様に尾去沢が57.2%とほかの地区と比較して高くなっています。

設問 13④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

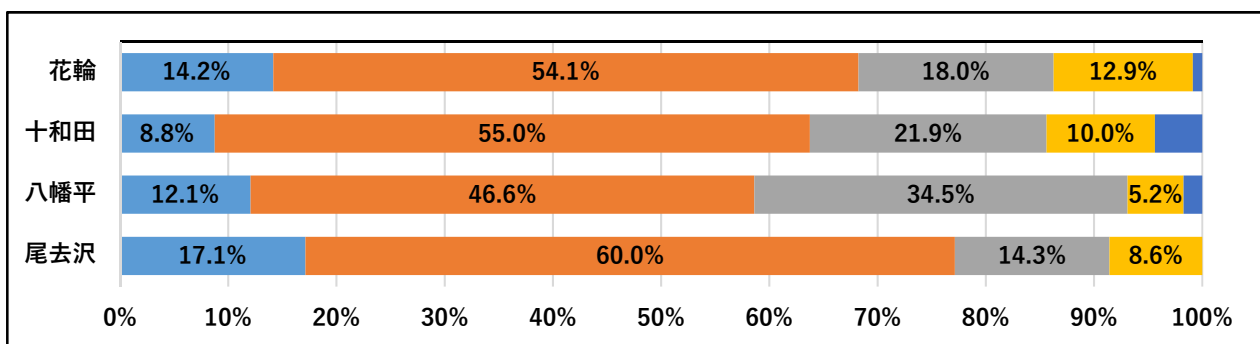
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

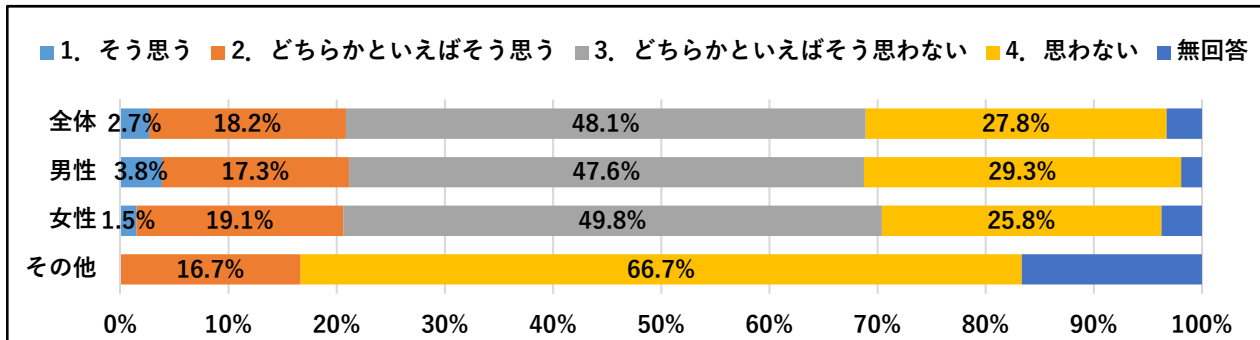
「安全で安心して暮らせるまちだと思う」割合は66.1%となり、前年度（69.1%）より3.0ポイント、令和元年度基準値（77.6%）より11.5ポイント減少しました。

年代別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が30歳未満で81.6%と、前年度と比較して2.8ポイント増加しています。

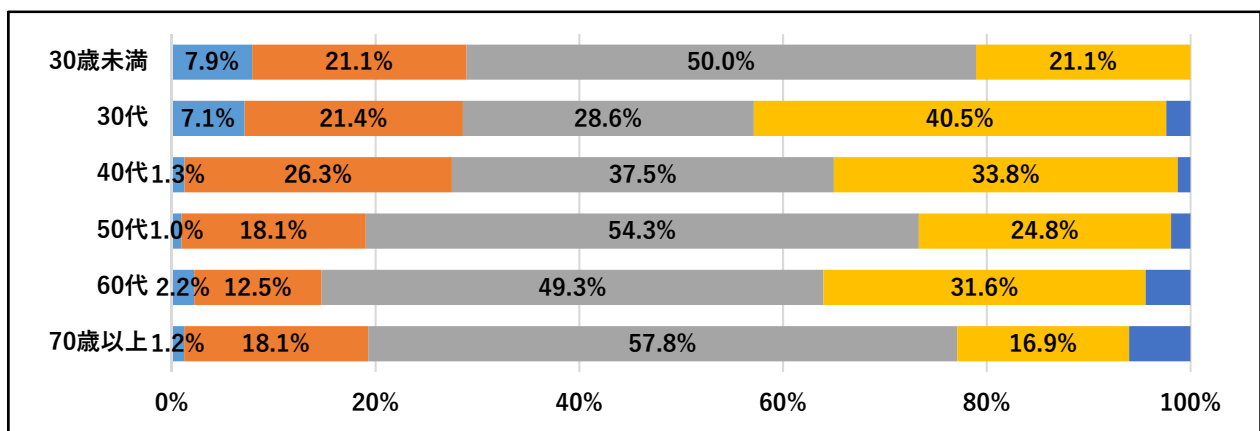
地区別では、前年度同様に尾去沢が77.1%とほかの地区と比較して高くなっています。

設問 13⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

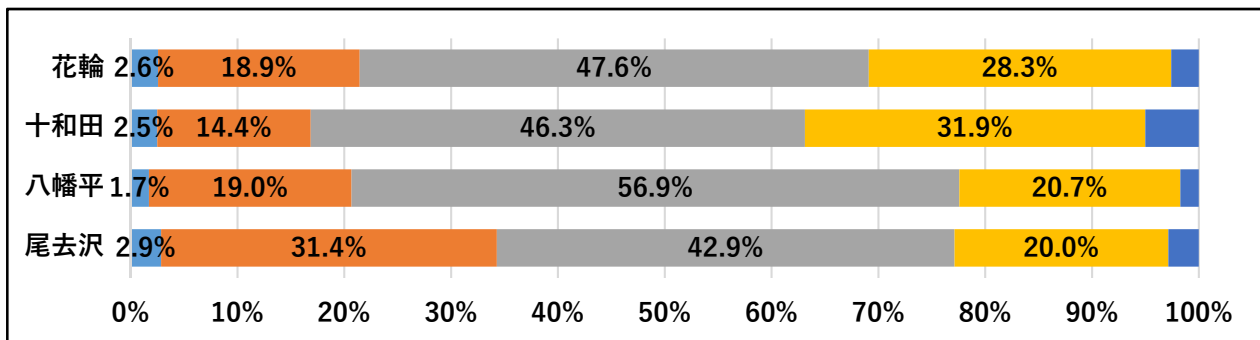
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

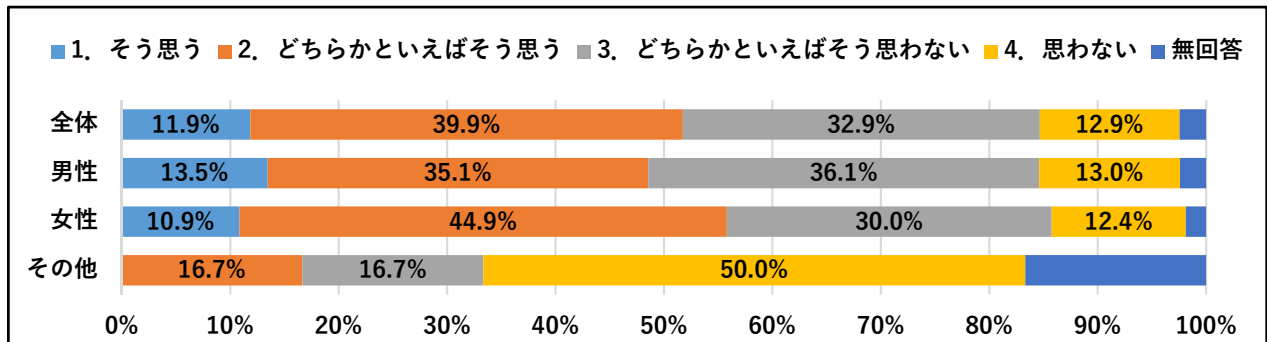
「市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う」割合は 20.9%となり、前年度（16.2%）より 4.7 ポイント増加しましたが、令和元年度基準値（23.4%）より 2.5 ポイント減少しました。

年代別では、30 歳未満から 40 歳代までがいずれも 3 割に近づく伸びとなり前年度と比較して増加しましたが、50 歳代以上ではいずれも 2 割を下回りました。

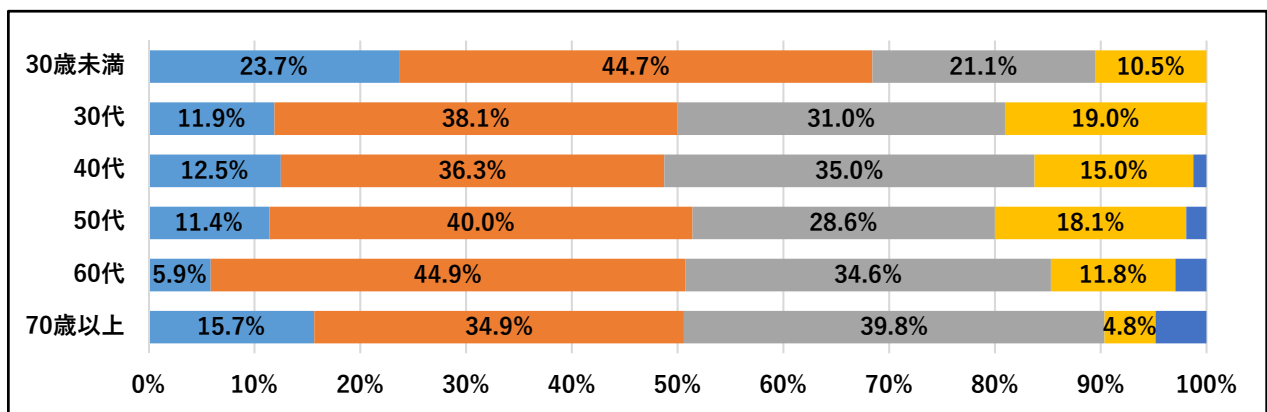
地区別では、尾去沢が 34.3%とほかの地区と比較して高くなっています。

設問 13⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

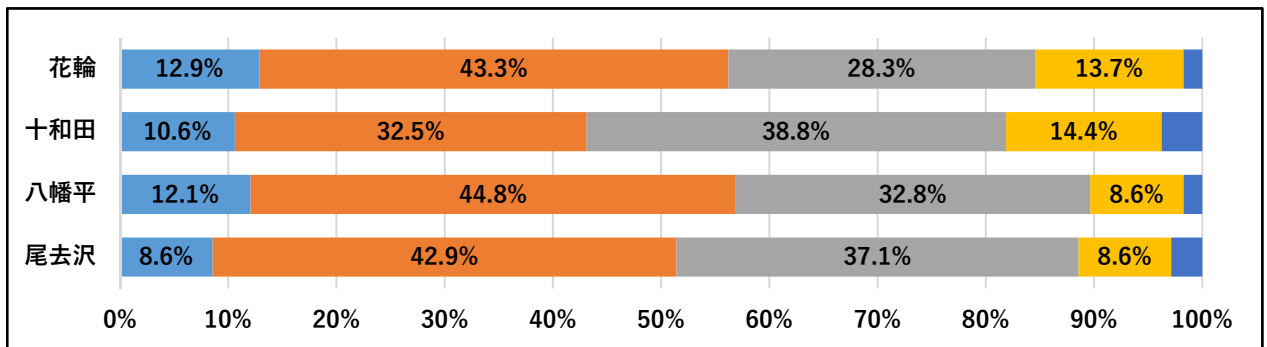
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

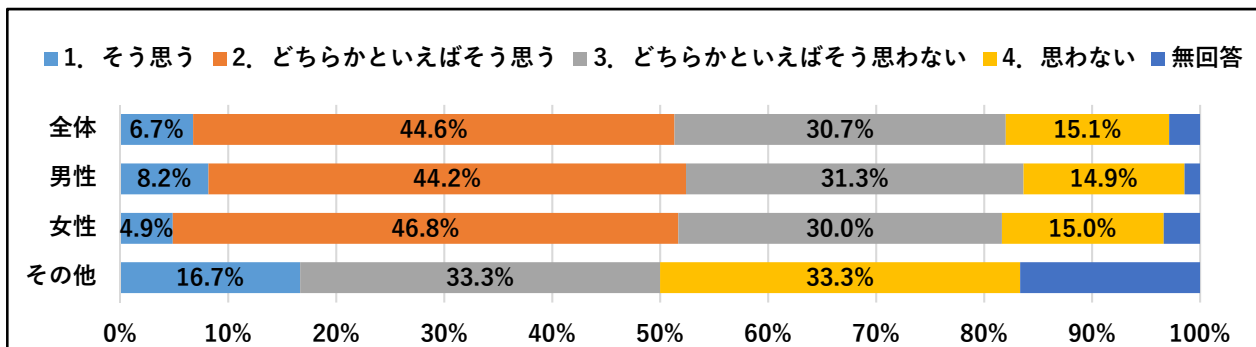
「文化遺産が豊富で誇れるまちであると思う」割合は51.8%となり、前年度(52.4%)から0.6ポイント減少しましたが、令和元年度基準値(51.3%)より0.5ポイント増加となりました。

年代別では、30歳未満が68.4%と、ほかの年代と比較して高くなっています。

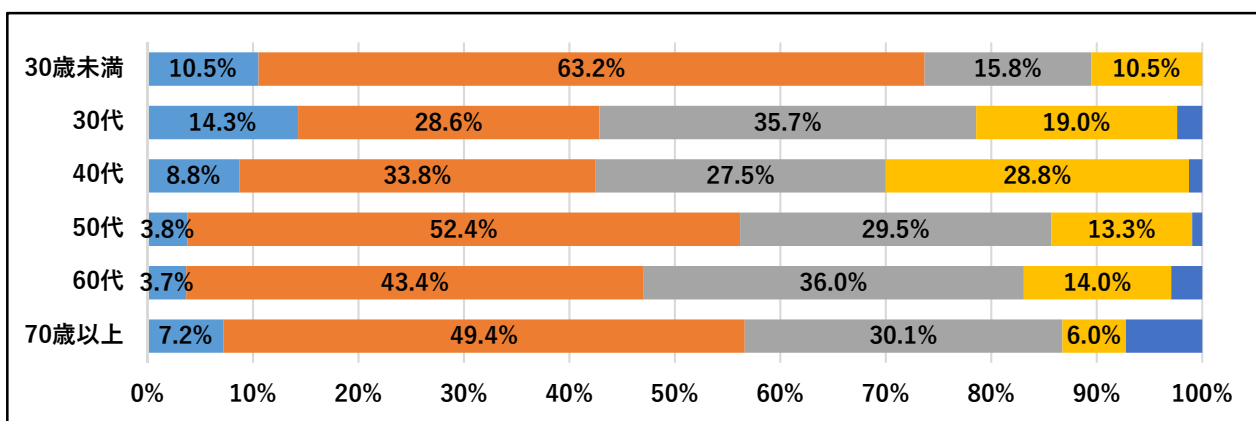
地区別では、十和田以外で5割を超えており、特に花輪地区と尾去沢地区が高くなっています。

設問 13⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

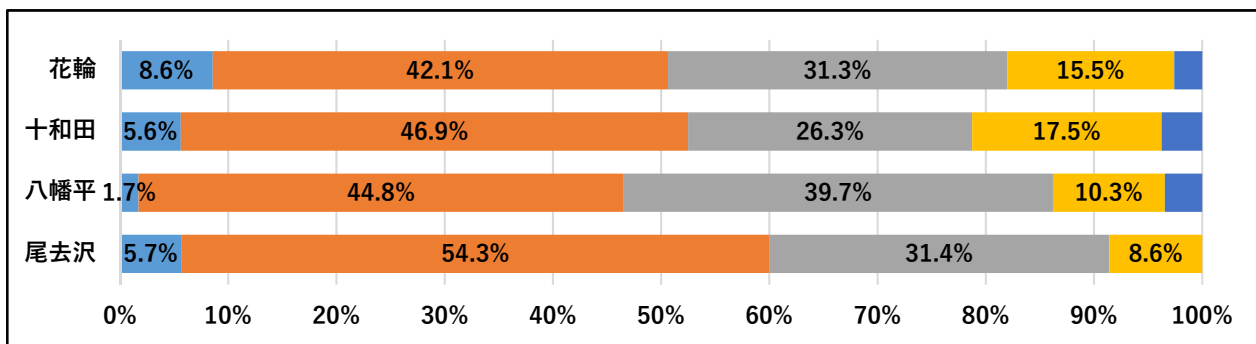
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「自分に必要な行政サービスが受けられていると思う」割合は 51.3%となり、前年度（51.5%）より 0.2 ポイント減少し、令和元年度基準値（59.8%）より 8.5 ポイント減少しました。

年代別では、特に 30 歳未満は 73.7%となっており、前年度と比較して 22.2 ポイント増加しています。

地区別では、尾去沢が 60.0%となっており、他の地区より高くなっています。

13 自由意見

設問 14 で記述のあった自由意見では、93 人から、市政に関する 147 件の意見や感想を記載いただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員・市長・市議会議員に関すること、市の窓口・行政手続きに関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

(1) 施策別

基本戦略 1 活力を生む地域産業・生業を支える

取組方針 1 地域産業の成長への支援

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	40 代	商店街や飲食店の活性化を計ってほしい。
花輪	女性	70 歳以上	農家として毎日働いておりますが、周辺の田畑を見ると年々作れずに空地、又はやぶ地になってきております。農家に携わる方の多くは高齢者です。あと数年でどれだけの農地が変わって行くのだろうと思うことがあります。周辺の環境はさらに荒れて行くのではと心配になります。

取組方針 2 意欲のある就労・就農への支援

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	新規就農を目指して頑張っている 20 代です。鹿角市の特産物を後世に残し、鹿角市の魅力を発信して行きたいと思っています。また、今後は今まで以上に急速に耕作放棄地が増え、後からでは手が付けられない状況になると思います。少しでも特産物を作れる農業者を増やし、地域の大切な産業として衰退して行かないよう SNS 等で鹿角市の農業について発信していきたいと思っていますので市の方からもお力を貸して頂ければ幸いです。

取組方針 3 市内外からの産業の担い手の確保

地区	性別	年代	内容
八幡平	男性	60 代	外人を呼ばないこと。後に争いが起きる。

基本戦略 2 元気で健やかな暮らしを支える

取組方針 5 適切な医療を受けられる体制整備

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 代	医療機関が充実していない。
花輪	男性	40 代	市民の暮らしを守るため、医療機関の全体的な品質改善を最優先課題として取り組んでいただきたいです。そのためには、医療現場の教育体制の見直し、適正な賃金引き上げ、必要に応じた外部専門機関からの支援も必要な段階だと考えます。
八幡平	女性	40 代	医療進学は、看護、医師には手厚いけど理学療法士、作業療法士もお金がかかるので、支援してもらいたいです。
尾去沢	男性	40 代	医療を充実させてほしい。脳外科や産婦人科など。
花輪	女性	50 代	かかりつけ医は個人病院なので、総合病院が機能しているとは思わない。鹿角の将来の医療はとても不安である。(将来でなく、今現在も不安)
花輪	女性	50 代	地震に強い土地なので安心感はあるが、病院が無いので、ここを離れるかもしれない。

十和田	女性	50代	病院をなんとかしてほしい。看護師の態度も直してもらいたい。
十和田	女性	50代	今もこれからも、医療の事が心配。安心して、暮らしたい。
十和田	女性	50代	人口減、医療機関の不足等で、将来（老後）も鹿角に住み続けることができるのか心配
十和田	その他	50代	厚生病院より大館市立病院へ行く人が多い。出産する病院が大館と言うのは変。
八幡平	女性	50代	厚生病院という大きな病院があるのに肝心の先生がいないとか、出産の受け入れが出来ないというのが少し気になります。私にも娘がいますが、里帰り出産をするにもなかなか難しい？のかと不安もあります。若い人が住みやすい環境はそんなところから考えた方がよいのではと思います。実際、人手がないとかいろいろな問題もあるかとは思いますが。
八幡平	女性	50代	私には余命わずかの母がいます。地元病院には婦人科がなく弘大や市立病院にと経済的・精神的・ふたんもかなり大きいです。娘も弘大や医療センターで世話になりながら子供を出産しました。鹿角厚生病院は医師の前に人間性を問われる様な医師がいます。初めての受診の時"がんだから治る訳ないだろ！！"とはっきり言われました。私も母もぼう然としてしまいました。もうこの病院には行きたくないと思いました。安心して子供を産み、育てる。安心して最期を迎えられる様な病院がほしいです。

取組方針 6 結婚の願望が叶うための応援

地区	性別	年代	内容
十和田	その他	50代	（結婚支援）出会いの場所がわからない。

取組方針 7 地域ぐるみの子育て支援の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	子供が遊べる場所がない。
十和田	女性	40代	自宅から学校まで距離があり徒歩で行けないため下校後は児童クラブを利用しています。ただ高学年になり部活などで月3日くらいしか利用していません。留守番できる歳ですが帰る手段がなく利用せざるをえない日があります。料金と日数の割が合いません。スクールバスの利用範囲を見直したり、利用料金を前のように日数計算してもらえると助かります。

取組方針 8 高齢者のいきいきとした暮らしの支援

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	高齢化が進んでいる鹿角市の働きとして、あくまでもわたし個人が感じたことですが、鹿角市のケアマネの役割に不満を抱いています。わたしはショートステイで働いていますが、小坂町の利用者さんは半年も経たずに次の入所先が決まっていきます。それはケアマネさんの積極的な活動によっての事だと思います。日々、利用者さんは状況が変わっていきます。その状態を一度も見に来ないケアマネさんもあります。もっと横の連携をしっかりと、利用者さんにとってどういう環境で過ごすことがベストなのかというのをもっと積極的に考えていくべきだと思っています。高齢化は待ってられません。

取組方針 9 障がいや国籍にかかわらず誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり

地区	性別	年代	内容
尾去沢	女性	40代	一般企業の障害者雇用を増やしてほしい。ただ雇用するだけではなく、会社側にしっかりとバックアップ体制を整えてほしい。
花輪	女性	50代	田舎らしさの魅力で釣れるのは年寄りだけ。そもそも他からの人を受け入れない気質の鹿角人なのだから、意識を変えないと無理。

十和田	男性	50 代	高校生の職場体験があるように、障がい者の職場体験を作ってほしいです。私は障がい者就労継続支援B型事業所を利用しています。そこでの就労訓練を受けるうちに、一般就労（アルバイトも含む）を目指しています。その為にも、市役所での職場体験があったらいいと思っています。
十和田	その他	50 代	（弱者支援）声を上げても届かないから上げられない体制あるのでは。

基本戦略 3 快適で安らぎのある暮らしを守る

取組方針 10 衛生的で良好な生活環境の確保

地区	性別	年代	内容
十和田	その他	50 代	水道水を引けない場所なので引けないと言われた。町中から少しはずれているからダメと言われた。

取組方針 11 安全・安心な住まいづくりの推進

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	50 代	解体費用を補助してほしい。（雪の重さでつぶされた時とか・・・）
花輪	男性	70 歳以上	不動産について、一戸建てについて空き家にならないように建物を建てた人が責任を持って解体する。市の税金ですることではないと思う。

取組方針 12 地域に合った公共交通手段の確保

地区	性別	年代	内容
尾去沢	女性	40 代	鹿角花輪駅の近くに有料でいいから駐車場を作してほしい。できればコインパーキング。バスや汽車を使って遠出するときに、長時間安心して車を停められるところを作してほしい。屋根があるとなお理想的。花輪の中心部、特に駅前に駐車場があれば、花輪線の乗車率も、町中心部の飲食店の利用率も上がると思います。
十和田	その他	50 代	・土日バスの運行がない。変。 ・高齢者の買い物に対してもあまり優しいと思えない。買物に出たいのに行けない。（車が乗れない・免許証返納のため）
花輪	女性	70 歳以上	今はまだ車の運転が可能で日常生活に不便を感じずる事はほとんどありませんが、これが出来なくなったらどうなるのか？生活が様変わりする事への不安があります。高齢者の多い地域、誰もが感ずる事ではと思っています。

取組方針 13 ごみの適正処理と資源リサイクルの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	60 代	リチウムイオン電池の廃棄について、市が推し進めていることについて知りたいと思います。

取組方針 14 緑と水の映えるまちの環境の保護

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 代	熊が怖い。
花輪	男性	30 代	熊対策は急務。安心して生きられない町では子育ても出来ない。
十和田	男性	30 代	熊の個体数を減らして下さい。
花輪	男性	40 代	クマ対策は継続的に必要です。
花輪	女性	40 代	熊対策をもっと強化してほしい。
十和田	男性	40 代	熊被害のリスク低減の為、空き家の管理や木の実がなる樹木等の管理を検討してほしい。
十和田	女性	70 歳以上	熊がこわくて作業するのも不安。近所の空き家に住みついた害獣により作物も植えられないもの多い。

基本戦略4 暮らしの安全・安心を高める

取組方針15 災害への対応力のある地域づくり

地区	性別	年代	内容
八幡平	男性	30代	大雪による交通障害により昨年は家前で長い渋滞が発生した。一早い情報の発信や除排雪費増額の検討をしていただきたい。
十和田	その他	50代	(災害対応) 地図の配付だけでOKと思うのは変。説明会とかないの？
花輪	男性	60代	消防団員の減少、団員確保が難しくなっている現状、地域自主防災組織、自治会へ役割を振る事も必要となってくるのでは。

取組方針17 災害に強いまちの基盤整備の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	除雪の強化。
花輪	男性	40代	除雪以外誇れるものがないのが現状。
十和田	女性	50代	除雪も、去年のように大雪になった時、市長が雪かきしてるのをTVでアピールしてる場合じゃないと思う。降るかも知れない。で対応をしてもらいたい。
十和田	女性	50代	除雪は本当にありがたいのですが家の前がたくさんの雪が残り、自分たちで雪かきするのがとても大変でした。入口をふさがれて、岩のような大きい雪が家の入口に残されできれば雪をもって行ってほしいです。
花輪	女性	60代	除雪が雑であった。
尾去沢	女性	70歳以上	鹿角市に住んで一番ほこれる事は「冬の除雪作業」がとてもきれいで…道路などきちんと整えてくれていること…！鹿角市に住んで一番誇れるたったひとつの自慢出来ること！！ですー。

取組方針18 防犯や交通安全の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40代	(※市役所のお仕事ではないのですが…) 花輪はお祭りが7月8月盛んに行われておりますが、お祭り中や祭りの次の日の飲酒運転、酒気帯び運転が多く見受けられます。通学時間帯とも重なるので一斉取締りをしてほしいです。

基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる

取組方針19 子どもから青少年までの生きる力の育成

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40代	建物、設備がとても古い学校がいくつかあり、生徒職員が日々苦しい思いをしています。くだらない企業への補助金やまったく仕事しない市議会議員への給料なんかより、学校にお金を使ってほしいです。
花輪	女性	40代	部活動の地域移行について。大人の事情で、子どもたちがやりたいことに挑戦させてあげられないのは残念だと感じる。ただ、場所の確保、人材の確保、モノの確保等、課題は山積み。自分自身、仕事と家庭を守ることに日々精一杯で、地域の大人として、地域の子どもたちを育てるために一歩踏み出せない自分が申し訳なく感じている。しっかりと待遇(報酬、保険、一人に任せないなど)をサポートする仕組みを整え、お願いできそうな方を見つけてほしい。

十和田	女性	40代	小学校、中学校の部活動をスポ少活動として運営しているのについて。こどもの数も少なくなっており、複数の学校の児童が集まって1つのチームとして活動しています。活動場所は、それぞれの学校の地域で行えるように、日ごとに場所を変えて活動していますが、新規入部を考えている保護者の方よりこども自身は入部を希望しているものの、保護者の送迎が難しいため入部できないと言われたことがあります。部活は夕方17時や18時頃より開始となりますが、定時で終わることが難しい仕事をしている保護者もあり、部活が始まる時間には間に合わなくても終わる時間に合わせて迎えに行くことはできません。学校外での活動の際にスクールバスのような乗り合いで移動できたり、タクシーのこども割のような送迎を助けてくれる手だてがあると、こどもが自由に選択してスポーツに親しむことができるのではないのでしょうか。子育て支援として検討していただきたいです。
花輪	女性	60代	小中高、子供達が安心して通学できるように、熊対策よろしくおねがいします。町中も安心して歩けないのは困ります。

取組方 20 地域の特徴ある教育活動の実施

地区	性別	年代	内容
十和田	その他	40代	中高生、若者に寄り添い教育できる人材が鹿角市には少ないと思います。経験の少ない子供からしたら大人の発言の影響力は大きいものです。経験を積むことは大事だと思いますが、質の高い経験が必要だと思います。質の低い教育は経験として積み上がるところかマイナスになる可能性もあることを知っていただきたいです。
花輪	男性	60代	若者の意見を聞いて色々やっているようだが、その有効性はいかがなものか。やってみないと分からない所があるけども、大学の協定で来てもらっているけど、費用対効果はあるのか。中高生の率直な意見の方がまだマシな気がする。

取組方 21 自ら学び、行動する社会人の育成

地区	性別	年代	内容
十和田	その他	50代	・コンサートとか観劇などが少なすぎる。もう少し呼べないの？ ・（文化芸術）同じような物ばかりで飽きが来た。

経営戦略 1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

取組方針 22 人や地域の活力を生む交流の促進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	Iターン、Uターンの補助金がそもそも、ほとんどの人が該当しない。実家を継ぐのに帰ってきた人に対して、補助金が対象外なものがある。
十和田	女性	30代	Uターンと移住を含む世帯だが、支援が少なかった。
十和田	その他	50代	あまり移住者にやさしい気がしない。

取組方針 24 稼げる観光振興の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	30代	盛岡から観光客を呼ぶ企画をしてるのはいい事だと思っています。岩手、青森から近いことがいい所だと思うので。もっとどんどん積極的に鹿角の情報を発信していった欲しいと思う。例えばドラゴンアイは岩手のサービスエリアでドラゴンアイのお菓子とか商品がたくさんあるが、鹿角はグッズとして販売があまりなく、アピールが足りないと思う。特に大湯のどばんくんは人気が出ると思うのに、グッズが少ないので残念。可愛いので持ち歩けるグッズがもっとあれば、宣伝になると思う。たんぼ小町ちゃんも可愛いのに、市外の知名度が低いように思う。もっと色んなグッズにプリントしてデザインしたものを販売できたらいいと思う。

花輪	男性	40代	世界遺産や温泉など、この市にしかないもののPRが下手。
花輪	男性	40代	青森県のように原子力やリング、ねぶたなど連想できるまちにしたほうが市民もプライドが出てくる。
花輪	女性	60代	宿泊施設がもう少しリーズナブルな価格で、数が有れば観光客の花輪での足止めにもなれば良いですね。
無回答	無回答	無回答	人口減少や少子高齢化が急激に進んでいる中で、難しい課題ではあるが活性化していきたいものである。テレビ見てると道の駅とか充実して賑わっているのを見かける。鹿角も温泉とか食べ物美味しいし良いとこなので、もっと利便性を良くして、ちょっと寄ってみたいと思わせるような取り組みができれば良いのになと思う。おじいちゃん、おばあちゃんのを借りるのもあり。郷土料理とか。

取組方針 25 スポーツの力でまちの魅力を向上

地区	性別	年代	内容
八幡平	男性	30代	スキーと駅伝の町なんかでは、もうないと思う。復権して欲しい

取組方針 26 次世代産業の創出への取組

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30歳未満	一度、安価でファーストフードなど気軽に立ち寄れる飲食店を呼んで若者を呼び込めるか試してほしい。
尾去沢	男性	30歳未満	空き地を活用して企業の誘致（働く場所）、市外、県外から就職（定住）を考えてもらう為の住居の新設、確保で人口減少対策。鹿角市は意外と賃貸の家賃高いので家賃補助も手厚めにしないと若い人は住みづらいと思う。
花輪	男性	30代	景観自然保護のための風力発電反対等も利益が出てリターンが見込めるなら進めるべき。年寄りの景観満足度は何も生み出さない。
花輪	男性	50代	鹿角市は職種の選択肢が人によってはなさすぎて結局、隣の市や場合によっては他県まで検討しなければならない。どうしても地元から出られない環境下では、妥協して就職して合わないからまた転職することで心身を病む人もいると思う。パートタイムも長時間働きたいが短時間勤務募集がほとんど。商業施設、レジャー施設等今までにない雇用を生み出す企業を誘致して現状維持を変えてほしい。もしくは地元に根付いてる企業などに新しい雇用を生み出す事業展開を実現してなんとか市の活性化につながることを期待します。
花輪	女性	50代	若者が行きやすい大型店も学校もない。企業誘致、個人事業の支援をして人口増やして、大型店受け入れしないと、人は来ない。
尾去沢	女性	70歳以上	カーボンニュートラルとは名ばかりの自然破壊？いっそ、相続した山林に風力でも太陽光パネルでも行政でやってくれるならと思います。

経営戦略 2 「世界遺産のまち」をつくる

取組方針 27 文化財の保存への取組

地区	性別	年代	内容
十和田	その他	50代	町の祭りの時は学校を休校にして学生（小中）を先にし人を集めるとかしないと文化芸能は育たないと考える。祭りの宣伝力が足りない。祭り、伝統芸能をみんなが参加できる施設がない。（十和田高校は利用で来ないのかな？）観見は出来るが参加に対し拒否されがちな祭が多い。踊りなどは参加して下さいの声がない。おもしろくない。

取組方針 28 ヘリテージ・ツーリズム（文化遺産の観光資源としての活用）の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	50 代	大湯ストーンサークルをもっと地域住民がいつでも立ち寄れるようなカフェやお店があったらよいと思う。観光だけとかイベントの時だけ人が集まり、普段は活用されていない気がします。散歩コースがあって森林浴とか出来るともっと活性化にもなるのかなと安易な考え方ですが。
尾去沢	男性	60 代	鹿角市の魅力を発信する力が足りていないと感じる。世界遺産やユネスコ文化遺産の案内、周辺整備、滝・史跡標柱の不足や損壊が目立ちます。

経営戦略 3 まちの経営力を高める

取組方針 29 効率的な行財政運営の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30 代	市役所を建て替えて、まずは市職員が働きやすくして下さい。
十和田	男性	30 代	普段生活している中で、インフラストラクチャー（infrastructure）の老朽化がとても気になるようになりました。
十和田	男性	30 代	無駄な土地の再利用。
花輪	男性	40 代	空港の補助も結果を郵便で送付せず、選択にすればコスト減る。
花輪	女性	40 代	花輪小学校の立地について。地域の人にとっては、愛着のある場所だが、クマ、豪雪、災害時を考えると限界ではないか。駐車スペースに限りがあり、急な坂道は道幅が狭く、車が簡単にすれ違えない。比較的建物は新しくもったいないが、学校再編を考えながら移転を検討すべき。
十和田	その他	50 代	十和田高校の建物を利用し毛馬内盆おどりのパネル、ビデオなど展示スペースを作り、観てもらっては。雨の日などは、体育館などで踊るとか、休憩スペース、おどりや衣服なども展示し着付けしても良いのかなと思います。夏休みなどは、学生（小中高）に開放し体験学習などに使っても良いのでは。建物を活用して行く方向へと思います。ホットプレートなどを使い調理体験もあり。2～3階は、非常時に使っても。イベント会場映画鑑賞コンサート観劇なども。グラウンドは一般の人のスポーツスペースと考えては（フットサルサッカー）

取組方針 30 未来技術の導入を進めます

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	50 代	ネットで、どんどん出来る物が出てくる事は大変助かります。
八幡平	女性	50 代	各種手続き等、もっと分かりやすく情報発信して欲しい。
花輪	男性	60 代	市の情報を知るため、LINE を入れているが、広報と同じ内容がほとんどです。大館市のLINE も入れているのですが、消防情報がその都度入り、わかりやすい。

取組方針 32 コンパクトなまちづくりの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	50 代	基本的にコンパクトシティ構想には賛成です。国の支援を受けつつ、進めて欲しいです。ガソリン無くてもある程度生活可能な環境が理想。

(2) 政策全般に関すること

地区	性別	年代	内容
八幡平	男性	30 歳未満	鹿角で頑張る人をしっかりバックアップする市であってほしいと思います。
花輪	男性	30 代	年寄りや障害者等これから死ぬだけの人間への投資は未来につながらない。子供や若者を支援していかなければ未来はない。現状若者があえて住む理由が全くない町。出ていって当然。
花輪	女性	30 代	いくら若者向けの政策をしたところで、閉鎖的・排他的な地域の人々の意識が変わらないことには定住や人口増には繋がらないと思う。
花輪	女性	30 代	もっと人が住みやすい街にしてほしい。
花輪	男性	40 代	地域の強みを活かしながらも、一部の事業者や文化団体だけに偏らず、若者や地域の担い手が定住しやすい、開かれた市政を求めます。あわせて、住民一人ひとりに異なる個性や背景があることを理解し、公平に向き合える行政・教育現場づくりを進めていただきたいです。
花輪	女性	40 代	ここ数年、何をとっても後手の対応でどの地域よりも遅れや孤立を感じてる。他所の真似事よりもオリジナリティのあるまちづくりはできないか。
十和田	男性	40 代	少子化や仕事、安全と便利さ。色々課題がありますが、先ず一つとして女性が離れていけない行政や街作りが大事だと思っています。
十和田	その他	40 代	幅広い、ひとつひとつの改善の積み重ねが多く底上げに繋がると思います。直ぐに改善できる事ではないので、バランス良く水準の高い活動をしていただきたいです。
十和田	その他	40 代	広報は花輪の中心部の話ばかりで、僻地にはまったく関係のない話。もう少し僻地の人にも気を配った発信をして欲しい。広報の催しも中心のものばかり。そこに行くまでの交通機関や利用できるサービスなどを積極的に発信しないと、誰も広報を読まない。どうせ自分に関係ないと思っている。
花輪	男性	50 代	今は物価が異常に高いので、手厚い対策を希望します。
花輪	男性	50 代	先日国勢調査の速報が出た。人口減が明らかとなり秋田県はワーストの1、その中で鹿角はワーストの1。すると全国でワースト1の1がここってということともいえる。ここだけの問題ではないが、全国で考えていることだと思う。自然を守ること、景観を守ること、開発するということなどすべての意見が一致することはない。しかし確かなことはいずれ近い将来といってもよい、様々なことがほころび始めるだろう。十年先、二十年先を見て考えている中であってもさらにその先があるのかないのか、何が今必要なのか先々必要になるのか、その役目にある方々には考えていただきたい。その為の役職でもある。目先にとらわれず、多角的に物事を整理して、その中から様々出てくる見られる課題を丹念に洗い、次の世代へつなげていっていただきたい。人が変われば方針も変わるでは先々のことは変わらない。
花輪	男性	60 代	行政サービスを充実させて欲しい。
十和田	男性	60 代	限界集落等の自治会が増える中、空き家等の対策、人口減少対策・支援、企業誘致他、積極的な取り組みをお願いします。
十和田	女性	60 代	市民の声、生活環境など、きちんと回りを見てほしい。鹿角市は一部地区では有りません。皆が楽しい住みやすい鹿角にしてほしい。
十和田	女性	60 代	鹿角市の発展のため、がんばって下さい。
八幡平	女性	60 代	市長様へ もう少し数いる市民のための市政を行って下さい。お願いします。
花輪	男性	70 歳以上	市で新しく取り組もうとする方策、政策は、「市民ファースト」の視点で考えてほしい。選挙の期日前投票所を大幅に削減し投票%が下がったり、今秋から市の支所窓口が郵便局に移行する等「市民ファースト」で考えたのではなく、「行政の合理化ファースト」で施行されることが見受けられます。市の観光行政窓口が「あんとらあ」に移転しましたが、あまりにも閉鎖的で、一市民が利用できる所ではないと思います。「改善」を希望します。

(3) 職員・市長・市議会議員に関すること

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30 代	1 番市のことを分かっているのは市職員だと思います。その方たちが、まずは市を誇れるようになってもらいたい。批判を恐れず大胆な市政運営を期待しています。
花輪	女性	30 代	市役所内部のハラスメント体質をまずはどうにかしたらいかがか？鹿角市は、浅い知識で表面的な部分を取り繕っただけでは、もうどうにもならないところまで来ている。もっと市政を担う職員の教育に力を入れた方が良いと思う。
花輪	男性	40 代	前市長を追い出した市議会議員（老害であり不快）が気に入らない。市議会議員は品行方正な誠実な人物だけがやるべきだ。月 30 万もいらぬ。鹿角市役所の職員の皆さんは（現市長も）本当に良くやっていると。圧力に屈せず正義を信じて闘い抜いてほしい。
花輪	男性	40 代	市議会議員多い。地方交付税で成り立っているのにムダ。
十和田	その他	40 代	市の政策についてですが、文章にした政策に対して一生懸命に実行できる人材はどれだけのいるのでしょうか？残業してまで働けという意味ではありません。市の職員、会計年度任用職員などの働き方、内容の問題です。新しい場所に配属された方に、きちんとした教育はされていますか？勤続年数にかかわらず人事は決定されていますか？「昔からこうだったから」という理由で、勤続年数が長い人が優位になるような評価はされていませんか？仕事での喫煙は休憩時間にカウントされてますよね？個人で汚した茶碗を勤務時間内に洗わせたりしてないですよね？頑張っている人が嫌な気持ちになる環境ではないですか？市役所内の改善も鹿角の未来に大きな影響を与えていると思っています。パワハラと言われるのが怖く、注意しにくい世の中かもしれませんが、鹿角市の職員として「倫理観」を持った行動を期待しています。
花輪	女性	50 代	まず市職員の意識が変わらないと市民が変わっていかないのではないのでしょうか？
花輪	女性	50 代	市役所庁舎に行くのが、あまり好きではありません。なぜかという何とも言えない空気感というか対応してくださる職員の方の圧のようなものを感じます。気軽に相談に行けるような庁舎になってもらえたら嬉しいです。
十和田	女性	50 代	議員が会議で足の引っぱりあいをしているのをよく見ます。とてもみっともない！！そういう、人の悪いあら探しばかりしないで、協力し合い、もっと鹿角が明るく活気が出るような話し合いをしてもらいたい。市役所の人はずいぶん態度が大きいのだろうか？わからないことが聞きづらい。

(4) 市の窓口・行政手続きに関すること

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	30 代	市役所で手続きが必要なが生じて、多くの土日窓口ではできない手続きがあると困る。水曜日の受付時間が長いのは知っているが、マイナンバーの受け取りなど一部予約窓が非常に狭く、予定をつけるのが難しい。
花輪	女性	60 代	今のところないが、高齢化が進むと思うので手続きや相談が気軽にできるような窓口であってほしい
十和田	女性	70 歳以上	支所も遠くなるようだしあるだけで安心感があつたのに……。

(5) アンケートに関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40 代	このアンケートを取ることが仕事になってないか。郵便代使い過ぎ。このアンケートも職員で配布して回収すればいい。
花輪	男性	40 代	意見の場を設けていただきありがとうございました。
十和田	その他	40 代	アンケート内容について、市民が増えることで変化することもあると思いますので今後期待したいです。

花輪	女性	50代	設問に私の考えに近いものがなくて選べない。その枠の中で収めたいのかと考えてしまう。人は様々な意見を持っている。
花輪	女性	50代	誰が算定したのかわからないが設問が多すぎる。(厚すぎる)とても15分では終わらない。市のためとは思いますが、半分以下でなければ協力する(考える)気もなくなってしまう。(一度で多くを聞きすぎではないか?)企画、運営考えてほしい!
花輪	女性	60代	無作為に選ばれたアンケートのおかげで少し意見を寄せられる機会をありがとうございます。
花輪	女性	70歳以上	このアンケートのまとめを市民にも発表してほしい。できる所までいいから。アンケートに携わりの関係者の方々おつかれ様でした。
十和田	男性	70歳以上	設問13①事業主は一生懸命に頑張っておられると思います。活力があるかないか判断難しい。
尾去沢	女性	70歳以上	市の政策・事業等については全然わからない。知ったからと言って…どうにも出来ることでない。今後は私以外の他の方にアンケートをお願いして下さい。日々、自分の年金で暮らしていくのが精一杯!!市政に意見出来る様な身分ではないです。

(6) その他

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	保育士が自宅に仕事を持ち帰っているが、その分の手当ては?皆んな家庭があつて残業も楽に出来ずに自宅で残務処理してるが、給料安過ぎる。
十和田	男性	30代	一部の建設会社が市内の建物を所有し過ぎているのが気になる。また、道路の修繕等の際に市道に面した業者の知り合いであろう家の所と一緒に治すのはなんなのか?実際に隣の家の敷地内を行っていたので気になりました。依頼すれば家の敷地内も治していただけるのでしょうか?依頼する業者をしっかりと調査して見定めて欲しい。役所の都市整備課の方は親身になっていただきとてもありがたいと思います。ですが道路修繕の業者がどうも適当な印象があります。
十和田	男性	30代	鹿角市税金高い。その割に発展が見えない市。
十和田	女性	30代	商工会の補助金制度の対象、条件が狭すぎる、きつすぎると思う。利用した上で恩恵を受けられる個人事業または中小企業がどれだけあるのかわからない。
花輪	男性	40代	今後なにか市政の状況が好転する要素があるのかわからない。
花輪	女性	40代	野球で甲子園へ。
花輪	女性	40代	・代行、タクシーの終了時間が早すぎて飲みに行きずらくなった。 ・夜、街灯が少なく、まっ暗で歩くのが怖い。 ・公園にある桜の木にケムシが多過ぎて、子供達があぶないので、伐採してほしいです。 ・物価高による生活費の不安な中、前回の商品券は大変助かりました。できれば今後も続けてほしい。 ・街の中心に温泉があつてほしい。そしたら観光地として、県外からも観光客が来るのではないのでしょうか。
八幡平	女性	40代	高校生の子供がいますが、部活動、模試お金がかかります。夫婦共働きで世帯所得は、高い基準のなりますが、ひかれていくものが多過ぎて、公共の支援のものにはあてはまりません。これから、大学進学を控えており、子育て世代(高校生や大学生にも)フォローしてもらえると助かります。
花輪	女性	50代	この物価高で大変な時に、市からいろいろな形で支援していただき感謝しております。ただ…年金も入ってくるかわからないのに納める金額が多く大変です。毎月の様に引かれる物ばかりで…どこの家庭も同様だと思い我慢するしかありませんね。とにかく…生活しにくい町となりました。
花輪	女性	50代	特に期待することが無い

花輪	女性	50代	少なからず税金も納めている。そのサービスを体感することが少ないから、住民税が高く感じるのだろう。鹿角市の高校生が卒業して大半が鹿角を出ていくのは市政だけではなくこうして鹿角で暮らしている者みんなが関係することであると思う。30才前後となり鹿角に帰ってきたいと思うようになってきたらしい子供に、「ここには何にもない」「自分で覚悟を決めて戻るのであればそれはそれでいい」と言っている自分が現実である。鹿角で結婚をし子育てをし、夫婦共稼ぎでも年収が多くなく、進学したい子供に満足に費用を出してやることもできなかった。子供が戻ってくれるのはありがたいこと。しかし、実際には仕事、住居等、考えることはある。まだまだ、立派な空き家がある。活用できたと思う。鹿角が元気になることを望みます。
花輪	女性	50代	個人情報を守られてないと感じました。息子は発達障害です。その支援がまったくなく幸いにも息子は自ら前に進もうと頑張ってリモートで盛岡の学校にお世話になってます。わたしは職場には息子が障害者であることを伝えていなかったのに「障害者支援センターのものですが」と急に電話がありました。くしくも職場の方々に知られる事となりました。私たちの職業は個人情報守秘義務が当然と思っていました。鹿角市の福祉業務に関わる職員のレベルの低さを感じました。自分が関わっている仕事に対しての責任やプライドを持たずだらだらと仕事を続けている人は必要ないと思います。こんな職員がいることに情けないとすら感じました。わたしのまわりには社会と馴染めず引きこもりになっている若い人がたくさんいます。その方達の事も考えていかなければいけないと感じています。時代の変化とともに頭の固い古い柔軟性のない大人はいらないのです。ひとりひとりの個性に合わせた社会生活も考えてあげるべきだと思います。鹿角市にはそういった窓口がありません。あるのかもしれないけど、そういう子達は自ら発信することは難しいです。市役所の無駄な人件費をそういう弱者の人達のケアをできる人材に育てていくことも大切だと思います。これらの問題は少子化問題にも繋がっていくと思っています。もっと開かれた弱者に寄り添える鹿角になって欲しいです。強く絶望します。
十和田	女性	50代	古い家の固定資産税を安くして欲しい。家族で二人以上施設に入っている人にそれなりの補助が欲しい。生活するのが大変です。
十和田	女性	50代	同じ鹿角市とは言え平等ではないとずっと思っている。本気で良くしていきたいなら、そもそも地区ごとではなく全体で良くしていかなければ不満は続くと思う。
十和田	その他	50代	・高齢者にやさしい町だが若者には楽しみのない町だと思う。若者が楽しめる所がない。 ・頭がかたい、えらぶっている人が多いのでは。 ・草むらや高速道路ふきんの木の伐採とかしないのですか？ ・七夕、十和田交番から歩道橋までのホコ天に使っても良いのでは。十和田のホコ天には、軽トラのお店を出してもらおうとか。
花輪	男性	60代	風力発電阻止頑張って下さい
花輪	女性	60代	大町のアーケード街を歩く方が、ものすごく減少しましたね。利用したいが人通りが少ないと入りづらいのかな？とあの辺りを利用して歩行者天国の様なイベントをして各商店がその店のくじの商品を店の前にならべる等して、後は子供達の活動と同時進行にしていけば良いかなって思います。
十和田	男性	60代	介護保険料が高すぎる。算定基準を示してもらいたい。
尾去沢	男性	60代	市の鳥声良し鶏の像は駅前かコモッセに移動してほしい。
花輪	男性	70歳以上	働くことができる高齢者にとっては、余裕時間が非常に不足。多様な人生は、複雑でおもしろいのだが、だんだんと他人までの気づかいはうすれていきそうな気がする。
花輪	男性	70歳以上	コモッセ内に郵便ポスト及びATMがあれば良いと思う。
花輪	女性	70歳以上	さらに青垣山に鉄塔が立つとのことのお話もあり、自然が壊されるのか？と思ったりします。この町に住む者として良き方向へ進んでくれたらと思います。

花輪	女性	70 歳以上	2 社が勧めている風力発電は、百害あって一利なしだと思いますので市もよくよく思慮深く検討下さい。理由 1. (工事をする事によって) ますます近年、大雨による土砂崩れ、川の氾濫等、自然災害が非常に多くなってきた事 2. 鉛山鉾山と呼ばれる花輪鉾山の後地 (も含む) だという事 (毒が混って、農業、田んぼが作れなくなる、水も飲めなくなる) 3. 身体に感じる音、もしくは、地下からの振動による身体への影響 4. 動物も住めなくなるような環境になること 5. 最近、地震が非常に多発している事 6. 20 年かけて山道を造り、20 年しか可動しないで撤去 (9 m 以上の風でないと動かない?) 作る意義をみいだせません。 7 (他にも...) 鹿角の未来のために安心、安全に暮らせるまちにしたいが為ですのでよろしくお願いします。
十和田	男性	70 歳以上	鹿角市は年々お年寄が増えてきてますが、今廃業している「五の宮の湯」を市で営業すればお年寄りとかスポーツ選手は助かると思います。
十和田	女性	70 歳以上	毎日の生活の中で店がなくなり、お風呂場が詰まって休みにになったり、日常が壊れていくし、コミュニケーションがとれず、活す場、人と会う場、機会がどんどん減っている。暮らしにくくなっている。
八幡平	女性	70 歳以上	花輪鉾山跡地に風力発電の風車が建てられる件についてですが、私は若い頃黒鉾の鉾山町に住んでおり、黒鉾の鉾山跡地は地盤が弱いと聞いています。そこに風車を建てることで山が崩れ坑道に注入していた鉾毒水が流出し米代川が汚染されるのではないかと危惧しています。水質汚染は鹿角市だけではなく下流の市町村にも多大な被害を及ぼすことになると思います。市民が安心して暮らせる住環境を守ってくれることを市に期待しています。
尾去沢	女性	70 歳以上	少子高齢化で人口が少なく、私の住むところも空家だらけで、農地も宅地も整備するのは高齢者ばかりです。熊がふつうに出没し、外にでて草とりもビクビクです。親が他界して、どこにあるかもわからない山林、跡継ぎも相続の手続のための資金がなく、家族という昔ながらのつながりもないのが現状です。尾去沢は、ほとんどの土地が三菱のもので、大昔はみんなが、畑や小屋とか、自由に使っていたけど、今はほとんどの土地は手つかずの山野です。草かりも熊が出る場所は去年はやってくれてたみたいですが、もっと山奥になれば荒れ放題です。去年は、熊のせいで花輪の町おどりも中止になりました。住みやすいって何でしょうか？

設問 14 で記述のあった自由意見について、AI テキストマイニングにより可視化しています。テキストマイニングは、大量のデータから必要な情報を抽出するのに役立ちます。ユーザーローカルのテキストマイニングツールにより解析しており、単語をスコア化し、スコアが高い単語を複数選出でて、その値に応じた大きさを図示しています。



5番目は「熊」です。クマの出没や被害に対する不安が非常に強く、安心して生活や子育て、通学、農作業ができるよう、継続的かつ強力な対策を求める声が多くあります。個体数の抑制に加え、空き

家や木の实がなる樹木の管理など、クマを市街地に寄せ付けない環境整備を進めてほしいという意見もあります。

その他にも、「除雪」では、除雪の強化や、大雪を想定した事前の備えを求める声がある一方で、道路の除雪はきれいでありがたいとの評価もあります。「空き家」では、空き家の増加への対応を求める声があります。所有者による適切な管理・解体を基本としつつ、まだ活用可能な空き家を地域資源として有効活用し、地域の活性化につなげてほしいという意見もありました。

これらの貴重なご意見につきましては、全庁で情報共有するとともに、次年度以降の事務事業等に反映できるよう検討していきます。

資 料

令和 8 年度市民アンケート回答票

令和8年度市民アンケート

紙による回答用

はじめに

- 1 約15分で回答が終了します。
- 2 回答の難しい設問は飛ばしても大丈夫です。
- 3 インターネットでのご回答が便利です。 →→→



(・約10分で終了 ・投函不要 ・いつでもどこでも回答可)

鹿角の未来を共に創りましょう！

あなた自身について、おたずねします

設問1 あなたの住んでいる地区、性別、年代をお答えください。

①住んでいる地区	1 花輪	2 十和田
	3 尾去沢	4 八幡平
②性別	1 女性	2 男性
	3 その他(答えたくない・わからない)	
③年代	1 30歳未満	2 30代
	3 40代	4 50代
	5 60代	6 70歳以上

鹿角市の政策についておたずねします

設問2 あなたは、市が進めてきた取組（※）にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
①	地域産業の成長に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③	市内外からの産業の担い手の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略2 元気で健やかな暮らしを支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
④	健康診査の推奨や運動による心身の健康づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤	適切な医療を受けられる体制の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥	結婚の希望が叶うよう応援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦	地域ぐるみの子育て支援の充実	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑧	高齢者のいきいきとした暮らしの支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

※市が令和3年度～7年度まで進めてきた32項目の具体的な取組方針についてご興味のある方は、右の二次元コードからアクセスいただき、ご一読ください。



第7次鹿角市総合計画
前期基本計画（概要版）

取組の例	
①	・市内企業の設備や人材育成支援、製品の価値を高める取組 ・農林業経営者への支援、農業用地の整備及び被害の防止
②	・求職者への支援と快適な職場環境の形成 ・女性・若者の活躍促進（資格取得、テレワークの導入） ・農林業従事者への支援など
③	・Uターン、Iターン就職者への支援 ・外国人労働者の受入環境の構築



取組の例	
④	・健康診査と感染症予防 ・生活習慣病予防と健康意識の啓発 ・母子保健の充実
⑤	・病院機能の充実 ・医療従事者の確保
⑥	・男女の出会いの場の提供 ・結婚支援
⑦	・出産・育児に対する経済的支援 ・子育て環境の充実
⑧	・高齢者に対する生活援助 ・高齢者に対する介護・認知症予防



市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑨	障がいや国籍にかかわらず誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略3 快適で安らぎのある暮らしを守る

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑩	上下水道による衛生的で良好な生活環境の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑪	安全・安心な住まいづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑫	地域に合った公共交通手段の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑬	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑭	緑と水が映えるまちの環境を保全	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略4 暮らしの安全・安心を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑮	自助・共助による災害への対応力のある地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑯	火災や救急に対する体制強化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

取組の例	
⑨	・障がいのある人への生活援助や就労支援 ・生活困窮者や引きこもり等に対する自立支援 ・外国人に対する生活支援

取組の例	
⑩	・水道水の安定供給 ・下水道等による生活排水対策
⑪	・市営住宅や民間住宅における住環境の向上 ・空き家等の適正管理
⑫	・公共交通を支える仕組みの構築 ・公共交通網の維持確保
⑬	・ごみの削減やごみ出しマナーの向上 ・資源リサイクルの推進
⑭	・自然環境や景観の保全 ・不法投棄や鳥獣被害の防止



取組の例	
⑮	・地域レベルでの防災力の向上 ・災害時の迅速な情報提供
⑯	・火災予防、応急手当の啓発と専門職員の育成 ・消防施設、設備及び消防団活動の充実



市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑰	災害に強いまちの基盤整備の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑱	防犯や交通安全の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑲	子どもから青少年までの生きる力の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑳	地域の特色ある教育活動の実施	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉑	自ら学び、行動する社会人の支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
㉒	人や地域の活力を生む交流の促進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉓	販売重視型農業と6次産業化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉔	稼げる観光振興の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

取組の例	
➡ ⑰	・道路や橋の安全確保 ・水道管の耐震化
➡ ⑱	・消費者トラブルの未然防止・拡大防止 ・交通事故防止の推進

取組の例	
➡ ⑲	・児童生徒の学習環境や通学環境の充実 ・児童生徒の学力向上 ・健全な青少年の育成
➡ ⑳	・家庭・地域社会・学校の連携 ・ふるさと教育やキャリア教育の推進
➡ ㉑	・市民の自発的な学習活動の促進 ・コモッセなどの文化・芸術拠点の機能の充実



取組の例	
➡ ㉒	・市外在住者による本市の地域課題解決に向けた活動の促進 ・地域間交流の充実 ・移住や定住の促進
➡ ㉓	・農畜産物の生産拡大や、加工により価値を高める取組の推進 ・農畜産物の消費・販路の拡大
➡ ㉔	・市の観光資源の魅力向上 ・インバウンド客の受入態勢づくり



市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑤	スポーツの力によるまちの魅力向上	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑥	次世代産業の創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略2 「世界遺産のまち」をつくる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑦	文化財の保存	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑧	ヘリテージ・ツーリズム（文化遺産の観光資源としての活用）の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略3 まちの経営力を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑨	効率的な行財政運営の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑩	未来技術の導入の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑪	多様な主体（自治会や各種コミュニティ）の力で共に発展するまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑫	コンパクトなまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

取組の例	
②⑤	・スポーツと観光による交流人口の拡大 ・全国級の大会の開催や、選手及び役員の育成・確保
②⑥	・デジタル化への対応による市への企業参入の促進 ・カーボンニュートラルの推進及び次世代エネルギー産業の育成

取組の例	
②⑦	・伝統芸能の後世への保存や担い手の育成 ・文化財の維持管理と市民意識の向上
②⑧	・市民の歴史文化に親しむ機会の創出 ・市が有する文化遺産の海外発信



取組の例	
②⑨	・公共施設の効率的な維持管理 ・市民サービスを支えるための市税や税以外収入の確保
③⑩	・ICT（情報通信技術）の進展に適切に対応できる環境整備 ・市民サービス向上に向けた未来技術の導入
③⑪	・まちづくりに係る地域人材の育成・活動支援 ・お互いに支え合える自治会活動の充実
③⑫	・中心市街地の空き家等を利活用した居住人口の集積 ・まちなかエリアの交通アクセスと魅力の向上



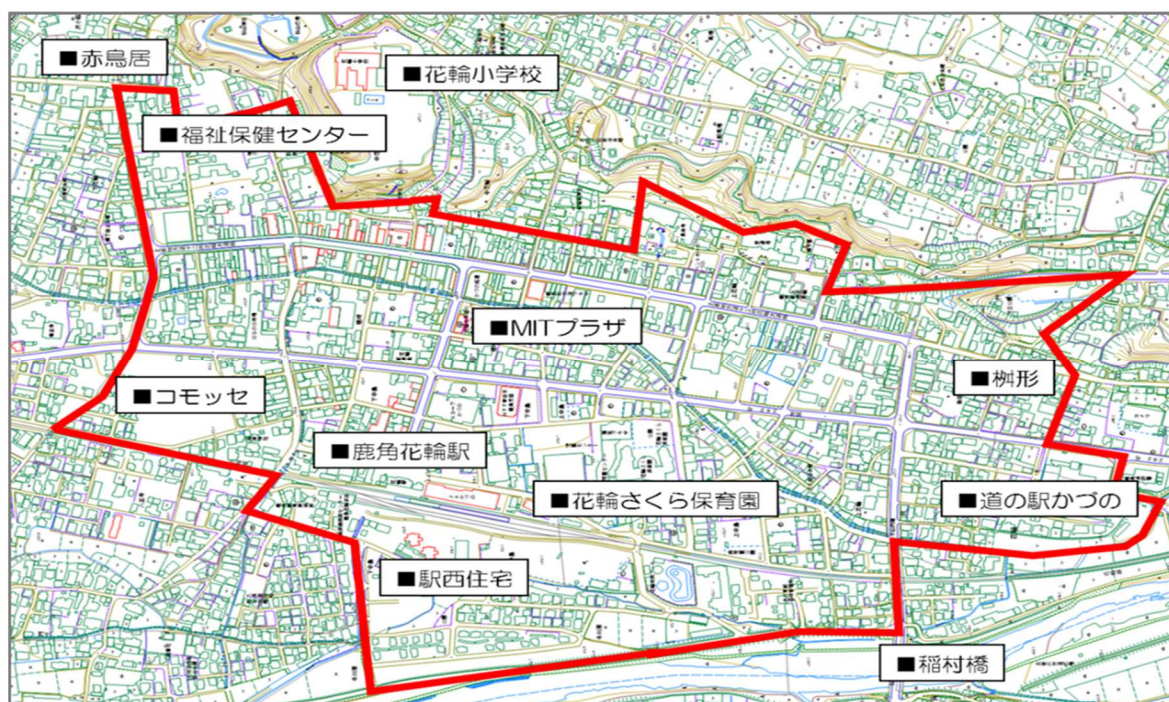
運動の実施状況についておたずねします

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない	→	
		1回あたりの時間： 約 _____ 時間 (約 _____ 分)

中心市街地についておたずねします

ここでのいう中心市街地は、線で囲まれた以下の区域を指します。



設問4 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

1. 満足している	不満と感ずる理由
2. やや満足している	
3. やや不満である →	
4. 不満である →	

公共交通についておたずねします

設問5① バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度はどれくらいですか。

1. 週2回以上利用	→	利用した目的は何ですか（複数回答可） 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 買い物 4. その他 []
2. 週1回くらい利用	→	
3. 月に1回以上利用	→	
4. 年に数回利用	→	
5. 数年間利用したことがない		

設問5② あなたは、普段の生活で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

1. 感じる	→	不便を感じる理由
2. 感じない		
3. あまり利用しないのでわからない		



コモッセの利用状況についておたずねします

設問6 あなたは、昨年度1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

1. 毎週	利用しなかった理由
2. 月1回くらい	
3. 年3回くらい	
4. 年1回	
5. 利用しなかった	

芸術鑑賞についておたずねします

設問7 あなたは、昨年度1年間に市内外で文化芸術鑑賞（※）をしましたか。

※文化芸術とは、音楽、演劇、舞踊、映画、メディア（アニメーション、漫画）、美術館、展覧会、コモッセのギャラリー展示などを示します。

1. 鑑賞した → 2. 鑑賞しなかった 鑑賞しなかった理由	そのうちコモッセで何回鑑賞しましたか 1. 4回以上 2. 1～3回 3. なし
--------------------------------------	---

カーボンニュートラルについておたずねします

設問8① 市では、2030年までにカーボンニュートラル（※）を達成することを令和4年3月に宣言しました。このことを知っていましたか。

※地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量と森林による吸収量のバランスをとることを言います。

1. 知っていた 2. 知らなかった

設問8② 地域電力会社「株式会社かづのパワー」が地元の水力、地熱、風力などの再生可能エネルギー由来の電気を公共施設だけでなく市内のご家庭や事業所にも供給しています。このことを知っていましたか。

1. 知っており、利用に関心がある 2. 知っていたが、利用は考えていない → 3. 知らなかったが、利用に関心がある 4. 知らなかったし、利用も考えていない 5. わからない	※2の場合 そのように回答した理由
---	----------------------

鹿角高校についておたずねします

市では学びがいのある教育環境の維持、向上を目指し、鹿角高校の魅力化に向けた取組を進めています。今年度策定する「鹿角高等学校魅力化ビジョン」の参考とするため、鹿角高校に対する印象等について伺います。

設問 9① 現在の鹿角高校について、あなたはどのようなイメージや印象を持っていますか。あてはまるものを最大3つまで選び、○をつけてください。

1. 生徒の礼儀やマナーが良く、明るい雰囲気がある
2. 地域行事やボランティアなど、地域社会との関わりが深い
3. 進学・就職や部活動などで、実績を出している（出そうとしている）
4. 普段どんな活動をしているか、情報が届いておらずよくわからない
5. 鹿角高校ならではの特色が見えにくい
6. その他（ ）

設問 9② あなたのお住まいの地域では、鹿角高校との関わりや高校生の存在を身近に感じますか。

1. 身近に感じる
2. ある程度感じる
3. あまり感じない
4. ほとんど感じない
5. わからない

設問 9③ 鹿角高校で学んだ生徒たちには、将来どのような大人になってほしいと思いますか。最も期待するものを1つ選び、○をつけてください。

1. 鹿角に愛着を持ち、住み続けながら、地域産業など地域の発展を支える人
2. いったん鹿角を離れたとしても、いつかは戻り、外で得た経験を活かしてくれる人
3. 鹿角を離れても、つながりを持ち続け、応援してくれる人
4. 鹿角に限らず、自らの目標に向かって国内外で活躍する人

設問 9④ 鹿角高校で学んだ生徒たちには、どのような力を身に付けてほしいと思いますか。最も期待するものを1つ選び、○をつけてください。

1. 鹿角への愛着や地域への理解
2. 社会の変化に柔軟に対応し、自ら課題を見つけ、解決に向けて挑戦し続ける力
3. 多様な価値観を持つ人々と、互いに尊重・協力し合う力
4. グローバルな視野で社会を見る力

市の情報発信方法についておたずねします

設問 10① あなたは市からの情報（お知らせ）を入手する手段として実際に利用し、
欠かせないと感じているものはどれですか。（複数回答可）

1. 広報かつの（広報紙）
2. ホームページ
3. 新聞
4. コミュニティFMラジオ（鹿角きりたんぽFM）
5. メール配信サービス
6. SNS
7. 何も情報を入手していない

設問 10② あなたは現在、SNS（LINE、エックス、インスタグラムなど）を利用していますか。

1. はい →
- それはどのSNSですか。(複数選択可)
1. LINE (ライン)
2. X (エックス)
3. Instagram (インスタグラム)
4. Facebook (フェイスブック)
5. その他 ()
2. いいえ

若者の居場所・学び・挑戦の拠点づくりについておたずねします

市では、既存の公共施設等を活用し、中高生や若者が安心して過ごし、交流や挑戦ができる場を試行することを検討しています。あわせて、その場を大学生・社会人との交流、オンライン学修、地域課題に関する学びなどへ広げ、将来的には大学等との連携による学びの拠点づくりにつなげる可能性も含めて、皆様の考えをお聞きます。

設問 11① 市が、既存公共施設等を活用し、中高生や若者が安心して過ごし、学び・交流・挑戦できる場を試行することについて、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 積極的に進めるべきだと思う
2. まずは試行し、効果を見ながら進めるべきだと思う
3. 必要性は理解できるが、既存の活動や施設利用の充実を優先すべきだと思う
4. 財政負担や人員体制を踏まえ、慎重に検討すべきだと思う
5. 必要性をあまり感じない
6. わからない

1～4を選んだ方は、設問 11②へ、5～6を選んだ方は設問 11①-2 へお進みください。

設問 11①-2 ①で5または6を選択した方におたずねします。その理由として、あなたの考えに近いものを2つまで選び、○をつけてください。

1. 新たに試行するより、既存の施設利用や既存の活動で対応できると思うため
2. 財政負担や人員体制への影響を慎重に考える必要があるため
3. 施設管理や安全管理、トラブル対応への懸念があるため
4. 周辺住民や既存利用者との共存に配慮が必要だと思うため
5. 他に優先すべき施策があると思うため
6. まずは試行の結果を見てから判断したいと思うため
7. その他
()

設問 11①-2 に回答した方は、設問 12①へお進みください。



設問 11② 中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、特に重視すべき内容は何かと思いますか。3つまで選び、○をつけてください。

1. 気軽に立ち寄り、安心して過ごせる時間をつくること
2. 勉強や読書、調べものができる環境を整えること
3. Wi-Fi・電源など、スマホやパソコンを使いやすい環境を整えること
4. 友人同士で交流したり、自由に過ごせる雰囲気をつくること
5. 地域の大人や社会人に相談・交流できる機会をつくること
6. 大学生や市外の若者と交流できる機会をつくること
7. 若者が企画や地域活動に挑戦できる機会をつくること
8. わからない

設問 11③ 中高生や若者が立ち寄れる場を試行する場合、場所や運営の条件として特に重視すべき内容は何かと思いますか。3つまで選び、○をつけてください。

1. 学校・仕事帰りや休日に立ち寄りやすいこと
2. 公共交通・送迎・冬期間を含め、通いやすいこと
3. 安心して利用でき、見守りや管理がしやすいこと
4. 活動内容に応じて、スペースを使い分けやすいこと
5. 開設日や利用時間を設定しやすいこと
6. 既存利用者や周辺住民と共存しやすいこと
7. 整備費や運営負担を抑えられること
8. わからない

設問 11④ このような取組を地域で支えていくためには、地域の大人や市民にどのような関わり方が必要だと思いますか。3つまで選び、○をつけてください。

1. 温かく見守る
2. 話を聞く・相談に乗る
3. 地域行事や体験活動に協力する
4. 仕事や経験、地域の知識を伝える
5. 活動場所・体験機会・地域課題を提供する
6. 若者の企画や活動を手伝う
7. 関わり方を学ぶ機会をつくる
8. 特に必要だと思うことはない

設問 11⑤ こうした取組を試行した後、継続・発展を判断する際に、特に重視すべきことは何だと思いますか。3つまで選び、○をつけてください。

1. 中高生や若者が継続して利用し、安心して過ごせていること
2. 騒音・ごみ・トラブルが少なく、周囲と共存できていること
3. 若者の挑戦や企画参加につながっていること
4. 鹿角の仕事・暮らし・地域課題への関心につながっていること
5. 地域の大人・企業・団体の協力が生まれていること
6. 大学生・社会人など、多様な人との交流や学びにつながっていること
7. オンライン講座・AI・データ活用などの学びにつながっていること
8. 費用や人員の負担が、効果に見合っていること

医療に対する意識についておたずねします

設問 12① あなたや家族の具合が悪くなったとき、どこで受診したらよいか相談できる窓口として、知っているものはありますか。

1. はい	→	知っている相談窓口は次のうちどれですか (複数選択可) 1. かかりつけ医 2. かかりつけ医以外の医療関係者 3. テレフォン病院24 (0120-959-783) 4. #8000 (子ども医療電話相談) 5. インターネットでの情報検索やSNSでの相談 6. その他 ()
2. いいえ		

設問 12② ①で2を選んだ方におたずねします。相談窓口を知らなかった理由は何ですか。

1. 知る必要がなかったから
2. 知る機会がなかったから
3. 総合病院を受診するから
4. 救急外来を利用するから
5. その他 ()

まちの満足度についておたずねします

あなたが思うまちの満足度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

設問 13① 産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13② 心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13③ 生活環境が快適なまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13④ 安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13⑤ 市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13⑥ 文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 13⑦ 自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14 市の政策・事業・各種手続き等について知りたいことや、市に対する提言等がありましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。紙による回答の場合は、同封の返信用封筒（切手不要）に本票を封入し、**6月12日（金）までに** ポストにご投函ください。

〈問い合わせ先〉 鹿角市総務部政策企画課総合戦略室 電話：30-0201

令和 8 年度
市民アンケート実施結果報告書

令和 8 年 8 月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201
FAX：0186-30-1122
E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp